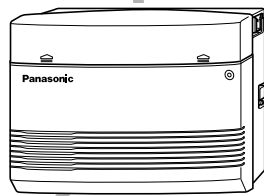


スモールオフィステレホンシステム 308J

品番 **XF-A150** (主装置)

Small Office Telephone System

308J



XF-A150 主装置



電話機

技術基準適合認証品 保証書別添付 工事説明別添付

このたびは、スモールオフィステレホンシステム 308Jをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に安全上のご注意(6~7ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

電話機の液晶表示部の日付・時刻の設定等は →

【取付けされる方へ】 以下を記入し、お客様にご説明ください。

指定電話機	<input type="checkbox"/> オペレータ内線 <input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し	
	<input type="text"/> 番の電話機	<input type="text"/> 番の電話機
バッテリー	停電用バッテリーは約3年に1度の交換が必要です。(有償)	次回交換時期 年 月 日 年 月 日

■この取扱説明書では、電話機の操作について説明しています。

はじめに 1

お使いになる前に 2

個別にできる電話機の設定 3

操作編 電話を使う 4

単独電話機 5

外部接続機器 6

NTTのサービスを利用する 7

機能を設定する 8

取付け時の設定を変える 9

システム管理編 指定電話機からの操作 10

参 考 11

困ったときは 12

さくいん 13

●See page 124 for the Quick Reference Guide. (in English)

もくじ (項目から探す場合は「さくいん」(⇒132 ページ)をご覧ください。)

この取扱説明書では、操作説明部分を大きく2つに分けて説明しています。

操作編

各電話機で行う操作を説明しています。

システム管理編

共通短縮ダイヤルの登録など、指定電話機で行うシステム全体に関わる登録・設定方法について説明しています。

もくじ 2

1 はじめに

安全上のご注意 必ずお守りください	6
ご使用にあたってのお願い	8
・ お願い	8
・ お手入れについて	8
知っておいていただきたいこと	9
・ 指定電話機について	9
・ オペレータ内線について	9
・ 本システムに接続できる機器について	9
この取扱説明書について	10
・ 取扱説明書で使われているマーク、用語、 表記方法について	10
・ この取扱説明書の見かた	11

2 お使いになる前に

各部のなまえとはたらき	12
電話機の角度を変える	15
液晶表示部について	16

3 個別にできる電話機の設定

電話機の音量を調節する	18
内線番号を確認する	19
記入シートの使いかた	20

操作編

4 電話を使う

外線へ電話をかける	22
・ 外線へ電話をかける (自動選局発信)	22
・ 外線を指定して電話をかける	23
・ 受話器を取るだけで外線をつかむ (発信プリファレンス)	24
内線へ電話をかける	25
・ 内線へ電話をかける	25
・ 音声で一斉 (またはグループ別) に 内線呼び出す	26
・ オペレータ内線呼び出す	27
登録した電話番号にかける	28
・ ワンタッチダイヤルでかける	28
・ ワンタッチ内線ボタンでかける	28
・ 個人短縮ダイヤルでかける	29
・ 個人短縮ダイヤルを登録する	29
・ 共通短縮ダイヤルでかける	30
外線からの電話を受ける	31
・ 外線からの電話を受ける	31
内線からの電話を受ける	32
・ 内線からの電話を受ける	32
・ 内線音声呼出に受話器を取らずに応答する (内線自動応答)	33
代理応答する	34
・ 他の電話機で電話を受ける	34
保留・転送する	35
・ 外線を保留・転送する	35
・ 内線を保留・転送する	37
・ パーク保留	39
・ 特定のグループへ転送する	40
・ 保留中に交互通話をする	41
外線へ転送する	42
・ 外線への転送について	42
・ 自動転送設定中の表示について	42
・ 自動転送を設定する	43
・ 通話中に手動で転送する (手動転送)	44
再ダイヤルする	45
・ 最後にかけた電話番号に再ダイヤルする (ラストナンバーリダイヤル)	45
・ 通話中の外線の電話番号を記憶させて 再ダイヤルする (セーブナンバーリダイヤル)	46

着信履歴を確認する / 電話をかける	47
・ 個別着信履歴を確認する / 電話をかける	48
・ システム着信履歴を確認する / 電話をかける	50
・ 応答履歴を設定する	51
その他の便利な機能	52
・ かかってきた電話をつながらないように 設定する(不在設定)	52
・ かかってきた電話を他の電話機に 転送する(不在転送)	53
・ 電話機をロックする (ステーションロック)	55
・ 相手のメッセージボタンを点灯させる (メッセージウェイト)	56
・ 回線が空いたことを自動的に知らせる (内線コールバック/外線コールバック) ..	57
・ アラームを設定する	58
・ 通話に割り込む	59
・ 話中時着信をする	61
・ 3人で会議通話をする	63
・ 5人で会議通話をする	65
・ 内線ルーム音声モニターを使う	67
・ 特定ダイヤル発信	68
・ プッシュ信号を送る	68
・ キャッチホンサービスを利用する	68
・ BGM(バックグラウンド・ミュージック) を聞く	68
・ フッキング	69
・ フッキング信号を送る	69
・ クイックダイヤル	69
・ DID(ダイレクトインダイヤル)	70
ACR機能を使う	72
スピーカーホン通話	73
・ 受話器を持たずに通話をする	73
・ 自分の声を相手に聞こえないようにする (マイクミュートキー)	74
お買い上げ時の設定に戻す (機能設定クリア)	75

5 単独電話機

単独電話機の操作	76
----------------	----

6 外部機器接続

構内放送をする	81
ファクスを接続する	82
・ ファクスを内線に収容している場合	82
玄関子機からの呼び出しに応答する	83
電気錠を解錠する	84
ヘッドセットを使う	85

7 NTTのサービスを利用する

発信者番号通知(基本サービス)	86
・ 電話をかけたとき	86
ナンバー・ディスプレイ(付加サービス)	87
・ 電話がかかってきたとき	87

8 機能を設定する

使いかたにあわせて機能を設定する	88
・ 内線音声呼出 / 信号呼出を設定する	88
・ 話中時着信音を設定する	88
FFボタンやメッセージボタンに 機能を設定する	89
・ FFボタンに設定できる機能	89

9 取付け時の設定を変える

発信方法や着信方法の設定を変える	95
・ 発信プリファレンスを変更する	95
・ 外線着信応答を変更する	96
・ 鳴動着信設定を変更する	97
・ 機能設定を解除する(一括初期化)	98
・ FFボタンを外線ボタンに設定する	99

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

システム管理編

10 指定電話機からの操作

共通短縮ダイヤルの登録	102
・ 共通短縮ダイヤルに電話番号や 名前を登録する	102
・ 電話番号に登録できる内容	102
・ 名前入力のみかた	103
・ 電話番号を登録する	104
・ 名前を登録する	106
日付・時刻を変更する	108
全ステーションロックを解除する	109
リモートアラームを設定する	110
応答メッセージを録音する	111
夜間切替を設定する	112
・ 手動で夜間切替する	112
・ 夜間切替設定を確認する	112
システム着信履歴を消去する / 記憶する	113
・ システム着信履歴をすべて消去する	113
・ 301件目以降は記憶しない (最初の300件を記憶する)	113
DIDセキュリティコードを変更する	114
・ DIDセキュリティコードのケタ数を 変更する	114
・ DIDセキュリティコードを 登録・変更する	115

12 困ったときは

困ったときの確認事項	130
------------------	-----

13 さくいん

50音順さくいん	132
----------------	-----

11 参 考

取付け時に設定する事項	116
音とランプ表示	118
・ 音について	118
・ ランプ表示について	121
停電のときは	123
Quick Reference Guide	124
仕様 / 付属品 / 添付品	128
・ 仕様	128
・ 付属品 / 添付品	128
保証とアフターサービス	129

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13

この取扱説明書は、13の章に分かれています。



必ずお読みください	はじめに	1
知っておいていただきたいこと	お使いになる前に	2
音量調節など	個別にできる電話機の設定	3
多機能電話機の操作	電話を使う	4
単独電話機の操作	単独電話機	5
外部機器をお使いの場合	外部機器接続	6
ナンバー・ディスプレイなど	NTTのサービスを利用する	7
使いかたにあわせて 多機能電話機の機能を設定する	機能を設定する	8
多機能電話機の 取付け時の設定を変更する	取付け時の設定を変える	9
指定電話機での設定・登録など (電話機に表示される日時変更等)	指定電話機からの操作	10
仕様やアフターサービスなど	参考	11
故障かなとお困りのときに確認する方法など	困ったときは	12
	さくいん	13

安全上のご注意



必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。





	警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。






共通（主装置・電話機）

警告




専用品以外を接続しない  禁止 指定以外の機器を使用すると火災や感電の原因となります。	コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流100V以外での使用しない（主装置）  禁止 たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。	水などをかけない・水などに浸さない（主装置）  発熱や発火・感電の原因となります。 水ぬれ禁止
異物を入れない  禁止 隙間などから、金属類や紙類を入れると火災や感電の原因となります。 万一、異物が入ったら、電源プラグを電源コンセントから抜いて、販売店へご相談ください。	機器をあけたり、分解・改造しない  分解禁止 感電の原因となります。 内部の点検や修理などは販売店へご相談ください。 万一、修理等で機器を開ける場合は、電源スイッチを切っても通電していますので、必ず電源プラグを抜いてください。また、放熱板が十分冷えてから行ってください。（主装置）	必ずアース線を接続する（主装置）  アース線接続 感電や動作が不安定になる原因になります。 アース接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。またアース接続を外す場合は必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

共通（主装置・電話機）

 **警告**

<p>ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない（主装置）</p> <p> 感電の原因となります。</p> <p>ぬれ手禁止</p>	<p>雷のときは電源プラグ・コードにさわらない（主装置）</p> <p> 雷によっては感電の原因となります。</p> <p>接触禁止</p>	<p>電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない（主装置） （傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねることをしない）</p> <p> 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。</p> <p>禁止</p> <p>損傷した場合は、使用を中止し、販売店へ交換を依頼してください。</p>
<p>電源プラグのほこり等は定期的に取り（主装置）</p> <p> 差し込み部分にゴミやほこりがたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。</p> <p>電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。</p>	<p>電源プラグは根元まで確実に差し込む（主装置）</p> <p> 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。</p> <p>傷んだり、ゆるんでいる電源プラグやコンセントは、使用しないでください。</p>	

 **注意**

<p>浴室や加湿器のそばなど、湿気の多い場所や塩水などのかかるところ、ほこりの多いところで使用しない</p> <p> 火災や感電の原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>電源コードを抜くときは必ず電源プラグを持って抜く（主装置）</p> <p> コードを引っ張ると、コードが破損し火災や感電、ショートの原因となります。</p>
<p>煙が出ている、異常に熱い、変な臭いがあるときは、電源プラグを抜く（主装置）</p> <p> 火災や感電の原因となります。</p> <p>電源プラグを抜く</p> <p>販売店へご連絡ください。</p>	

ご使用にあたってのお願い

お願い

設置・増設・修理は、お買い上げの販売店または販売会社に相談してください 電話工事担任者の資格が必要です。	主装置は、通常の使用時は操作しないでください 故障の原因となります。
機器に、強い衝撃や振動を与えないでください 落としたりぶつかけたりして強い衝撃が加わると、故障や破損の原因となります。	冷凍倉庫など特に温度の下がる場所に置かないでください 故障や動作不良の原因となります。
ラジオ、テレビ、コンピュータ、OA機器、電子レンジ、エアコンなどから2 m以上離してお使いください 機器からのノイズにより、雑音の発生など悪影響を受ける・与える原因となります。	直射日光、暖房設備、ボイラーなどの、特に温度の上がる場所に置かないでください 機器表面や部分に変形・劣化するほか、故障の原因となります。
硫化水素、リン、アンモニア、硫黄、炭素、酸、塵埃、有毒ガスなどの発生する場所に置かないでください 故障や機器の寿命が短くなる原因となります。	殺虫剤などの揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品などに長時間付着させたままにしないでください 変質したり、塗料がはげる原因となります。
電磁波発生源や磁気を帯びたもの(高周波マシン・電気溶接機・磁石など)に近づけないでください 雑音の発生や故障の原因となります。	放熱の妨げになりますので、主装置のまわり約30 cm以内には物を置かないでください
動作中本体が熱く感じられますが、異常ではありません	

お手入れについて

機器は、乾いた柔らかい布でふいてください

汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤(中性)をしみこませ、固く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

お手入れには次のものは使わないでください

(石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん)

化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください。

指定電話機について

指定

本システム全体に関わる設定や登録等の操作は、内線電話機の中でも特定の電話機だけが行うことができます。この特定の電話機を指定電話機と呼びます。指定電話機の操作は、操作ミスによる誤動作や故障等を防ぐため、本システムを管理する方が行うようにしてください。


指定電話機で行うことができる操作

- ・ 共通短縮ダイヤルの登録
- ・ 日付・時刻の設定
- ・ 全ステーションロック解除
- ・ リモートアラーム設定
- ・ 応答メッセージ録音
- ・ 夜間切替設定
- ・ システム着信履歴の消去 / 記憶
- ・ DIDセキュリティコードの登録

指定電話機でのみ可能な操作は **指定** のマークを付けて説明しています。また、ページ外側に帯線をつけてあります。主な操作は第10章でまとめて説明しています。


指定電話機からは、指定電話機用の操作以外も行うことができます。

指定電話機はどれ？

指定電話機の内線番号（内線番号が2ケタの場合は10番）は取付け時に設定されます。 取付け時設定
取付工事担当者が本書表紙に指定電話機の内線番号を記載するようになっていました。

オペレータ内線について

オペレータ

指定電話機とは別の電話機からも設定や登録を行いたい場合は、指定電話機とは別に、オペレータ内線（1台）を設定することができます。 取付け時設定

ただし、オペレータ内線からは以下の操作はできません。

- ・ 共通短縮ダイヤルの登録
- ・ DIDセキュリティコードの登録

本システムに接続できる機器について









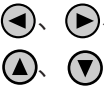





本システムに接続している機器は、お客様によって異なります。

現在ご利用いただいている各種機能を追加・変更する場合、またはオプションが必要な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

この取扱説明書について

取扱説明書で使われているマーク、用語、表記方法について

	指定電話機 (⇒9ページ) で操作できます。	
	オペレータ内線 (⇒9ページ) で操作できます。	
	このマークの付いている機能をお使いになる場合には、工事担当者による取付け時の設定が必要です。設定を変更する際には、お買い上げの販売店にご相談ください。	
	受話器を取る	単独電話機の操作説明 (⇒76ページ) で説明を簡略化している場合に使用しています。
	受話器を戻す	
待ち受け中	受話器を置いた状態で、通話していない状態です。	
外線 	FFボタンを設定して外線ボタンや機能ボタンとして使用する場合、本文中ではイラストで  などとボタンの上に文字を表記しています。	
個別着信	外線から電話がかかってきた場合、1台の電話機に着信するように設定されている着信です。 	
音について	本文中に記載する音の種類については、118ページで説明しています。	
	 (ナビゲーションキー) の各ボタンを個別に表しています。 ( 左へ、  右へ、  上へ、  下へ)	

お知らせ

本文中に表記する製品および表示部に表示される文字の書体、文字やマークの大きさ、表示位置、文字間のスペースは実際とは異なります。

この取扱説明書について

この取扱説明書の見かた

章タイトル
指定電話機からの操作

サブタイトル
共通短縮ダイヤルの登録

タイトル
共通短縮ダイヤルの登録

マーク
特定の電話機でしか使えない場合は、使える電話機を表示マークで示しています。

指定

操作手順
操作を順番に説明しています。

画面表示
液晶表示画面の例を説明しています。

ご注意
本システムを使う上での注意点を説明しています。

操作のヒント
操作のアドバイスを説明しています。

お知らせ
知っておくと便利な事項を説明しています。

さくいんタグ
各章を引きやすいようにタグがついています。

共通短縮ダイヤルの登録

10 指定電話機からの操作

共通短縮ダイヤルは100件（短縮番号 00 ~ 99）登録できます。1件につき電話番号は32ケタまで、名前は16文字まで入力できます。指定電話機（⇒9ページ）でのみ登録できますが、あらかじめ内線パスワードを設定しておく必要があります。☎️ **電付け機能** あらかじめ電話番号を登録したあと、対応する名前を登録されることをおすすめします。

電話番号を登録する

1 プログラム を押す

2 を押す

3 内線パスワード（☎️ **電付け機能**）を押す
パスワードは変更することができます。
パスワードを間違えて入力すると、「ビビビ」と警告音が鳴ります。もう一度正しいパスワードを入力してください。

4 を押す

5 を押す

6 短縮番号（ ~)を押す
番号を押さずに を押すと、短縮番号00が表示されます。

7 電話番号を入力する（32ケタまで）
☎️ **電付け機能**は、電話番号の前には、必ず外線電話番号を入力してください。

4 呼びかける

ご注意
発信プリファレンスを設定すると、内線へかける時は最初に を押す必要があります。（⇒24ページ）
内線へ電話をかける
 ⇒ 受話器を取る ⇒ 内線番号

操作のヒント
内線信号呼出と内線音声呼出は、相手の電話機の設定によります。（⇒88ページ）（お買い上げ時には、内線信号呼出に設定されています。）

お知らせ
内線番号を押したあと、相手の電話機の状態により、違った音が鳴ります。
呼出音 : 相手の内線呼び出し音。
予告音 : 内線音声呼出音。
話中音 : 相手がお話中音。
不在設定音 : 相手が不在設定音。
相手の内線番号に名前が登録されている場合（☎️ **電付け機能**）は、通話中に相手の内線番号と名前が液晶表示部に表示されます。
システムで同時に利用できる内線通話は、4通話までです。

104

25

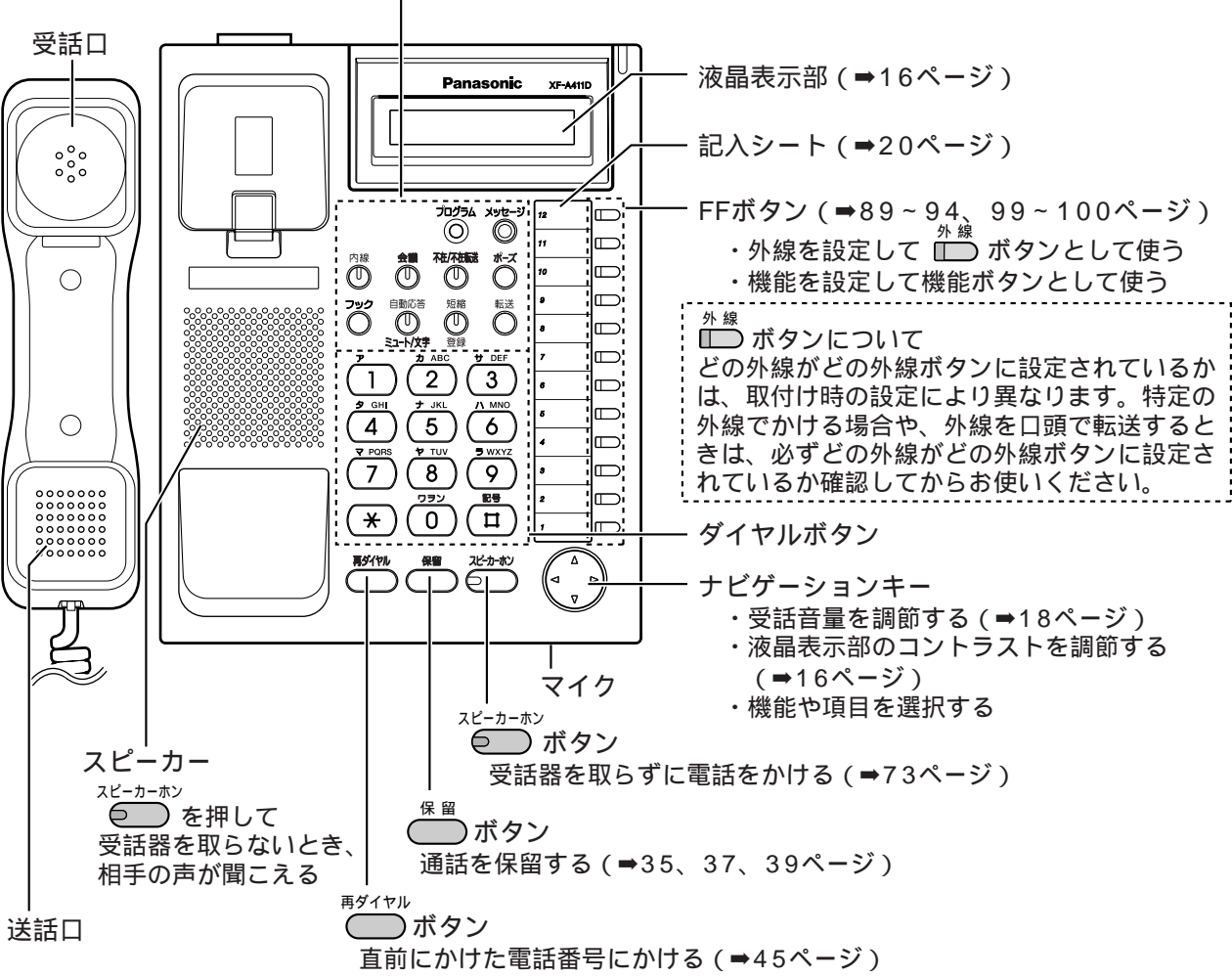
指定電話機ページ

指定電話機での操作について説明しているページには、この部分に帯線がついています。

各部のなまえとはたらき

308J用12キーカナ表示電話機(多機能電話機)XF-A411D

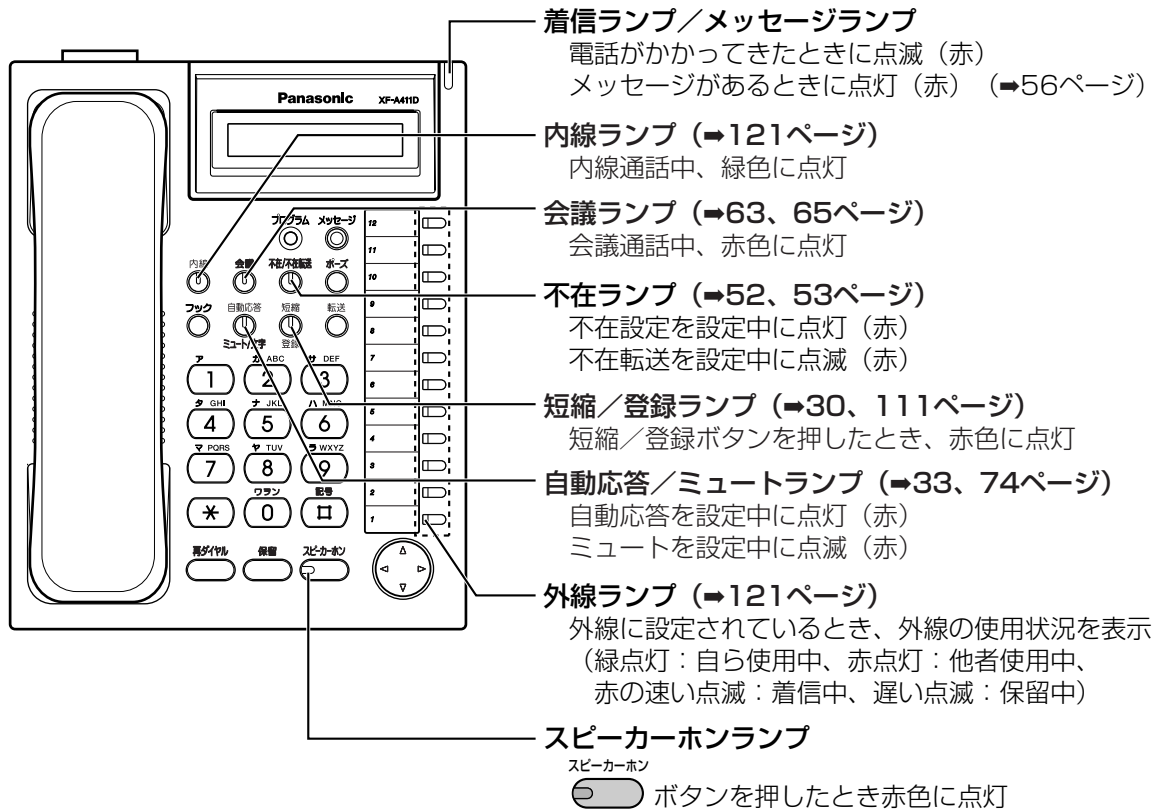
- プログラム**
● ボタン
プログラムモードへ入/切の切り替えをする
- メッセージ**
● ボタン
・相手にメッセージウェイトの表示をする(⇒56ページ)
・メッセージウェイトの相手にかけ直す(⇒56ページ)
・メッセージボタンは、ワンタッチダイヤルボタン、ワンタッチ内線ボタン、ワンタッチ機能ボタンに登録することができます。(⇒89~91ページ)
これらのボタンに登録した場合、メッセージボタンとしては使用できません。
- 内線**
● ボタン
内線電話をかけたり受けたりする(⇒25ページ)
- 会議**
● ボタン
会議通話をする(⇒63、65ページ)
- 不在/不在転送**
● ボタン
不在設定や不在転送をする(⇒52、53ページ)
- ポーズ**
● ボタン
ダイヤル中にポーズを挿入する
- フック**
● ボタン
受話器を戻さずに続けて電話をかける(⇒69ページ)
- 自動応答**
● ボタン
ミュート/文字
・受話器を取らずに受ける(⇒33ページ)
・スピーカーホン通話中に自分の声が相手に聞こえないようにする(⇒74ページ)
・文字入力モードを変更する(⇒103ページ)
- 短縮**
● ボタン
登録
・短縮ダイヤルで電話をかける(⇒30ページ)
・設定内容を決定する
- 転送**
● ボタン
通話を転送する(⇒36、38、40、44ページ)



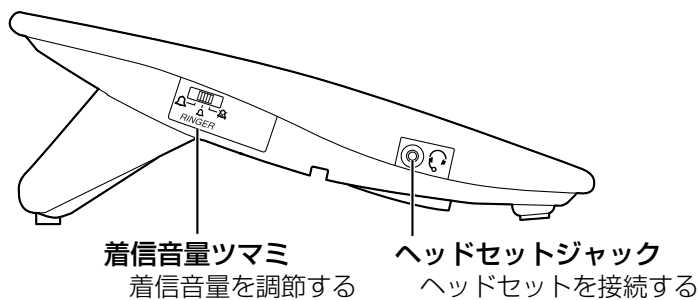
2 各部のなまえとはたらき

各部のなまえとはたらき

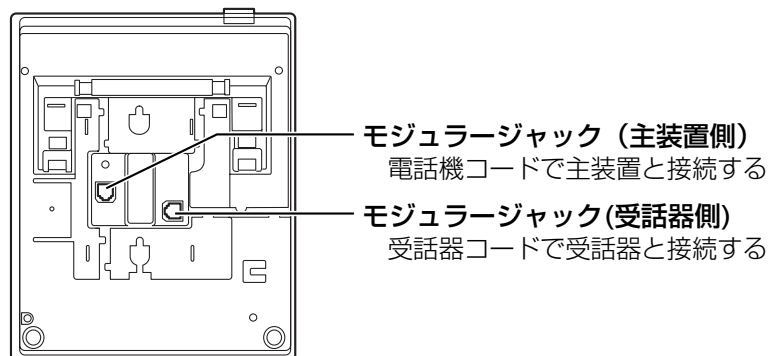
ランプ類



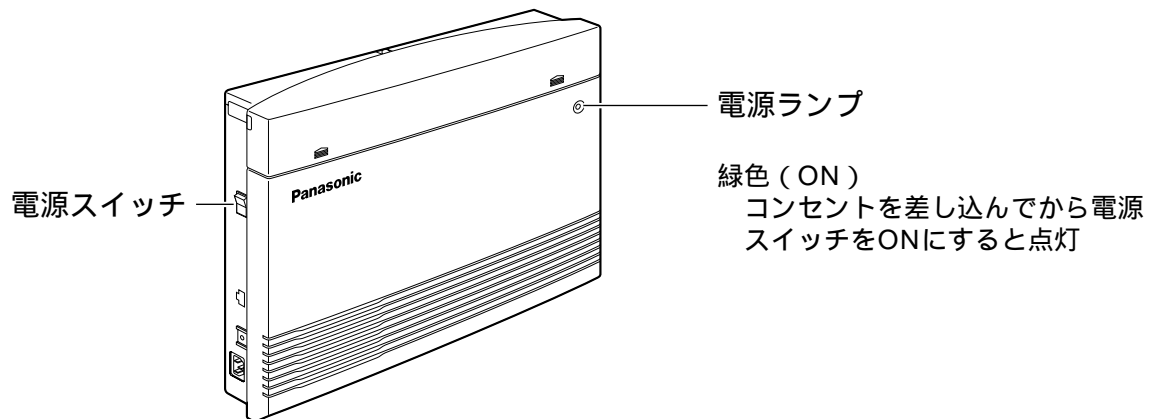
電話機側面



電話機底面



主装置 (XF-A150)



ご注意

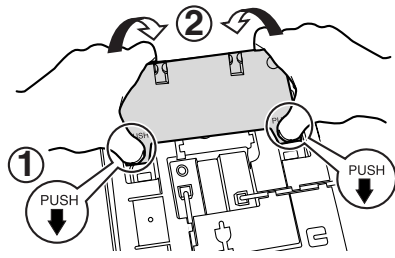
通常の使用時には主装置の電源は操作しないでください。故障の原因となります。

電源ランプが消えている状態 (電源プラグを差し込んで、電源スイッチを入れていない状態) でも、主電源は入った状態となります。(電源スイッチを切った状態でも、約 2.8 W の電力を消費しています)
完全に電源を切断するには、電源プラグを抜きます。

電話機の角度を変える

電話機スタンドの角度は、LOW（低） / HIGH（高）の2段階に調節できます。

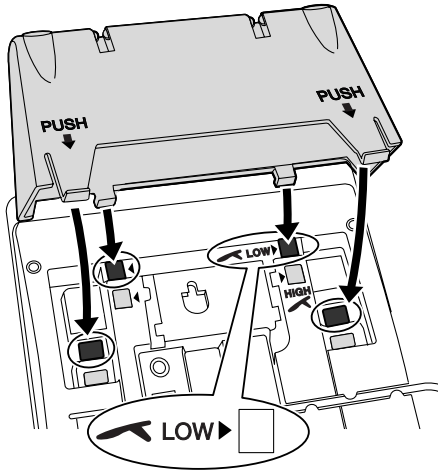
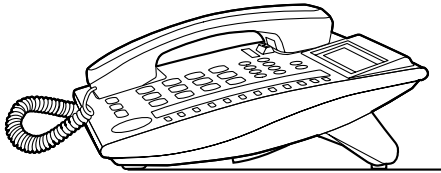
1 電話機スタンドを取り外す



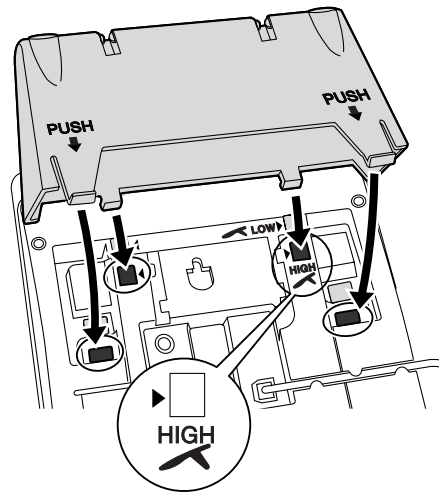
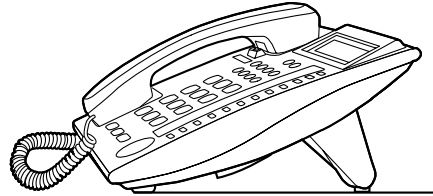
①で押しながら、
②で向こう側に倒すようにして
取り外す。

2 電話機スタンドの角度を変えて取り付ける

<LOW（低）にするとき>



<HIGH（高）にするとき>



液晶表示部について

液晶表示部には時刻、ダイヤル番号、通話時間などを表示します。
表示できるケタ数は、16ケタです。16ケタ以上になると、順に表示したあと末尾16ケタを表示します。

待ち受け中の表示（日付・時刻表示）

受話器を置いた状態のときに、日付や時刻を表示します。

1月 1日 12:00AM または 1月 1日 Wed 2003

日付や時刻の設定、変更は指定電話機またはオペレータ内線で行います。

(→108ページ) **指定** **オペレータ**

お知らせ

時計の精度は、月差60秒以内です。

***** を押すと、押すたびに「月日、曜日、年 → 内線番号 → 月日、時間」と、表示が切り替わります。

受話器を取るか、^{スピーカーホン} を押すと、日付・時刻表示は消えます。

液晶表示部のコントラストを調節する

液晶表示部のコントラストを3段階（薄 / 中 / 濃）に調節することができます。

1 待ち受け中、または着信中に  を押す

 : 薄くする

 : 濃くする

ご注意

電話機コードを抜いたり、主装置の電源が切れたりした場合、コントラスト調節は元（中）に戻ります。

液晶表示部の言語について

液晶表示部の言語は、電話機ごとに日本語と英語の2種類から選択できます。

英語表示する場合は、取付け時に電話機を設定します。  **取付け時設定**

英語表示でお使いの場合は、124ページの「Quick Reference Guide」をお読みください。

電話をかけるときの表示（ダイヤル表示）

ダイヤルした電話番号を表示します。名前が登録されている内線にかけたときは、名前を表示します。

表示例

外線にかけたとき 例：鈴木さん（045-000-4321）にかけたとき

0450004321

内線にかけたとき 例：鈴木さん（内線12番）にかけたとき

12:双キ

電話がかかってきたときの表示（発信者の電話番号の表示）

発信者の電話番号が通知されてかかってきたときに、通知された電話番号を表示します。

通知された電話番号が共通短縮ダイヤルに登録されている場合には、共通短縮ダイヤルに登録されている名前を表示します。

表示例

外線からかかってきたとき 例：東京支店（03-0000-5678）からかかってきたとき

名前登録あり トキヨウ シテン

名前登録なし 0300005678

お知らせ

外線から通知された電話番号を表示するには、NTTとナンバー・ディスプレイの契約が必要です。

電話がかかってきたときに通知される発信者番号が共通短縮ダイヤルで登録した番号と一致した場合には、登録した名前を表示します。(⇒106ページ)

内線からかかってきたとき 例：鈴木さん（内線12番）からかかってきたとき

内線番号に名前も登録されている場合は、名前が表示されます。

名前登録あり 12:双キ

名前登録なし 12:

通話時間の表示

表示例 外線に電話をかけて相手と通話中の表示

CO 1 12:34'56

↑
通話時間

ご注意

通話時間の表示は、最大99時間59分59秒まで表示します。それを超えると99時間59分59秒のままです。

電話機の音量を調節する

電話機の音量を調節することができます。受話口やスピーカーから聞こえる相手の声の音量（受話音量）や電話がかかってきたときの呼出音や着信音の音量（着信音量）を調節できます。着信履歴などを検索中は音量調節できません。

受話音量を調節する

通話中の場合

1  を押す

▲ を押すと大きくなります。

▼ を押すと小さくなります。


操作のヒント

音量が大きすぎてハウリングする場合は、音量を小さくしてください。

音量は 3 段階で調節できます。
（お買い上げ時の設定は 2）

スピーカーの音量を調節する


待ち受け中の場合

1  を押す

2  を押す

▲ を押すと大きくなります。

▼ を押すと小さくなります。

3  を押す

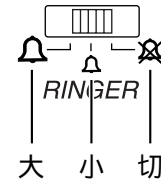
操作のヒント

通話中にスピーカーの音量を調節するには、手順 2 のみを行います。

音量は 12 段階で調節できます。
（お買い上げ時の設定は 7）

着信音量を調節する

1 着信音量つまみ（RINGER）を動かす
（大 / 小 / 切）




ご注意

着信音量を「切」に設定すると、待ち受け状態では、外線や内線からの着信音のほかにも、保留再呼出音やアラーム音なども鳴りません。

内線番号を確認する

電話機の内線番号を表示して確認することができます。

- 1 待ち受け中に ^{プログラム}  を押す

プログラムモードの初期画面が表示されます。

プログラムハンコウ

- 2  を押す

ポート01<=>ナ化ン 10

内線番号が表示されます。

端子番号 内線番号

主装置に接続している内線端子の番号を表示します。
01～16のいずれかが表示されます。

- 3 ^{保留}  を押す

プログラムモードの初期画面に戻ります。

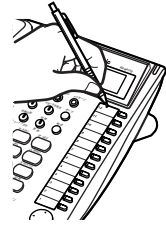
- 4 ^{プログラム}  を押す

記入シートの使いかた

記入シートに、電話番号や短縮ダイヤルに登録した名前、設定した機能などを書き込んでお使いいただくと便利です。

1 記入シートを取り外す

カバーの上の穴にシャープペンなどの先を軽く差し込み、カバーと記入シートを取り外します。



2 書き込む

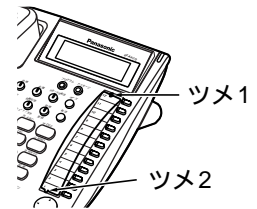
各FFボタンに対応したスペースに、登録した名前や機能を書き込みます。



3 取り付ける

記入シートを元の位置に置きます。

カバーの一方のツメを差し込み、カバーをやや弓形に曲げて、もう一方のツメをはめ込みます。



操作編

これ以降の「操作編」(22～100ページ)では、電話機の操作を説明しています。

4 電話を使う(→22ページ)

本システムに接続される多機能電話機での操作を説明しています。

5 単独電話機(→76ページ)

単独電話機の操作について説明しています。

6 外部機器接続(→81ページ)

玄関子機などのオプションをお使いの場合の操作について説明しています。

7 NTTのサービスを利用する(→86ページ)

本システムでご利用になれるNTTの回線サービスを説明しています。付加サービスと表記してあるものは、NTTとの契約が必要です。

8 機能を設定する(→88ページ)

使いかたにあわせて機能を設定する操作を説明しています。

9 取付け時の設定を変える(→95ページ)


取付け時の設定を変える操作について説明しています。

外線へ電話をかける（自動選局発信）

受話器を取ってかける


1 受話器を取る

2 0 を押す


- 「ツー」音が聞こえ、外線ランプが緑色に点灯します。
- 9 を押してからかけるように設定することもできます。

3 電話番号を押す

受話器を取らずにかける


1  を押す

2 0 を押す



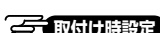
- 「ツー」音が聞こえ、外線ランプが緑色に点灯します。
- 9 を押してからかけるように設定することもできます。

3 電話番号を押す

4 相手が出たら受話器を取る

- 相手の方が電話に出ない場合は、 を押しすと電話を切った状態に戻ります。

操作のヒント


- 特定の外線を使って発信したいときは 0 の代わりに使いたい  を押してください。（このページ以降の外線にかける操作でも共通です）
- 通話が終わったあとに続けて電話をかけるには、受話器を戻さずに  を押します。「ツー」という音が聞こえたら、再度電話番号を押してください。
- お買い上げ時の設定は、自動選局発信番号が「0」、オペレータ内線呼出番号（→27ページ）が「9」です。取付け時に自動選局発信番号を「9」に設定すると、オペレータ内線呼出番号は自動的に「0」に変更されます。
- 通話を終わった（受話器を戻した）直後、一定時間（お買い上げ時の設定は約1.5秒 ）は、外線ランプが消えていても外線を捕捉できません。少しおいてからかけ直してください。

お知らせ

- 電話番号を押すときは、間違い電話を防ぐため、「ツー」という音を確認してから正確にダイヤルしてください。
- 受話器を取らずに通話することもできます。（→73ページ）
- 自動選局発信では、空いている回線を、外線番号の大きいものから降順に自動的に捕捉します。

外線を指定して電話をかける

1 受話器を取る

2 使いたい  を押す


●外線ランプが緑色に点灯します。



3 電話番号を押す



操作のヒント



- 手順2で、 を押す代わりに、以下の方法で使いたい外線を指定することもできます。



・自動選局発信



 をダイヤル：空き外線から発信できます。



  をダイヤル：


  をダイヤル：



  をダイヤル：

  をダイヤル：

  をダイヤル：

  をダイヤル：

指定した外線グループ（1～6）の空き外線で発信できます。 **取付け時設定**

-  ボタンには、1つの外線を指定する方法と、外線グループを指定する方法があります。ボタンの設定については、「FF ボタンを外線ボタンに設定する」(⇒99 ページ) を参照してください。
- 受話器を取らずに、手順2から操作しても電話をかけることができます。
- 通話を終わった（受話器を戻した）直後、一定時間（お買い上げ時の設定は約1.5秒  **取付け時設定**）は、外線ランプが消えていても外線を捕捉できません。少しおいてからかけ直してください。



外線へ電話をかける

受話器を取るだけで外線をつかむ（発信プリファレンス）


電話機に発信プリファレンスを設定しておく、外線の場合は受話器を取って電話番号を押すだけで電話をかけることができます。

発信プリファレンスを設定すると、電話をかける操作が異なりますのでご注意ください。


操作例

項目	手順	参照ページ
外線へ電話をかける	受話器を取る → 電話番号	—
外線を指定してかける1	使いたい  → 電話番号	23
外線を指定してかける2	内線  → 受話器を取る → 外線発信番号( 、   ~   など) → 電話番号	23
外 最後にかけた電話番号に再ダイヤルする(ラストナンバーリダイヤル)	受話器を取る → 	45
線 通話中の外線の電話番号を記憶させて再ダイヤルする(セーブナンバーリダイヤル)	受話器を取る → 	46
ワンタッチダイヤルでかける	受話器を取る → 	28
共通短縮ダイヤルでかける	受話器を取る →  → 短縮番号	30
着信履歴を確認して電話をかける 個別着信履歴	(かけたい相手が表示されたら) 受話器を取る → 	48
システム着信履歴	受話器を取る → 	50


ご注意

発信プリファレンスを設定すると、内線へかける時は最初に  を押す必要があります。


内線へ電話をかける(→25ページ)

 → 受話器を取る → 内線番号

音声で一斉(またはグループ別)に内線呼び出す(→26ページ)

 → 受話器を取る → 呼出番号

ワンタッチダイヤルや共通短縮ダイヤルでかけるときは、発信プリファレンスで指定した外線が発信します。

ワンタッチダイヤルボタンや共通短縮ダイヤルに登録した外線発信番号で発信したい場合は、始めに  を押ししてから操作してください。

受話器を取るまたは  を押して設定をする操作は、「 を押す → 受話器を取る」操作に変わります。

お知らせ

設定のしかたは、「発信プリファレンスを変更する」(→95ページ)を参照してください。

内線へ電話をかける

内線へ電話をかける

受話器を取ってかける

1 受話器を取る

内線ランプが点灯します。

2 内線番号を押す

受話器を取らずにかける

1  または  を押す

2 内線番号を押す

3 (相手が出たら) 受話器を取る

音声で呼び出す (内線音声呼出)

電話をかけた相手を、呼出音の代わりに音声で呼び出します。

1 受話器を取る


2 内線番号を押す

3  を押す


予告音が鳴ります。


4 呼びかける

3 呼びかける

呼びかけずに  を押すと、内線信号呼出に切り替わります。

ご注意

発信プリファレンスを設定すると、内線へかける時は最初に  を押す必要があります。(⇒24 ページ)
内線へ電話をかける

 ⇒ 受話器を取る ⇒ 内線番号


操作のヒント

内線信号呼出と内線音声呼出は、相手の電話機の設定によります。(⇒88 ページ)(お買い上げ時には、内線信号呼出に設定されています。)

お知らせ

内線番号を押したあと、相手の電話機の状態により、違った音が鳴ります。

- 呼出音 : 相手の内線を呼び出しています。
- 予告音 : 内線音声呼出をします。
- 話中音 : 相手がお話中です。
- 不在設定音 : 相手が不在設定をしています。

相手の内線番号に名前が登録されている場合 ( 取付け時設定) は、通話中に相手の内線番号と名前が液晶表示部に表示されます。

システムで同時に利用できる内線通話は、4 通話までです。

内線へ電話をかける

音声で一斉（またはグループ別）に内線呼び出す

内線から特定のグループ別、またはすべての電話機でスピーカーから呼び出すことができます。

1 受話器を取る

2 呼出番号を押す

<input type="button" value="□"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="0"/>	: 一斉呼出	<input type="button" value="□"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="6"/>	: 第6グループ	
<input type="button" value="□"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="1"/>	: 第1グループ	<input type="button" value="□"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="7"/>	: 第7グループ	
<input type="button" value="□"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="2"/>	: 第2グループ	<input type="button" value="□"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="8"/>	: 第8グループ	
<input type="button" value="□"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="3"/>	: 第3グループ	<input type="button" value="□"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="9"/> または <input type="button" value="□"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="*"/>	オプションが必要です。 (⇒81 ページ)	
<input type="button" value="□"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="4"/>	: 第4グループ			: 一斉呼出と構内放送
<input type="button" value="□"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="5"/>	: 第5グループ			: 構内放送

予告音が鳴ります。

3 相手を音声で呼び出す

4 呼び出された人 受話器を取る

5 を押す

通話できます。


ご注意

手順3で、お話し中、または不在設定(⇒52 ページ)や一斉音声呼出を受けない設定をしている電話機は音声呼出できません。

一斉呼出と構内放送はシステムで同時に1人しかできません。一斉呼出や構内放送中は、グループ呼出はできません。

操作のヒント

音声呼出の前に予告音が鳴ります。予告音のあとに呼び出してください。

構内放送用スピーカーから鳴る予告音は、鳴らないように設定することができます。()

お知らせ

一斉呼出とは、すべての内線電話機のスピーカーから呼び出すことを指し、構内放送とは、構内放送用スピーカーから呼び出すことを指します。

一斉(およびグループ別)音声呼出を受けないようにする(一斉音声呼出拒否)

電話機ごとに一斉(またはグループ別)音声呼出されないように設定することができます。

一斉音声呼出を受けない設定するには

1 受話器を取る、または を押す

2 を押す

3 受話器を戻す、または を押す


設定を解除するには

1 受話器を取る、または を押す

2 を押す

3 受話器を戻す、または を押す

オペレータ内線を呼び出す

本システムでは、オペレータ内線として1台の電話機を設定することができます。 取付け時設定
オペレータ内線(⇒9ページ)を設定している場合は、以下の方法でオペレータ内線を呼び出すことができます。


1 受話器を取る

2  を押す

お知らせ

オペレータ内線が設定されていない場合は、警告音が鳴ります。

取付け時に自動選局発信番号(⇒22ページ)を「9」に設定するとオペレータ内線呼出番号は「0」となります。

 取付け時設定

オペレータ内線の内線番号は取付け時に設定します。(お買い上げ時の設定は、内線10番)

登録した電話番号にかける

ワンタッチダイヤルでかける

よくかける相手の電話番号をFFボタン（またはメッセージボタン）に登録しておく、簡単な操作で登録した相手に電話をかけることができます。

1 受話器を取る

2 使いたいワンタッチダイヤル（またはメッセージ）を押す

操作のヒント

ワンタッチダイヤルボタンには24ケタまで登録できます。

ワンタッチダイヤルボタンは、短縮ダイヤルや他のワンタッチダイヤルなどを組み合わせて操作することができます。25ケタ以上の番号を登録したい場合は、2つのワンタッチダイヤルボタンに分けて登録してください。かけるときは、上記の手順2で2つのワンタッチダイヤルボタンを続けて押します。

(例)[ワンタッチダイヤル1]012345678901234567890123

[ワンタッチダイヤル2]4567890

電話をかけるときは、受話器を取る⇒[ワンタッチダイヤル1]⇒[ワンタッチダイヤル2]

手順2でワンタッチダイヤル（またはメッセージ）を押す前に、使いたい外線（または0、81～86など）を押し、外線を指定してかけることもできます。（外線を指定すると、ワンタッチダイヤルボタンに登録されている外線発信番号は無効となります）

ワンタッチダイヤルボタンに登録した番号を確認するには、待ち受け中に確認したいワンタッチダイヤル（またはメッセージ）を押します。

お知らせ

登録のしかたは、「ワンタッチダイヤルボタンを設定する」(⇒90ページ)を参照してください。

メッセージボタンをワンタッチダイヤルボタンに登録すると、メッセージボタンとしては使用できません。

メッセージボタンに戻すには、「メッセージボタンに戻す」(⇒94ページ)を参照してください。

ワンタッチ内線ボタンでかける

よくかける内線の相手の電話番号をFFボタン（またはメッセージボタン）に登録しておく、簡単な操作で登録した相手に電話をかけることができます。

1 受話器を取る

2 使いたいワンタッチ内線（またはメッセージ）を押す

操作のヒント

ワンタッチ内線ボタンに登録された番号を確認するには：

プログラム ⇒ 確認したいワンタッチ内線（またはメッセージ）⇒（番号が表示される）⇒ プログラム

ワンタッチ内線ボタンを押すだけで受話器を取らずに登録した内線に電話をかけることもできます。

お知らせ

登録のしかたは、「ワンタッチ内線ボタンを設定する」(⇒90ページ)を参照してください。

メッセージボタンをワンタッチ内線ボタンに登録すると、メッセージボタンとしては使用できません。

メッセージボタンに戻すには、「メッセージボタンに戻す」(⇒94ページ)を参照してください。

登録した電話番号にかける

個人短縮ダイヤルでかける

よくかける電話番号を登録して、簡単な操作で電話をかけることができます。
個人短縮ダイヤルは、短縮番号 (0) ~ (9) の10か所を、電話機ごとに登録できます。

- 1 受話器を取る
- 2 を押す
- 3 短縮番号(~)を押す

個人短縮ダイヤルを登録する

よくかける電話番号を電話機ごとに登録することができます。個人短縮ダイヤルは、短縮番号 (0) ~ (9) の10件まで、電話番号は1件につき24ケタ (0~9の数字) まで登録できます。

- 1 受話器を取る、または スピーカーホン を押す
- 2 を押す
- 3 短縮番号(~)を押す (例: 短縮番号2)
- 4 登録したい電話番号を押す (例: 00312345678)

24ケタまで登録できます。
外線の電話番号を登録する場合、最初に外線発信番号
(, ~) を登録してください。
- 5 を押す
確認音が鳴ります。
- 6 受話器を戻す、または スピーカーホン を押す

操作のヒント

手順4で電話番号の間に を押すと、空白時間(ポーズ)として登録されます。

修正するには

登録と同じ操作で上書き修正できます。

削除するには

受話器を取る、または スピーカーホン を押す →
→ 短縮番号(~) →

確認するには

受話器を取る、または スピーカーホン を押す →
→ 短縮番号(~) →

共通短縮ダイヤルでかける

よくかける電話番号を登録して、簡単な操作で電話をかけることができます。

システム共通で使う短縮ダイヤル（短縮番号 00 ~ 99 の100か所）を指定電話機で登録（→102 ~ 107ページ）して、各電話機でお使いになれます。

1 受話器を取る

2 ^{短縮}  を押す


短縮ランプが点灯します。



3 短縮番号(00 ~ 99)を押す

短縮ランプが消灯します。

短縮ダイヤルに登録した電話番号が表示されます。

操作のヒント

発信規制を設定している場合、共通短縮ダイヤルを使うと、自動的に電話機の発信規制を解除してかけることができます。  取付け時設定

手順2で ^{短縮}  を押す前に、使いたい ^{外線}  （または 0、81 ~ 86など）を押し、外線を指定してかけることもできます。（外線を指定すると、共通短縮ダイヤルに登録されている外線発信番号は無効となります）

手順2で ^{短縮}  の代わりに  を押すこともできます。

組み合わせダイヤルでかける

2つ以上の短縮ダイヤルを組み合わせで電話をかけることができます。

組み合わせる短縮ダイヤルには、ワンタッチダイヤルボタン（→28ページ）を使っのダイヤル操作も含まれます。操作は、手順2と3を繰り返して短縮ダイヤルを組み合わせます。

例：上記の手順1のあと

2 ^{短縮}  を押す

3 短縮番号を押す

4 ^{短縮}  を押す

5 組み合わせたい短縮番号を押す

外線からの電話を受ける

電話を受ける

1 着信音が鳴る

着信ランプと外線ランプが赤色に点滅します。
着信音量ツマミを「切」に設定している場合、
着信音は鳴りません。

2 受話器を取る

着信音が鳴っていない電話機で外線を受けるには

1 受話器を取る

2 ランプが点滅している を押す

2つ以上の外線から着信している場合

複数の外線から着信している場合、外線を選んで電話
を受けることができます。

1 着信音が鳴る

着信ランプが点滅し、複数の外線ランプが赤
色に点滅します。


2 ランプが点滅している を押す

外線ランプが緑色に点灯します。

3 受話器を取る





お知らせ

外線電話の受けかたは、それぞれの電話機ごとに設定することができます。設定については「外線着信応答を変更する」(⇒96ページ)を参照してください。

外線からの着信音を鳴らすか、鳴らさないかは、取付け時に設定します。 また、それぞれの電話機ごとに設定することもできます。(「鳴動着信設定を変更する」⇒97ページ)

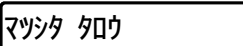

着信情報の表示を切り替える

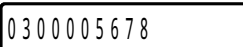

NTTのナンバー・ディスプレイを契約している場合は、発信者の電話番号が通知されて電話がかかってきたとき、発信者の電話番号が液晶表示部に表示されます。発信者の電話番号が共通短縮ダイヤルに登録されている場合には、電話番号の代わりに登録された名前が表示されます。


 [または  (⇒92ページ) や  (⇒93ページ)] を押すと、着信情報の表示を切り替えることができます。ただし、通話中に  を押すとダイヤルとみなされ、着信情報の表示を切り替えることはできません。

(例)

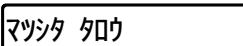


電話がかかってきたとき

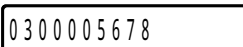


 (相手の名前：
共通短縮ダイヤルに名前が
登録されているとき)
 ↓


 (相手の電話番号)
 ↓

 (外線番号)

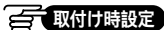
通話中

 (相手の名前：
共通短縮ダイヤルに名前が
登録されているとき)
 または  ↓

 (相手の電話番号)
 または  ↓

 (通話時間)

お知らせ

相手の名前と電話番号は、どちらを先に表示するかを設定することができます。

内線からの電話を受ける

内線からの電話を受ける

1 着信音または音声聞こえる

着信音で呼び出された場合は、着信ランプと内線ランプが点滅します。
音声で呼び出された場合は、内線ランプが点滅します。(→88ページ)

2 受話器を取る

内線ランプが点灯します。

お知らせ

内線から電話がかかってきた場合には、電話をかけた人の内線番号が表示されます。

内線に名前が登録されている場合は( **取付け時設定**)、内線番号と名前が表示されます。


あらかじめ内線自動応答を設定して、受話器を取らずにマイクに向かって話す方法で応答することもできます。
(→33ページ)

内線音声呼出に受話器を取らずに応答する（内線自動応答）

音声で内線が呼び出されたときに、受話器を取らずに応答できます。
手が離せない作業をしているときなどに便利です。

内線自動応答を設定する

1 待ち受け中、または受話器を使用中に

自動応答
 を押す
 ミュート/文字

自動応答ランプが点灯します。

解除するには

上記と同じ操作を行います。
自動応答ランプが消えます。

内線自動応答を設定すると

1 呼び出されると電話機から声が聞こえる


自動応答ランプが消灯します。
内線ランプが点灯します。

2 マイクに向かって話す

受話器を取って通話することもできます。




ご注意

スピーカーホン通話中に  を押すと、マイクミュートが設定されます。（⇒74 ページ）

この機能で外線電話や玄関子機の呼び出しを受けることはできません。

内線自動応答を設定していても、外線通話を転送された場合は、着信音が鳴ります。

内線自動応答のときは、通話を交互に行ってください。両方が同時に通話をしたり、相手の方が話し終わらないうちにこちらが話しかけますと、声が途切れる場合があります。

ヘッドセット接続時は、待ち受け中に  を押すと、内線自動応答が設定されます。

以下のような設置場所でのご使用は避けてください。相手の通話が切り替わらない場合があります。

- ・周囲の騒音が大きいところ（60dB 以上）
- ・テレビやラジオなどの近く
- ・音声的反響しやすいところ

一括初期化操作が行われると、設定は解除されます。（⇒98 ページ）

他の電話機で電話を受ける

呼び出されている電話機に代わって、他の電話機から電話を受けることができます。

代理応答をする

呼び出されている電話機の内線番号を指定して電話を受けます。

1 受話器を取る

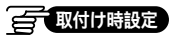
2 **[口]** **[4]** **[1]** を押す

3 鳴っている電話機の内線番号を押す

確認音が鳴り、内線を受けられます。

お知らせ

玄関子機からの呼び出しも受けることができます。
確認音は鳴らないようにすることもできます。



グループ代理応答をする

呼び出されている同じ内線グループの電話を受けることができます。

1 受話器を取る

2 **[口]** **[4]** **[0]** を押す

確認音が鳴り、内線を受けられます。

お知らせ

お買い上げ時には、全内線がグループ1になっています。

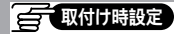
同じ内線グループにかかってきた電話は、すべて受けることができます。ただし、内線コールバック/外線コールバックや保留再呼出は受けられません。

確認音は鳴らないようにすることもできます。

自分の電話機に着信音が鳴っていても、受話器を取るだけで、同じ内線グループにかかってきた電話を受けるように設定することもできます。



留守番電話応答をする



単独電話機に留守番機能を持った電話機を接続してお使いのときは、留守番電話で応答中の電話を受けることができます。

1 留守番電話が応答する

2 受話器を取る

3 留守番電話の内線番号を押す

話中音が聞こえます。

4 **[4]** を押す

電話を受けられます。

お知らせ

留守番電話機をお使いの場合は取付け時設定を行わないと、正しく動作しない場合があります。

相手が留守番電話接続の設定をしていない場合は、電話を受けられずに、警告音が鳴ります。

代理応答ができないようにする

自分の電話機へかかってきた内線を、他の電話機から代理応答ができないようにすることができます。
(代理応答操作規制)

1 受話器を取る

2 **[7]** **[2]** **[1]** **[口]** を押す

確認音のあとに「ツツツ」音が鳴ります。

3 受話器を戻す

解除するには

手順2で **[7]** **[2]** **[0]** **[口]** を押します。

設定が解除されます。

外線を保留・転送する

保留または口頭で取り次ぐ


1 通話中に  を押す

確認音のあと、「ツー」音が鳴ります。
外線ランプが緑色に点滅し、相手には保留音が流れます。
他の電話機の外線ランプは赤色点滅します。

2 受話器を戻す

通話に戻るとき

3 受話器を取る

4 保留中の  を押す
(緑色点滅)


口頭で転送するとき

3 呼び出したい人に、電話が入っていることを伝える


「外線×番に電話です。」




転送を受ける人

4 受話器を取る

5 保留されている  を押す
(赤色点滅)

保留が解除され、外線の相手と通話できます。

外線
 を押さずに、
(赤色点滅)

   ⇒ 受けたい外線番号を押すと、確認音のあとに転送を受けることができます。

外線を自己保留する

自己保留すると、保留した電話機からのみ通話に戻ることができます。

<操作方法の違い>


手順 1で、 を2回押します。保留中は、他の電話機の外線ランプは赤色点灯のままです。


ご注意

外線を保留したまま30分が過ぎると、自動的に通話が切れます。

パーク保留をするときは、操作が異なります。(⇒39ページ)

お知らせ

通話を保留したまま一定の時間が過ぎると(お買い上げ時の設定は30秒 )、保留再呼出や警告表示となり、「リコール CO 1」のように表示されます。保留再呼出を「トクワツ」に設定すると、再呼出されません。



また、着信音量ツマミを「切」に設定していたり、電話機を使用中には保留再呼出音は鳴りません。

複数の外線通話を保留・自己保留することができます。

保留中は、受話器を取って他の相手に電話をかけることができます。ただし、保留再呼出中に受話器を取ると、保留中の相手との通話に戻ります。



内線番号で転送する

- 1 通話中に  を押す

確認音のあと、「ツー」音が鳴ります。
外線ランプが緑色に点滅し、相手には保留音が流れます。

- 2 転送先の内線番号を押す

- 3 転送先が応答したら、電話が入っていることを伝える


元の通話に戻りたい場合は、再度  (または、保留中の ) を押します。
(緑色点滅)

- 4 受話器を戻す


電話が転送されます。

操作のヒント



手順 2 のあとで、転送先が応答する前に受話器を戻すと、転送先が応答したとき外線と直接通話できます。
(応答前転送)

FF ボタンに転送したい相手を登録してワンタッチ内線ボタンを設定すると、ワンタッチ内線ボタンを押すだけで転送します。(お買い上げ時の設定)  **取付け時設定**

お知らせ


応答前転送で転送先が一定の時間応答しない場合(お買い上げ時の設定は 30 秒  **取付け時設定**)、通話が戻ってきます。(転送再呼出)

転送再呼出が始まって 30 分が過ぎると、自動的に通話が切れます。

転送先がお話し中の場合、 を押して話中時着信音を鳴らしたり(⇒62 ページ)、 を押して相手の通話に割り込む(⇒59 ページ)などして、転送先の相手に知らせることができます。

内線を保留・転送する

保留または口頭で取り次ぐ

1 内線との通話中に  を押す

確認音のあと「ツー」音が鳴ります。
相手には保留音は流れず無音となります。
内線ランプが点滅します。

2 受話器を戻す

通話に戻るとき

3 受話器を取る

4  を押す

口頭で転送するとき

3 呼び出したい人に、電話が入っていると、自分の内線番号を伝える

「内線××番に電話です。」

転送を受ける人

4 受話器を取る

5   を押す

6 保留した電話機の内線番号を押す

確認音が鳴り、保留が解除されます。

内線を自己保留する

自己保留すると、保留した電話機からのみ通話に戻ることができます。

<操作方法の違い>



手順 1で、 を2回押します。

ご注意

パーク保留をするときは、操作が異なります。(⇒39 ページ)

玄関子機との通話を保留することはできません。


お知らせ

通話を保留したまま一定の時間が過ぎると(お買い上げ時の設定は30秒 )、保留再呼出や警告表示となり、「11 :マツタ」(内線 11 番、松下さん)のように保留されている相手が表示されます。保留再呼出を「トクカツ」に設定すると、再呼出されません。  また、着信音量を「切」にしていたり、使用中には保留再呼出音は鳴りません。

内線は、一度に1通話のみ保留できます。パーク保留機能を使うと、一度に複数の内線通話を保留することができます。(⇒39 ページ)

保留中は、受話器を取って他の相手に電話をかけることができます。ただし、保留再呼出中に受話器を取ると、保留中の相手との通話に戻ります。

内線番号で転送する



1 内線との通話中に  を押す

内線ランプが点滅します。

相手には保留音は流れず無音となります。

2 転送先の内線番号を押す

3 転送先が応答したら、電話が入っていることを伝える

元の通話に戻りたい場合は、再度  (または、) を押します。


4 受話器を戻す

通話が転送されます。



操作のヒント

手順 2 のあとですぐに受話器を戻すと、転送先が応答したときに転送した内線と直接通話できます。
(応答前転送)

お知らせ

応答前転送で転送先が一定の時間応答しない場合 (お買い上げ時の設定は 30 秒 )、通話が戻ってきます。(転送再呼出)

転送再呼出が始まって 30 分が過ぎると、自動的に通話が切れます。


転送先がお話し中の場合、 を押して話中時着信音を鳴らしたり (⇒ 62 ページ)、 を押して相手の通話に割り込む (⇒ 59 ページ) などして、転送先の相手に知らせることができます。

パーク保留



通話中の外線または内線を、個別の電話機ではなくシステム内に保留します（パーク保留）。パーク保留では10件まで保留することができ、どの内線からも応答することができます。

多機能電話機で2件以上の内線通話を保留したい場合や、単独電話機で2件以上の内線または外線通話を保留したい場合、この機能を使うと便利です。

通話をパーク保留にする

1 通話中に  を押す
確認音のあと、「ツー」音が鳴ります。

2    を押す

3 パーク番号( ~ )を押す

確認音のあと「ツー」音が鳴り、通話が保留されます。



手順3で話中音が鳴った場合、入力したパーク番号は使われています。使われていないパーク番号を押し直してください。

他の人に取り次ぐ場合は、このパーク番号を伝えてください。

パーク保留に応答する

1 受話器を取る


2    を押す

3 応答する保留のパーク番号( ~ )を押す

確認音のあと「ツー」音が鳴り、保留が解除されます。

手順3で警告音が鳴った場合、入力したパーク番号は使われていません。

ご注意

パーク保留が設定時間内に（お買い上げ時の設定は30秒 ）応答しない場合、保留再呼出となります。

パーク保留したまま30分が過ぎると、自動的に通話が切れます。

保留・転送する

特定のグループへ転送する

通話中の外線または内線を転送する相手の居場所がはっきりしない場合に、グループ別またはすべての電話機を音声で呼び出して転送します。

1 通話中に  を押す

通話が保留されます。

通話中の外線ランプまたは内線ランプが緑色に点滅し、「ツー」音が鳴ります。

2 呼出番号を押す

	: 一斉呼出		: 第6グループ	
	: 第1グループ		: 第7グループ	
	: 第2グループ		: 第8グループ	
	: 第3グループ		オプションが必要です。 (⇒81ページ)	
	: 第4グループ			: 一斉呼出と構内放送
	: 第5グループ			: 構内放送

予告音が鳴ります。

3 転送する相手呼び出す


「さん電話です」

4 転送を受ける人

受話器を取る → を押す

5 (転送先が応答し、確認音が鳴ったら) 受話器を戻す

電話が転送されます。


転送先が応答しないときは、 を押すと元の通話に戻ります。

ご注意

手順3で、お話し中、または不在設定や一斉音声呼出を受けない設定をしている電話機は、音声呼出できません。

操作のヒント

音声呼出の前に予告音が鳴ります。予告音のあとに呼び出してください。

構内放送用スピーカーから鳴る予告音は、鳴らないように設定することができます。( 取付け時設定)



お知らせ

一斉呼出とは、すべての内線電話機のスピーカーから呼び出すことを指し、構内放送とは、構内放送用スピーカーから呼び出すことを指します。





保留中に交互通話をする

今話している通話を保留して、保留した通話と他の通話とを交互に切り替えて話すことができます。一方の相手との通話中は、もう一方の通話は保留されます。



相手が両方とも内線の場合

- 1 内線通話中に  を押す
通話が保留されます。
内線ランプが点滅します。
- 2 他の内線に電話をかける
- 3 (手順2の相手と)
通話中に  を押す
通話中の内線が保留され、(手順1で)
保留されているもう一方の内線と通話でき
ます。
- 4 **交互通話を繰り返すには**
手順3を繰り返す

その他の場合

- 1 通話中に  を押す
通話が保留されます。
相手が外線の場合：
通話中の外線ランプが緑点滅します。
相手が内線の場合：
内線ランプが点滅します。
- 2 他の相手に電話をかける、または
他の相手からの電話を受ける
- 3 (手順2の相手と)
通話中に  を押す
(手順2の)通話が保留されます。
相手が外線の場合：
通話中の外線ランプが緑点滅します。
相手が内線の場合：
内線ランプが点滅します。
- 4 (手順1で)保留されている
 または  を押す
もう一方の保留された相手と通話できます。
- 5 **交互通話を繰り返すには**
手順3、4を繰り返す

操作のヒント

交互通話をやめて、もう一方の方との通話に戻るときは、受話器を置いていったん通話を切り、その後受話器を上げて、保留中の  または  を押します。

ご注意

玄関子機との通話中は、この機能は使えません。

外線へ転送する

外線への転送について

取付け時設定

自動転送 (→43ページ)

外出するときなどに設定すると、個別着信した電話をあらかじめ設定した転送先に自動的に転送します。個別着信させるには、取付け時の設定が必要です。 取付け時設定

例：外出中に自分あてにかかってきた電話のみを携帯電話等に転送。

この機能を使うには、どの電話機にかかってきた電話を転送するか、あらかじめ設定する必要があります。
また、内線からかかってきた電話を転送することもできます。



手動転送 (→44ページ)

通話中に手動で別の外線に転送できます。

取付け時設定



お知らせ

外線電話が転送されてから、一定時間（お買い上げ時の設定は30分）が経過すると、転送先に長時間通話防止のための警告音「ツツツ」が聞こえ、約15秒後に自動的に電話が切れます。 取付け時設定

転送先により、雑音が入る場合があります。

転送中の外線に割り込んで通話することはできません。

外線の線路条件（NTTからの距離等）や転送先の状況によっては通話音量が小さくなる場合があります。

自動転送設定中の表示について


転送設定をしている場合、待ち受け中に 不在/不在転送 を押すと、液晶表示部に外線へ転送設定していることが表示されます。

例) 7ガ 行ソウ ガ 他ソ

自動転送を設定する








席を外す前にこの設定を行うことで、かかってきた電話を外線へ転送することができます。この設定は、個別着信するように設定された電話機でのみ可能です。

1 受話器を取る、または  を押す

2  を押す


3  を押す

4 外線発信番号 (、 ~  など) を押す

5 転送先の電話番号を押す


6  を押す

確認音のあと「ツー」音が鳴ります。

7 受話器を戻す、または  を押す

不在ランプが点滅します。


転送を解除するには

1 受話器を取る、または  を押す

2  を押す

3   を押す


確認音のあと「ツー」音が鳴ります。

4 受話器を戻す、または  を押す

不在ランプが消灯します。

ご注意

自動転送は、不在設定 (⇒52 ページ) と同時に設定できません。

外線電話が転送されてから、一定時間 (お買い上げ時の設定は30分) が経過すると、お話中の両方に長時間通話防止のための警告音「ツツツ」が聞こえ、約15秒後に自動的に電話が切れます。

操作のヒント

自動転送 (個別着信) のセット中は、不在ランプが点滅します。

自動転送 (個別着信) は、外線から転送先を変更することはできません。

電話番号は、外線発信番号を含めて32ケタまで登録することができます。

通話中に手動で転送する（手動転送）



取付け時の設定により、外線や内線からの電話に应答してから他の外線に転送することができます。

1 通話中の相手に転送することを伝え を押す

通話が保留され、確認音のあと「ツー」音が鳴ります。

外線を保留した場合は外線ランプが緑点滅、内線を保留した場合は内線ランプが点滅します。

2 空いている を押す

 の代わりに外線発信番号を押すこともできます。




3 転送先の電話番号を押す


4 相手が应答したら、転送する旨を連絡します

5 受話器を戻す


通話が転送されます。

操作のヒント

手順 3 で元の通話に戻りたい場合は、再度  を押します。（または、元の通話が保留されている  または  を押します）


外線を外線に転送した場合には、手順 5 のあとで元の通話か転送先のいずれかの  を押すと、元の通話と転送先との会議通話（3 者）ができます。（⇒64 ページ）

手順 4 で転送先を変更する場合は、相手の  を押して、元の通話に戻ったあと、再度操作をやり直します。

外線電話が手動転送されてから、一定時間（お買い上げ時の設定は 30 分）が経過すると、お話し中の両方に長時間通話防止のための警告音「ツツツ」が聞こえ、約 15 秒後に自動的に電話が切れます。（ 転送元の内線には、制限時間の 50 秒前から保留再呼出音が鳴ります。


最後にかけた電話番号に再ダイヤルする（ラストナンバーリダイヤル）

最後にかけた外線の電話番号を1件のみ記憶して、簡単な操作で電話をかけることができます。


1  を押す

2  を押す




3 （相手が出たら）受話器を取る


液晶表示部がダイヤル表示から通話時間表示に変わった場合は、スピーカーホン通話（⇒73ページ）ができます。（お買い上げ時の設定） 取付け時設定



ご注意

通話中や呼出中に  を押すと、現在の通話が切れて、再ダイヤルを始めます。（ACR機能は無効となります）ヘッドセット接続時にはオートリピートダイヤル機能は使えません。

操作のヒント

電話番号は、64ケタまで記憶されます。、、 や （短縮ダイヤル表示制御）も1ケタに含みます。（外線発信番号は含みません）



受話器を取って再ダイヤルした場合、相手がお話し中のときは、電話を切らずに  を押すと、もう1度再ダイヤルし直します。（ACR機能は無効となります）

再ダイヤルをしようとした外線が使用中の場合、他のあいている  を押して、 を押してください。

他の電話番号にかけるまで、同じ電話番号に何回でも再ダイヤルできます。

待ち受け中に  を押すと、記憶されている電話番号が液晶表示部に表示され、確認できます。

オートリピートダイヤルについて

- 受話器を取らずに再ダイヤルをして相手がお話し中や呼び出しても応答しないときは、自動的に決められた回数まで、再ダイヤルします。（オートリピートダイヤル） 取付け時設定（外線にかけた場合のみ）
 を押すと、オートリピートダイヤルは解除されます。オートリピートダイヤルの待ち受け中（スピーカーホンランプが赤点滅しているとき）に受話器を取ると、オートリピートダイヤルは解除されます。
- 再ダイヤル発信時、自動応答/ミュートランプが赤点滅します。相手の呼出音が聞こえると消灯します。待ち受け中には、スピーカーホンランプが赤点滅します。

お知らせ

受話器を取ってから再ダイヤルすることもできます。

通話中の外線電話番号を記憶させて再ダイヤルする(セーブナンバーリダイヤル)

外線へ電話をかけたときに相手の電話番号を記憶しておいて、あとから簡単な操作で電話をかけることができます。記憶できる電話番号は1件で、新しい番号を記憶させるまで保存されます。

相手の電話番号を記憶する

- 1 発信して、通話中または呼出中に
短縮登録を押す
相手がお話し中でも記憶させることができます。

- 2 セーブを押す

記憶した電話番号に電話をかける

- 1 スピーカーホンを押す

- 2 セーブを押す

- 3 (相手が出たら) 受話器を取る

液晶表示部がダイヤル表示から通話時間表示に変わった場合は、スピーカーホン通話(⇒73ページ)ができます。(お買い上げ時の設定) 取付け時設定

ご注意

この機能を使うには、あらかじめFFボタンにセーブボタンを設定しておいてください。(⇒94ページ)
ヘッドセット接続時にはオートリピートダイヤル機能は使えません。

操作のヒント

電話番号は、64ケタまで記憶されます。、、、 や (短縮ダイヤル表示制御) も1ケタに含まれます。(外線発信番号は含みません)

受話器を取って再ダイヤルをした場合、相手がお話し中のときは、電話を切らずに を押すともう1度再ダイヤルし直します。

他の番号を記憶させるまで、同じ番号に何回でも再ダイヤルできます。

待ち受け中に を押すと、記憶されている電話番号が液晶表示部に表示されます。

外線を指定して再ダイヤルしたいときは、使いたい を押してから を押してください。

オートリピートダイヤルについて

- ・受話器を取らずに再ダイヤルをして相手がお話し中や呼び出しても応答しないときは、自動的に決められた回数まで、再ダイヤルします。(オートリピートダイヤル) 取付け時設定 (外線にかけた場合のみ)
- ・ を押すと、オートリピートダイヤルは解除されます。オートリピートダイヤルの待ち受け中(スピーカーホンランプが赤点滅しているとき)に受話器を取ると、オートリピートダイヤルは解除されます。
- ・再ダイヤル発信時、自動応答/ミュートランプが赤点滅します。相手の呼出音が聞こえると消灯します。待ち受け中には、スピーカーホンランプが赤点滅します。

お知らせ

受話器を取ってから再ダイヤルすることもできます。

ナンバー・ディスプレイをご契約の場合は、外線から発信者番号が通知されてかかってきたときに発信者の電話番号などを液晶表示部に表示したり、着信履歴に記憶することができます。

着信履歴には、以下の2種類があります。

個別着信履歴： 電話機ごとの着信履歴 (⇒ 48ページ)
20件まで記憶できます。

システム着信履歴： システムが記憶している着信履歴 (⇒ 50ページ)
300件まで記憶できます。(同時に複数の電話機から利用できます。)

お買い上げ時には、電話に応答しなかった場合の着信履歴 (**不応答履歴**) のみが記憶される設定になっています。電話に応答した履歴 (**応答履歴**) を残すように設定することもできます。(⇒ 51ページ)
(単独電話機もシステム応答履歴を残すように設定することができます。)

あらかじめFFボタンに個別履歴選択ボタン、個別着信履歴ボタン、システム履歴選択ボタン、システム着信履歴ボタンを設定しておいてください。(⇒ 92～93ページ)

着信件数を確認する

着信履歴の件数を確認することができます。

1 個別履歴選択 や システム履歴選択 を押す

● 着信件数が表示されます

(例)

New:002	Old:003
---------	---------

 ↓ ↓
 件数 件数

着信履歴には「New」と「Old」の履歴があります。

New：

- ・ 不応答履歴で、まだ確認していないもの
- ・ 通話中に **個別着信履歴** や **システム着信履歴** を押して記憶した履歴

Old：

- ・ 応答履歴 (応答履歴を設定している場合) (⇒ 51ページ)
- ・ **個別着信履歴** や **システム着信履歴** を押して確認済みの不応答履歴

お知らせ

- システム着信履歴ボタンがどの電話機にも設定されていない場合は、同時に外線着信鳴動した電話機のうち、個別着信履歴ボタンを設定している、最も若い番号の内線端子に接続された電話機に個別着信履歴とシステム着信履歴の両方が個別着信履歴として残ります。
- 通話中に **個別着信履歴** または **システム着信履歴** を押すと、応答履歴を設定 (⇒ 51ページ) していなくても応答履歴として記憶されます。

個別着信履歴を確認する／電話をかける

個別着信履歴は電話機ごとに20件まで記憶されます。20件を超える場合は、「Old」の履歴が古いものから順に新しい履歴に上書きされて最新の20件が記憶されます。「New」の履歴が20件を超えると、個別履歴選択ボタンのランプが点灯します。

個別着信履歴が20件を超える場合、20件まで記憶したら21件目以降の履歴を記憶しないよう設定することもできます。(→49ページ)

あらかじめFFボタンに個別履歴選択ボタンと個別着信履歴ボタンを設定しておいてください。(→92ページ)

着信履歴を確認して電話をかける



個別着信履歴を確認する

1  を押す

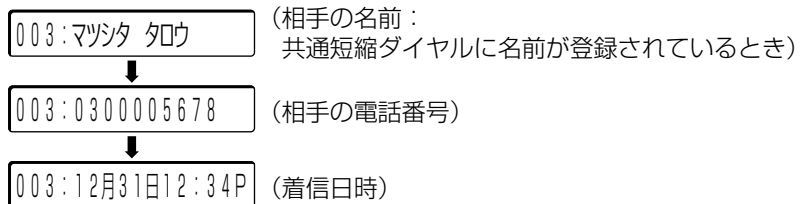
●新しい着信履歴が表示されます。

2  を繰り返し押して他の履歴を表示する

●新しい不応答履歴が表示されたあと、確認済の履歴が表示されます。

● (または ) を押すと、履歴の内容が表示されます。






(例) 不応答履歴003




表示した相手に電話をかける





3 (かけたい相手が表示されたら) 受話器を取る

4  を押す

●外線を指定するときは、使いたい  (または 、 ~  など) を押し、 を押して電話をかけることができます。

お知らせ

●手順2で  を押すと表示された電話番号の先頭から削除され、修正することができます。

 ~ 、、 が入力できます。

●手順2で電話番号を表示してから20秒が過ぎると表示が消えます。受話器を一度上げた場合も表示が消えます。

●個別着信履歴ボタンを押して着信履歴の内容を確認するとき、一つ前に確認した着信履歴と同じ種類の内容が優先的に表示されます。(例えば、最後の着信履歴確認時に相手の電話番号を表示していた場合、個別着信履歴ボタンを押すと相手の電話番号が名前や着信日時より優先して表示されます)


個別着信履歴を消去するには

1  を繰り返し押しして消去したい相手を選ぶ

2  を押す


確認音が鳴り、個別着信履歴が消去されます。

個別着信履歴をすべて消去するには

1 受話器を取る、または  を押す

2     を押す


 と表示され、個別着信履歴がすべて消去されます。

3 受話器を戻す、または  を押す

21件目以降を記憶しない(最初の20件を記憶する)


個別着信履歴が20件を超える場合、最初の20件までを記憶したら21件目以降の履歴を記憶しないよう設定することができます。この場合、個別着信履歴が20件を超えると個別履歴選択ボタンのランプが点灯します。

21件目以降を記憶しない


1 受話器を取る、または  を押す

2      を押す

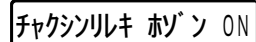
 と表示され、確認音のあと「ツー」音が鳴ります。


3 受話器を戻す、または  を押す

最新の20件を記憶するに戻す

1 受話器を取る、または  を押す

2      を押す







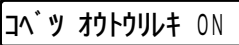

 と表示され、確認音のあと「ツー」音が鳴ります。

3 受話器を戻す、または  を押す







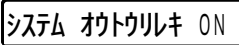

応答履歴を設定する

応答履歴を残すように設定できます。



個別応答履歴を設定する

- 1 受話器を取る、または  を押す
- 2      を押す
 と表示されます。
 確認音のあと「ツー」音が鳴ります。
- 3 受話器を戻す、または  を押す







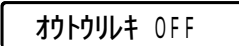

システム応答履歴を設定する

- 1 受話器を取る、または  を押す
- 2      を押す
 と表示されます。
 確認音のあと「ツー」音が鳴ります。
- 3 受話器を戻す、または  を押す

お知らせ

通話中に  または  を押すと、上記の設定をしていなくても応答履歴が記憶されます。
 個別応答履歴とシステム応答履歴は、両方とも設定することができます。

応答履歴の設定を解除する

- 1 受話器を取る、または  を押す
- 2      を押す
 と表示されます。
 確認音のあと「ツー」音が鳴ります。
- 3 受話器を戻す、または  を押す






ご注意

個別応答履歴とシステム応答履歴の両方が解除されます。どちらかの応答履歴を残したい場合は、再度設定を行ってください。






かかってきた電話をつながらないように設定する(不在設定)

設定しておく、席を離れたときや電話に出られないときに、外線または内線（玄関子機呼出、一斉呼出を含む）からかかってきても着信音が鳴りません。

不在設定する

- 1 受話器を取る、または  を押す
- 2  を押す
- 3   を押す
確認音のあと「ツツツ」音が鳴ります。
- 4 受話器を戻す、または  を押す
不在ランプが点灯します。


不在設定を解除するには

- 1 受話器を取る、または  を押す
- 2  を押す
- 3   を押す
確認音のあと「ツ」音が鳴ります。
- 4 受話器を戻す、または  を押す
不在ランプが消灯します。

ご注意

不在設定（不在ランプが点灯）をすると、席にいても着信しなくなります。解除忘れにご注意ください。
不在設定は、不在転送、不応答転送、フォローミー、外線転送（⇒53 ページ）と同時に設定できません。
他の内線電話機から不在設定割り込みをしてくると、不在設定をしても電話機が鳴ります。
アラーム設定時刻になったときや保留再呼出の場合は、不在設定をしても電話機が鳴ります。
同じACDの着信グループ（⇒117 ページ）のすべての内線に不在設定、不在転送、不応答転送、フォローミーを設定しないようにしてください。


操作のヒント

不在設定を設定中は、電話をかけた人には不在設定音が聞こえます。
不在設定をしても、電話がかかってきたときに受たい  を押すと、電話に出ることができます。
外線から不在設定をしている電話機に電話をかけた場合、以下のようになります。
外線着信モードが個別着信のとき：局からの呼出音が聞こえる
DID で内線に着信したとき：不在設定音が聞こえる

不在設定割り込みをする



内線に電話をかけた場合には、相手が不在設定をしても、相手の電話機に着信音を鳴らすことができます。

- 1 不在設定音が聞こえている間に  を押す

相手の電話機が鳴ります。


お知らせ

相手が不在設定をしてお話し中の場合は、 を押したあとに、話中音が鳴ります。

かかってきた電話を他の電話機に転送する(不在転送)

席を離れるときにあらかじめ設定しておく、外線または内線（玄関子機は除く）からかかってきた場合、別の内線電話機に転送することができます。




不在転送には、4つの種類があります。いずれか1つを設定することができます。

- 不在転送 : かかってきた全ての電話を別の内線電話機に転送します。
- 不応答転送 : 電話がかかってきたときに話し中、または一定の時間内（お買い上げ時の設定は15秒 ）に電話に出られなかった場合に、別の内線電話機に転送します。
- フォローミー : 転送先の電話機から転送元へ不在転送の設定をします。席を離れるときに、あらかじめ不在転送を設定していない場合などに便利です。
- 外線転送（自動転送） : 個別の電話機にかかってきたすべての電話を外線に転送します。（➡43ページ）





不在転送を設定する

- 1 席を離れる前に受話器を取る、または  を押す
- 2  を押す
- 3  を押す
- 4 転送先の内線番号を押す
- 5  を押す
確認音のあと「ツツツ」音が鳴ります。
- 6 受話器を戻す、または  を押す
不在ランプが点滅します。


不応答転送を設定する

- 1 席を離れる前に受話器を取る、または  を押す
- 2  を押す
- 3  を押す
- 4 転送先の内線番号を押す
- 5  を押す
確認音のあと「ツツツ」音が鳴ります。
- 6 受話器を戻す、または  を押す
不在ランプが点滅します。

フォローミーを設定する

- 1 転送先の内線で受話器を取る、または  を押す
この操作を行う電話機が転送先となります。
- 2  を押す
- 3  を押す
- 4 転送元の内線番号を押す
- 5  を押す
確認音のあと「ツ」音が鳴ります。
- 6 受話器を戻す、または  を押す
転送元の不在ランプが点滅します。

お知らせ

個別着信以外の外線からの電話を不在転送（または不応答転送、フォローミー）できないように設定することができます。 



その他の便利な機能

不在転送 / 不応答転送を解除する

- 1 受話器を取る、または スピーカーホン を押す
- 2 不在/不在転送 を押す
- 3 **0** **口** を押す
確認音のあと「ツー」音が鳴ります。
- 4 受話器を戻す、または スピーカーホン を押す
不在ランプが消灯します。

フォローミーを解除する

- 1 転送先または転送元の内線で受話器を取る、または スピーカーホン を押す
- 2 不在/不在転送 を押す
- 3 **8** を押す
- 4 転送元の内線番号を押す
- 5 **口** を押す
確認音のあと「ツー」音が鳴ります。
- 6 受話器を戻す、または スピーカーホン を押す
不在ランプが消灯します。

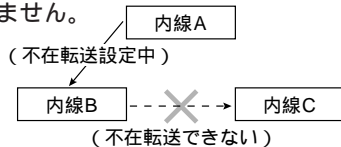
ご注意

不在転送、フォローミー、外線転送を設定（不在ランプが点滅）すると、席にいても着信しなくなります。解除忘れにご注意ください。

1 台の電話機が、同時に転送元と転送先になることはできません。（不在転送、不応答転送、フォローミー、外線転送）

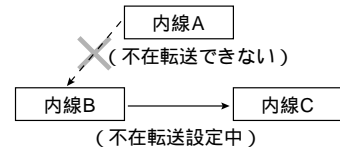
（例 1）

内線 A から内線 B に不在転送の設定がされている場合、内線 B から内線 C に不在転送をしようとしても、警告音が鳴り設定できません。



（例 2）

内線 B がすでに内線 C に不在転送を設定している場合、内線 A から内線 B に不在転送することはできません。



不在転送、不応答転送、フォローミー、外線転送は、不在設定（⇒52 ページ）と同時に設定できません。いちばん新しい設定が有効になります。

同じ ACD の着信グループ（⇒117 ページ）のすべての内線に不在設定、不在転送、不応答転送、フォローミーを設定しないようにしてください。

ACD の着信グループ（⇒117 ページ）の場合、着信できる内線が他にもある場合は不在転送、不応答転送、フォローミーされません。

内線コールバック / 外線コールバック、および保留再呼出は転送されません。

操作のヒント

夜間に不在転送するときなどに、不在転送先に留守番電話機を指定しておくと、電話がかかってきたときにメッセージを録音することができます。

不在転送が新しく設定されると、「ピー」と確認音が鳴ります。すでに同じ設定がされている場合は、「ピッピッ」と確認音が鳴ります。

不在転送が設定されていても、転送先から転送元へは、内線電話をかけることができます。

フォローミー設定は、転送元と転送先の両方から設定を解除できます。


待ち受け中に 不在/不在転送 を押すと、電話機の液晶表示部に設定の内容が表示されます。



（例） **フ ァ イ テ ソ ウ : 101**

電話機をロックする（ステーションロック）


お使いの電話機から、他の人が外線電話をかけられないように、また電話機ごとの着信履歴（個別着信履歴）を見ることができないように設定します。


ステーションロックを設定する

- 1 受話器を取る、または  を押す


- 2   を押す



- 3 任意の4ケタのロックコードを
続けて2回押す
 - このロックコードは解除するときに必要ですので、忘れないようにしてください。

- 4  を押す
 - 確認音のあと「ツツツ」音が鳴ります。


- 5 受話器を戻す、または  を押す


ステーションロックを解除する

- 1 受話器を取る、または  を押す




- 2   を押す

- 3 設定するときに入力したロックコードを
押す


- 4  を押す
 - 確認音のあと「ツ」音が鳴ります。

- 5 受話器を戻す、または  を押す

ご注意

- 任意のロックコードは4ケタの数字で入力して下さい。 と  は使用できません。
- 指定電話機がステーションロックを設定すると、システム着信履歴を見ることができなくなります。 

操作のヒント

- ステーションロックが設定された電話機から外線電話をかけようとする、警告音が鳴り、液晶表示部に「ハッパ ヌイ サレマス」と表示されます。取付け時の発信規制の設定によっては、決められた発信規制クラスで外線へ電話をかけることもできます。
- 指定電話機から、システム内のすべての電話機のロックを解除することができます。（「全ステーションロックを解除する」➡109ページ）
ステーションロックを設定してロックコードを忘れた場合など、上記の方法で解除できない場合は、全ステーションロック解除でロックを解除してください。
- 内線通話や外線からの電話を受けるなど、外線へ電話をかける以外の通話はできます。
- ステーションロックが設定されていても、特定の相手（緊急時の連絡先など）には電話をかけられるようにすることができます。お買い上げ時には、110番、119番が登録されています。（「特定ダイヤル発信」➡68ページ）

相手のメッセージボタンを点灯させる（メッセージウェイト）


内線電話をかけた相手が話し中だったり、電話に出なかった場合、相手が多機能電話機をお使いであれば、折り返し電話をかけてきてくれるように、相手に通知することができます。

相手の電話機のメッセージランプを点灯させ、着信があったことを通知します。相手は簡単な操作で、かけた側へ折り返し電話をかけることができます。

相手に通知する

- 1 (内線にかけたら相手が話し中、または応答がないとき)

メッセージ

 を押す

確認音のあと「ツー」音が鳴ります。

- 2 受話器を戻す

通知を解除する

- 1 受話器を取る、または  を押す

- 2 メッセージを通知した相手の内線番号を押す


- 3  を続けて2回押す

確認音のあと「ツー」音が鳴ります。

- 4 受話器を戻す、または  を押す

通知を確認してかけ直す

通知があるときは、メッセージランプ（⇒13ページ）が点灯しています。

- 1 待ち受け中に  を押す

繰り返し押しすと、液晶表示部に着信順で通知が表示されます。

- 2 受話器を取る

「ツツツ」音が鳴ります。


- 3  を押す

選んだ相手にかけ直します。

- 4 相手と話す

相手が応答すると、通知が解除されます。

すべての通知を消去する

- 1 受話器を取る、または  を押す







- 2     を押す







すべての通知が消去されます。

- 3 受話器を戻す、または  を押す

操作のヒント

メッセージボタンを使わずに通知 / 解除することもできます。

通知するとき : 受話器を取るまたは  ⇒    ⇒ 内線番号 ⇒  ⇒ 受話器を戻すまたは 

通知を解除するとき : 受話器を取るまたは  ⇒    ⇒ 内線番号 ⇒  ⇒ 受話器を戻すまたは 

1 台の電話機では、8 件まで通知を受けることができます。9 件目の通知には発信者（かけた側）に警告音が鳴り、通知できません。

通知をしてきた相手にかけ直してもメッセージランプが点灯している場合は、他にも通知があります。

複数の通知を受けている場合、受けた順にかけ直します。

通知を選んでかけ直した場合は、その次の順番から表示を繰り返します。

（例）5 ⇒ 6 ⇒ 7 ⇒ 8 ⇒ 1 ⇒ 2 ⇒ 3 ⇒ 4

単独電話機では通知を受けることはできませんが、相手に通知をすることはできます。（⇒78 ページ）

回線が空いたことを自動的に知らせる（内線コールバック / 外線コールバック）

使いたい回線が空いたとき、呼出音が鳴って知らせるように設定できます。

呼び出しを受けたときは、

内線の場合：相手の電話番号を自動的にダイヤルします。

外線の場合：使いたい外線が選択されます。

コールバックを設定する

内線コールバックを設定する

- 1 内線に電話をかけたなら話中音が鳴っているとき

6 を押す

確認音のあと警告音が鳴ります。

- 2 受話器を戻す

内線コールバックが設定されました。

外線コールバックを設定する

- 1 使いたい外線が空いていないとき使用中（赤点灯）の外線ボタンを押し、話中音が鳴っているときに

6 を押す

確認音のあと警告音が鳴ります。

- 2 受話器を戻す

外線コールバックが設定されました。

コールバックを解除する

- 1 受話器を取って、戻す

コールバックを受ける

内線コールバックを受ける

- 1 呼出音が鳴ったら受話器を取る

かけたい内線に自動的にダイヤルされます。

外線コールバックを受ける

- 1 呼出音が鳴ったら受話器を取る

使いたい外線が捕捉され、「ツー」音が鳴ります。

- 2 電話番号を押す


操作のヒント



呼出音が鳴って 10 秒以内に受話器を取らないと、この機能は無効となります。

アラームを設定する

アラームを設定する

指定した時刻にアラームを鳴らすことができます。アラームは、1回だけ鳴らすか、毎日鳴らすかを設定することができます。

1 受話器を取る、または  を押す

2   を押す

3 時刻（4ケタ）を入力する

12時間制で4ケタの数字を入力します。

（例：午後1時30分の場合

    ）

4 午前・午後を入力する

1ケタの数字を入力します。


 : AM（午前）

 : PM（午後）

5 アラームの回数を入力する


1ケタの数字を入力します。

 : 1回のみ鳴ります

 : 設定を解除するまで、毎日鳴ります

6  を押す

確認音のあと「ツツツ」音が鳴ります。

7 受話器を戻す、または  を押す

操作のヒント

アラーム時刻を変更する場合は、手順1からやり直してください。

本システムの時刻が合っているか、確認してください。

お知らせ

手順6のあと、設定した時刻が表示されます。毎日鳴らす設定をした場合は、時刻の後ろに「＊」が表示されます。

指定した時刻になると

1 アラームが鳴る

2 受話器を取る、または  を押す

アラームが止まり、アラーム確認音（「ツツツツ…」）が聞こえます。

操作のヒント

アラームを止めなければ、約30秒後に自動的に止まります。


お知らせ





アラームが鳴っているときに電話がかかってくると、アラームが止まってから着信音が鳴り始めます。

通話中に指定した時刻になると、通話が終わってからアラームが鳴り始めます。


着信音を「切」にしていると、アラームは鳴りません。

アラームを解除する


1 受話器を取る、または  を押す


2     を押す

確認音のあと「ツ」音が鳴ります。


3 受話器を戻す、または  を押す

アラームの時刻を確認する

1 受話器を取る、または  を押す

2     を押す

液晶表示部に設定した時刻が表示されます。

3 受話器を戻す、または  を押す

通話に割り込む



内線通話に割り込む

内線通話割込を設定した電話機から、通話中の内線に割り込んで話すことができます。

1 (内線をかけて相手がお話し中のとき)

3 を押す

確認音が鳴り、通話に割り込めます。(会議通話(3者)⇒63ページ)

通話に割り込んだ相手の内線が外線とお話し中だった場合、外線ランプが赤色点灯から緑色点灯に変わります。



割り込みをやめるとき

1 通話に割り込んだあと、受話器を戻す

他の2人の通話は切れません。

どちらか一方と通話するには

1 通話に割り込んだあと、通話を続けたい

相手の  または  を押す

(緑色点灯)

(緑色点灯)

選んだ相手との通話が残ります。もう一方の方との通話は切れます。

3人とも内線の場合、この機能は使えません。

ご注意

割り込みたい通話の相手のいずれかがデータ通信秘話(⇒80ページ)や通話割り込み拒否(⇒60ページ)を設定している場合、通話に割り込むことはできません。

お知らせ

通話に割り込んだとき、自分と相手の電話機に確認音が鳴ります。確認音は、鳴らないようにすることもできます。

通話をやめる操作は、割り込んだ内線、割り込まれた内線のどちらからでもできます。

システムで同時に通話割込を利用できる数は以下になります。


- ・内線 - 内線 - 内線：3組まで
- ・内線 - 内線 - 外線：4組まで

その他の便利な機能

外線通話に割り込む

外線通話割込を設定した電話機から、通話中の外線に割り込んで通話することができます。

1 (割り込む人が) 受話器を取る



2 割り込みたい  を押す
(赤色点灯)

確認音が鳴り、通話に割り込めます。(会議通話(3者)⇒63ページ)
外線ランプが赤色点灯から緑色点灯に変わります。

割り込みをやめるとき

1 通話に割り込んだあと、受話器を戻す
他の2人の通話は切れません。


どちらか一方と通話するには

1 通話に割り込んだあと、通話を続けたい
相手の  または  を押す
(緑色点灯) (緑色点灯)
選んだ相手との通話が残ります。もう一方の方との通話は切れます。

ご注意

外線通話に割り込める電話機は1台のみです。
割り込んだときに、割り込まれた人には割り込んだ電話機の内線番号が表示されます。
割り込みたい通話の相手のいずれかにデータ通信秘話(⇒80ページ)や通話割り込み拒否(⇒下記)が設定されている場合、通話に割り込むことはできません。


お知らせ






通話に割り込んだとき、自分と相手の電話機に確認音が鳴ります。確認音は、鳴らないようにすることもできます。
 取付け時設定


通話を割り込ませないようにする(通話割り込み拒否)

他の内線電話機から、通話に割り込ませないように設定できます。


割り込み拒否を設定する






1 受話器を取る、または  を押す

2      を押す
確認音が鳴ります。

3 受話器を戻す、または  を押す

設定を解除する

1 受話器を取る、または  を押す

2      を押す
確認音が鳴ります。

3 受話器を戻す、または  を押す

話中時着信をする

通話中に他の電話がかかってきたことを話中時着信音で知らせるように設定することができます。前の通話を終わらせるか、または保留したままで、次の電話を受けることができます。

あ、他の電話だ！



外線の話中時着信を設定する

外線からの電話を話中時着信できるようにします。

1 受話器を取る、または スピーカーホン を押す

2 **7** **3** **1** **1** **口** を押す
確認音のあと「ツー」音が鳴ります。

3 受話器を戻す、または スピーカーホン を押す

操作のヒント

設定を解除するには、手順2で
7 **3** **1** **0** **口** を押します。

内線や玄関子機の話中時着信を設定する

他の内線や玄関子機からの電話を話中時着信できるようにします。

1 受話器を取る、または スピーカーホン を押す

2 **7** **3** **2** **1** **口** を押す
確認音のあと「ツー」音が鳴ります。

3 受話器を戻す、または スピーカーホン を押す

操作のヒント

設定を解除するには、手順2で
7 **3** **2** **0** **口** を押します。

お知らせ



お買い上げ時の設定は、話中時着信「シナイ」になっています。話中時着信をしたいときは、必ず設定を行ってください。

データ通信秘話（⇒80ページ）が設定されている場合、コンピューターとの接続やファクス受信中などには、話中時着信はできません。

話中時着信音は、話中時着信音1と話中時着信音2の2種類から選べます。（⇒88ページ）


話中時着信を受ける



前の通話を切って新しい電話を受けるには

- 1 (話中時着信音が鳴っているときに)
点滅している  または  を押す
最初の通話が切れます。

- 2 新しい相手と話す



前の通話を保留して新しい電話を受けるには

- 1 (話中時着信音が鳴っているときに)
 を押す
最初の通話が保留されます。

- 2 点滅している  または  を押す
前の通話と新しい通話が両方とも内線の場合は、この操作は不要です。


- 3 新しい相手と話す

操作のヒント

NTTのキャッチホンサービスをご利用の場合、話中時着信音が鳴っても、 は点滅しません。この場合は、 を押して新しい電話を受けてください。

通話中の相手に話中時着信音を鳴らす

内線電話をかけた相手がお話し中の場合に、相手の電話機に話中時着信音を鳴らします。

- 1 内線の相手がお話し中のとき
 を押す

相手に話中時着信音が鳴ります。

- 2 相手が出たら話す

ご注意

この機能は、相手が内線の話中時着信を設定している(⇒61ページ)ときにのみ使うことができます。
相手が内線の話中時着信を設定していない場合、上記手順1のあと警告音が鳴り、操作は受け付けられません。

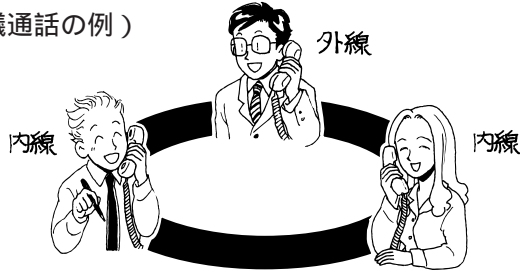
3人で会議通話をする

外線または内線との通話中に、第三者（外線または内線）を加えて3人で通話することができます。会議通話（3者）のできる外線と内線の数を設定することができます。

システムで同時に利用できる会議通話は以下ようになります。

- ・ 内線 - 内線 - 内線：3組まで
- ・ 内線 - 内線 - 外線：4組まで
- ・ 内線 - 外線 - 外線：3組まで

（会議通話の例）





1 通話中に を押す

通話が保留になり、会議ランプが点滅します。

2 加える人（第三者）の電話番号を押す

第三者が外線の場合は、はじめに外線発信番号を押して、外線を捕捉します。

相手が出ないときは、元の通話の  や  を押すと戻ります。

3 加える人（第三者）が電話に出たら、 を押す

会議ランプが点灯して確認音が鳴り、会議状態（3人で通話できる状態）になります。

会議通話をしている相手の外線ランプや内線ランプが緑色に点灯します。

会議通話（3者）から抜けるには

1 受話器を戻す

他の2人の通話は切れません。
ただし、2人とも外線の場合は通話が切れます。

どちらか一方と通話するには

1 通話を続けたい相手の または を押す

（緑色点灯） （緑色点灯）

選んだ相手との通話が残ります。もう一方の方との通話は切れます。

3人とも内線の場合、この機能は使えません。


ご注意


内線どうしでの会議通話（3者）の場合は通話を保留できません。

1人が会議通話（3者）をやめた場合、残された通話が2人とも外線の場合は、全ての通話が切れます。通話が切れないようにするには、「外線 - 外線通話確認モードにする」(⇒64 ページ)を参照してください。

操作のヒント

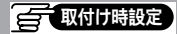
通話中の相手に通話割り込み (⇒59 ページ) をした場合も会議通話（3者）となります。

会議通話（3者）をするとき、会議通話中の全員に確認音が鳴ります。確認音を鳴らないようにすることもできます。

会議通話（3者）で使われていない  を押しても、会議通話（3者）をやめることができます。

会議通話（5者）で話したいときは、「5人で会議通話をする」(⇒65 ページ)を参照してください。

外線 - 外線通話確認モードにする




会議通話（3者）の相手が2人とも外線だった場合、外線 - 外線通話確認モードにすると、内線が一時的に会議通話（3者）を抜けて、残された外線どうしで通話することができます。

1 会議通話（3者）の相手が2人とも外線の時




外線どうしの2人で通話ができます。

会議通話（3者）に戻るには

1 戻りたい相手の  を押す
(緑色点滅)

ご注意

会議通話（5者）ではこの機能は使えません。

外線 - 外線通話確認モードで、外線どうしが通話している場合、通話制限時間（お買い上げ時の設定は30分 ）の15秒前に、警告音「ツツツ」が聞こえます。外線 - 外線通話確認モードに設定した内線には、制限時間の50秒前から保留再呼出音が鳴り始めます。

制限時間内に内線が会議通話（3者）に戻らなかった場合は、すべての通話が切れます。

保留再呼出音が鳴り始めてから制限時間までの50秒間、内線が待ち受け中であれば、液晶表示部に通話中の外線の番号（例：「CO 2 & CO 3」）が表示されます。

5人で会議通話をする

内線と外線（外線は2人まで）を合わせて、3～5人で通話することができます。

会議通話（5者）を設定する

1 受話器を取る

2 を押す

●会議ランプが点滅します。

3 最初の相手の電話番号を押す

4 最初の相手と話す

5 を押す

●通話は自動的にパーク保留（⇒39ページ）されます。

6 次の相手の電話番号を押す

7 次の相手と話す

8 を押す

●通話は自動的にパーク保留（⇒39ページ）されます。

9 手順6～8を繰り返す

●会議通話は、自分を含めて5人（5人中外線は2人）までです。

10 を押す

●会議ランプが点灯し、会議状態（5人で通話できる状態）になります。

お知らせ

- 手順3で相手の電話番号を押して話中音が聞こえたり、押し間違えたときは、 を押して再度手順3からやり直すことができます。
- 手順6で相手の電話番号を押して話中音が聞こえたり、押し間違えたときは、 を押すと手順9に戻ります。（ を押したあとに を押すと、会議通話になります）
- 手順9で話中音が聞こえたときは、すでに自分を含めて内線が5人となっています。

会議通話を3者から5者にする

会議通話（外線通話を含めた3者）を会議通話（5者）にします。

1 会議通話（3者）中に を押す

●相手の通話が2人とも保留されます。

2 を押す

●手順1で保留された通話は自動的にパーク保留（⇒39ページ）されます。

3 4番目の相手の電話番号を押す

4 4番目の相手と話す

5 を押す

●4番目の通話は自動的にパーク保留（⇒39ページ）されます。

6 5番目の相手の電話番号を押す

7 5番目の相手と話す

8 を押す

●5番目の通話は自動的にパーク保留（⇒39ページ）されます。

9 を押す

●会議ランプが点灯し、会議状態（5人で通話できる状態）になります。

ご注意

会議通話（5者）には、外線通話を3人以上含めることができません。

会議通話（3者）の相手が3人とも内線の場合、会議通話を5者にすることができません。（電話機の保留ボタンでは、一度に2人の内線通話を保留できません）

本システムでは、会議通話（5者）は一度に1組しかできません。

本システムでは、会議通話（5者）中は、パーク保留機能（⇒39ページ）が使いません。

会議通話（5者）中は、通話を保留することはできません。

会議通話（5者）中は、通話を転送できません。

会議通話（5者）中の電話には、通話割り込み（⇒59ページ）はできません。

会議通話（5者）では、外線 - 外線通話確認モードは設定できません。

会議通話（5者）の設定をした内線が会議通話をやめると、すべての通話が切れます。

会議通話（5者）中に話中時着信をした場合、電話を切って会議通話をやめたあと次の通話ができます。

お知らせ

会議通話（5者）の設定が終わり、5人での会議状態になったとき、会議通話中の全員の電話機に確認音が鳴りません。確認音を鳴らないようにすることもできます。 **取付け時設定**

5人から4人での会議通話になった場合も、会議通話中の全員の電話機に確認音が鳴ります。確認音を鳴らないようにすることもできます。

パーク保留が5分以内に終わらない場合は、着信音や警告表示となります。（パーク保留再呼出）


内線ルーム音声モニターを使う





離れたところにある内線から電話をかけ、室内の音を聞いて室内の様子をチェックしたり、スピーカーで呼びかけることができます。内線ルーム音声モニターできる内線電話機は、多機能電話機や音声を送らない操作ができる単独電話機です。


内線をモニターするための設定

モニターされる側は、あらかじめ以下の設定が必要です。


1 受話器を取る、または  を押す


2  を押す
確認音が鳴ります。

3 受話器を戻す、または  を押す

4  を押す
自動応答/ミュートランプが点滅します。


モニターする


1  を押す

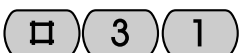
2  を押す
自動応答/ミュートランプ

3 モニターされる側の内線番号を押す
内線ルーム音声モニターが始まります。

玄関子機をモニターする


1  を押す

2  を押す
自動応答/ミュートランプ

3  を押す

4 玄関子機番号を押す
玄関子機モニターが始まります。



モニター中に相手にスピーカーで呼びかける

1  を押す
自動応答/ミュート/文字
受話器を取って呼びかけることもできます。


2 相手と話す

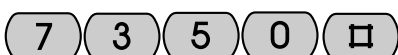
待ち受け中に一時的にモニターをやめる


モニターされる側

1  を押す
自動応答/ミュート/文字
自動応答/ミュートランプが消灯し、相手からモニターできなくなります。
再び  を押すと、モニターが再開されます。

モニターを解除する

1 受話器を取る、または  を押す


2  を押す
確認音が鳴ります。

3 受話器を戻す、または  を押す

ご注意

一括初期化操作が行われると、設定は解除されます。(▶98 ページ)

お知らせ

玄関子機接続時の確認音が鳴らないように設定することができます。 取付け時設定
モニターを始めるときやスピーカーで呼びかけるときの接続音は、モニターされる側には聞こえません。

特定ダイヤル発信



特定ダイヤルを登録しておく、電話機に発信規制(▶116ページ)やステーションロック(▶55ページ)が設定されていても、登録された特定ダイヤルだけは電話をかけることができます。特定ダイヤルは、5件まで登録できます。

プッシュ信号を送る

外線送出ダイヤル種別がパルスモードで通話中にプッシュ信号を送ることができます。航空券の予約や銀行の残高照会などにご利用になれます。

1 外線のサービス先に電話をかける

2 電話がつながったら、を押す

プッシュ信号が送れるようになります。

以降の操作は、サービス先のアナウンスに従ってください。

キャッチホンサービスを利用する

外線と通話中に、他の外線から電話がかかってきたことをお知らせするキャッチホンサービスが利用できます。現在お話し中の通話を保留にしたまま、新たにかけてきた相手とお話することができます。

1 を押す

通話中の相手は保留され、新たにかけてきた相手と通話できます。

2 を押す

再び元の相手と通話できます。

ご注意

キャッチホンサービスを利用するときは、NTTとの契約が必要です。

キャッチホンサービスをご利用のときは、通話時間は表示されません。

通話中に誤ってフックスイッチ(受話器の下にあるスイッチ)を押すと、通話が切れます。

BGM(バックグラウンド・ミュージック)を聞く


本システムに市販の外部音源を接続()して、電話機のスピーカーからBGMとして流すことができます。電話がかかってきたときや一斉呼出をされたとき、また受話器を取った場合には、BGMは中断されます。お買い上げ時のBGMは、内部保留音となっています。

BGMを聞く/解除する

1 待ち受け中に を押す

フッキング

受話器を戻さずに、前の通話を切って、新しい通話を始めます。


- 1 確認音などが鳴っているときやダイヤル中、内線通話中に  を押す
「ツー」音が聞こえます。
- 2 電話番号を押す

ご注意

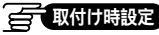

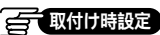
外線通話中に話中時着信音が鳴った場合、 を押すと、キャッチホンを受ける操作となります。

フッキング信号を送る

構内交換機にフッキング信号を送ることができます。

- 1 外線通話中に  を押す
「ツー」音が聞こえます。





ご注意

フッキング送出時間は、構内交換機や外線の接続に必要な時間を設定してください。
構内交換機にフッキング信号を送った場合、その後の操作は構内交換機の操作方法に従ってください。
 で受話器を戻さずに前の通話を切って新しく通話を始めるように設定することができます。

クイックダイヤル



任意の機能番号（10ケタまで）をコード番号（50～59）に登録している場合は、簡単な操作で電話をかけることができます。

- 1 受話器を取る
- 2 クイックダイヤルのコード番号（ ~ ）を押す

- （例）
- ・コード50：0177（天気予報）
 - ・コード51：#33*（一斉呼出と構内放送）
 - ・コード52：#43（一斉音声呼出に答える）
 - ・コード53：#40（グループ代理応答） など

DID (ダイレクトインダイヤル)

☎ 取付け時設定

本システムでは、外線からかかってきた電話に应答メッセージで案内を流し、特定の内線などを呼び出すことができます。特定の内線呼び出すには、内線番号を指定する方法と、AA番号を指定する方法があります。また、外線から本システムを経由して外線に電話をかけることもできます。

DID应答メッセージを流すには、オプションの「外部送出メッセージユニット」が必要です。

应答メッセージの録音は、指定電話機またはオペレータ内線で行います。(⇒111ページ)

DID (ダイレクトインダイヤル) には3種類のセキュリティモードがあり、モードによっては、セキュリティコードの入力が必要です。☎ 取付け時設定

セキュリティコードは、指定電話機から変更することができます。(⇒114ページ)

セキュリティ：なし …… セキュリティコードを入力する必要はありません。

セキュリティ：外線 …… 本システムを経由して外線に電話をかける場合、セキュリティコードを入力しなければなりません。(お買い上げ時の設定)

セキュリティ：オール …… 必ずセキュリティコードを入力しなければなりません。

外線から特定の内線に電話をかける

セキュリティ：なし または 外線 の場合

1 DIDの電話番号に電話をかける

- 呼出音が鳴ります。

2 応答メッセージありのとき
DID应答メッセージが流れる

応答メッセージなしのとき

「ツツ」と鳴る

3 内線番号 (またはAA番号) を押す

- 指定した内線を呼び出します。

お知らせ

- AA番号 (DID オートアテンダント番号) は、内線や内線グループに、0~9までの1ケタの番号を割り当てて設定することができます。☎ 取付け時設定
- AA番号を使う設定 (☎ 取付け時設定) をしている場合、内線番号を押すときは、1ケタ目を押してから一定時間内 (お買い上げ時の設定は2秒) に2ケタ目を押さなければ、1ケタ目がAA番号とみなされず。☎ 取付け時設定

セキュリティ：オール の場合

1 DIDの電話番号に電話をかける

- 呼出音が鳴ります。

2 応答メッセージありのとき
DID应答メッセージが流れる

応答メッセージなしのとき

「ツツ」と鳴る

3 * を押す

4 セキュリティコード (⇒114~115ページ) を押す

- 「ツツ」と鳴ります。
- セキュリティコードを押さずに10秒経過すると、警告音が聞こえ通話が切断されます。

5 内線番号 (またはAA番号) を押す

- 指定した内線を呼び出します。

操作のヒント

- 内線番号が確定せずに10秒経過したときや内線番号を押し間違えた場合は、全内線を呼び出します。(お買い上げ時の設定) ☎ 取付け時設定 全内線を呼び出しているときは、「ツーツ」音が聞こえます。
- 指定した内線がお話し中の場合は、話中音が聞こえたあと、通話が切断されます。(お買い上げ時の設定) 通話を切断しないで待つことや、再度ダイヤルして別の内線を呼び出すこともできます。☎ 取付け時設定
- 指定した内線が一定時間应答しない場合 (お買い上げ時の設定は20秒) ☎ 取付け時設定 は、全内線を呼び出します。(お買い上げ時の設定) ☎ 取付け時設定 他内線を呼び出さずに通話を切断することもできます。☎ 取付け時設定
- 内線番号などは、以下の時間内に入力してください。
(応答メッセージありのとき) ・ 応答メッセージが流れている間
・ 応答メッセージが終了後、5秒以内 (お買い上げ時の設定) ☎ 取付け時設定
(応答メッセージなしのとき) ・ 「ツツ」音のあと、3秒以内 (お買い上げ時の設定) ☎ 取付け時設定
- セキュリティコードを間違えて入力すると、警告音「ツツツ」が鳴ります。正しいコードを入力し直してください。(*) を押し直す必要はありません) 続けて3回間違えた場合は、電話が切れます。
- DIDのセキュリティコードは4つまで設定することができます。(⇒115ページ)

外線から本システムを経由して外線に電話をかける



セキュリティ：なしの場合

- 1 DIDの電話番号に電話をかける
 - 呼出音が鳴ります。
- 2 応答メッセージありのとき
DID応答メッセージが流れる
応答メッセージなしのとき
「ツツ」と鳴る
- 3 外線発信番号(0)、81～86
など)を押す
 - 「ツー」音が鳴ります。
 - 空き外線がない場合は、話中音が聞こえ、通話が切断されます。
- 4 外線の電話番号を押す
 - 「ツー」音のあと、10秒以内にダイヤルを開始してください。(10秒を過ぎると、ダイヤルが受け付けられなくなります)

セキュリティ：外線 または オール の場合

- 1 DIDの電話番号に電話をかける
 - 呼出音が鳴ります。
- 2 応答メッセージありのとき
DID応答メッセージが流れる
応答メッセージなしのとき
「ツツ」と鳴る
- 3 * を押す
- 4 セキュリティコード(⇒114～115ページ)
を押す
 - 「ツツ」と鳴ります。
 - セキュリティコードを押さずに10秒経過すると、警告音が聞こえ通話が切断されます。
- 5 外線発信番号(0)、81～86
など)を押す
 - 「ツー」音が鳴ります。
 - 空き外線がない場合は、話中音が聞こえ、通話が切断されます。
- 6 外線の電話番号を押す
 - 「ツー」音のあと、10秒以内にダイヤルを開始してください。(10秒を過ぎると、ダイヤルが受け付けられなくなります)

操作のヒント

- 外線発信番号は、以下の時間内に入力してください。
(応答メッセージありのとき) ・ 応答メッセージが流れている間
・ 応答メッセージが終了後、5秒以内 (お買い上げ時の設定)  取付け時設定
(応答メッセージなしのとき) ・ 「ツツ」音のあと、3秒以内 (お買い上げ時の設定)  取付け時設定
- 電話番号を押しているとき、次のケタを押さずに5秒経過すると、ダイヤルされたところまでが電話番号とみなされます。
- セキュリティコードを間違えて入力すると、警告音「ツツツ」が鳴ります。正しいコードを入力し直してください。(* を押し直す必要はありません) 続けて3回間違えた場合は、電話が切れます。
- DIDのセキュリティコードは4つまで設定することができます。(⇒115ページ)
- 本システムを経由して外線に電話をかけてから、一定時間 (お買い上げ時の設定は30分) が経過すると、お話し中の両方に長時間通話防止のための警告音「ツツツ」が聞こえ、約15秒後に自動的に電話が切れます。

 取付け時設定

本システムはACR機能に対応しています。
電話をかける際に、かけた電話番号に対応してサービス回線と一般回線を自動的に選択して発信します。

外線へかける

通常の外線へのかけ方で電話をかける。







お知らせ

相手の電話番号（最大7ケタ、最大4ルートで320パターン）から判断して、発信する回線を選択します。

受話器を持たずに通話をする

外線 / 内線の通話時に受話器を持たずに通話することができます。


外線へかける

- 1  を押す
- 2 外線 (または外線発信番号 , ,  ~ ,  など) を押す
- 3 電話番号を押す


短縮ダイヤルや各種履歴から電話をかけることもできます。

相手の方が電話に出たら、マイクに向かってお話しください。


外線を受けるには

- 1 着信音が鳴る
- 2  を押す

内線へかける

- 1  を押す
- 2 内線番号を押す
相手の方が電話に出たら、マイクに向かってお話しください。

内線を受けるには

- 1 着信音が鳴る
- 2  を押す

ご注意



スピーカーホン通話のときは、通話を交互に行ってください。両方が同時に通話をしたり、相手の方が話し終わらないうちにこちらが話しかけますと、声が途切れる場合があります。


以下のような設置場所でのご使用は避けてください。相手の通話が切り替わらない場合があります。

- ・周囲の騒音が大きいところ (60dB 以上)
- ・テレビやラジオなどの近く
- ・音声的反響しやすいところ

操作のヒント


通話音量は  または  を押して調節してください。

- ・通話中、相手の声が聞き取りにくいときは、 を押して音量を調節します。
- ・通話中、相手に自分の声が聞き取りにくいと言われたときは、 を押して音量を調節します。

内線を受けるときに内線自動応答 (→33 ページ) を設定していると、 を押さなくても通話することができます。

電話をかけるとき、 を押してから何もせずに 10 秒が過ぎると、スピーカーホン通話状態が解除されます。

受話器での通話を切り替える

- 1 通話中に  を押す
- 2 受話器を戻す
マイクに向かってお話しください。

スピーカーホンでの通話を切り替える

- 1 通話中に 受話器を取る
受話器でお話しください。

自分の声を相手に聞こえないようにする（マイクミュートキー）


スピーカーホン通話中に自分の声を相手に聞こえないようにして、スピーカーから相手の声だけを聞くことができます。

設定する

- 1 スピーカーホン通話中に  を押す


ミュートランプが点滅します。


解除する

- 1 マイクミュート中に  を押す

ミュートランプが消灯します。


ご注意


待ち受け中、または受話器を使用中に  を押すと、内線自動応答が設定されます。（⇒33 ページ）

ヘッドセット通話中に  を押しても、マイクミュートは設定されません。

電話機ごとに設定した以下の機能の内容をすべて解除し、お買い上げ時の設定に戻します。

- アラーム設定 (➡58ページ)
- 一斉音声呼出拒否 (➡26ページ)
- 代理応答操作規制 (➡34ページ)
- 通話割り込み拒否 (➡60ページ)
- データ通信秘話 (単独電話機のみ) (➡80ページ)
- 内線ルーム音声モニター (➡67ページ)
- 内線コールバック/外線コールバック (➡57ページ)
- BGM (➡68ページ)
- 不在設定 (➡52ページ)
- 不在転送、不応答転送 (➡53ページ)、外線転送 (➡43ページ)
- ホットライン/発信プリファレンス
(単独電話機のみ: 登録した電話番号や外線発信番号が消去されます) (➡80ページ)
- メッセージウェイト (すべての通知が消去されます) (➡56ページ)
- 話中時着信 (➡61ページ)

1 受話器を取る、または  を押す

2    を押す

• 確認音のあと「ツー」音が鳴ります。

3 受話器を戻す、または  を押す



























単独電話機の操作














デザインテレホン、留守番電話機などを接続することができます。ご利用になる電話機の種類によって操作が異なります。

呼出音は、デザインテレホン、留守番電話機、コードレス電話機等の種類により、外線からかかってきた呼出音と内線・玄関子機からの呼出音の区別ができない場合があります。


単独電話機の設定をプッシュ式の設定にしてお使いください。


単独電話機をダイヤル式の設定にしている場合は、以下の操作で **[□]** や **[*]** をダイヤルすることができません。

機 能	操 作
外線へ電話をかける	 → [0] → 電話番号 → 話す → 
	 → [8] → 外線グループ番号 → 電話番号 → 話す → 
特定ダイヤル発信  取付け時設定	 → [0] または [8][1] ~ [8][6] → 特定ダイヤル番号
内線通話	 → 内線番号 → 話す → 
内線音声呼出 / 信号呼出	 → 内線番号 → [*]
一斉呼出	 → [□][3][3][0] → 話す → 
グループ呼出	 → [□][3][3] → グループ番号 → 話す
構内放送	 → [□][3][4] → 話す
一斉呼出と構内放送	 → [□][3][3][9] または [□][3][3][*] → 話す
一斉音声呼出に答える	 → [□][4][3] → 話す
オペレータ内線を呼び出す	 → [9]
共通短縮ダイヤルでかける	 → [*] → 短縮番号 (00 ~ 99)
個人短縮ダイヤルでかける	 → [□][□] または [1][*] → 短縮番号 (0 ~ 9)
個人短縮ダイヤルを登録する	 → [2][*] → 短縮番号 (0 ~ 9) → 電話番号 → [□] → 
電話を受ける	
代理応答	 → [□][4][1] → 内線番号 → 話す
グループ代理応答	 → [□][4][0] → 話す
留守番電話応答  取付け時設定	 → 留守番電話番号 → [4] → 話す
代理応答操作規制	 → [7][2][1] → [□] または [0] → 
代理応答操作規制解除	 → [7][2][0] → [□] または [0] → 

機能	操作
保留	フッキング ¹ → 
保留解除	
他の内線からの外線の保留解除	 → □59 → 外線番号
他の内線からの内線の保留解除	 → □5 → 内線番号
パーク保留	フッキング ¹ → □22 → パーク番号
パーク保留解除	 → □56 → パーク番号
内線転送 ³	フッキング ¹ → 内線番号 → 話す → 
内線応答前転送	フッキング ¹ → 内線番号 → 
一斉呼出転送 ³	フッキング ¹ (「ホリユウモード2」や「ホリユウモード3」のとき ² : □20) → (一斉呼出) □330 (グループ呼出) □33 → グループ番号 (一斉呼出と構内放送) □339 または □33* (構内放送) □34 → 話す → 
再ダイヤル(ラストナンバーリダイヤル)	 → □□□ または 80
新しい通話に切り替える	(話中時着信音がしている間に) →  →  → 話す
前の通話を保留して新しい通話と話す	フッキング ¹ (「ホリユウモード2」や「ホリユウモード3」のとき ² : □20) →  →  → 話す
内線交互通話	フッキング ¹

1 フッキングとは、受話器の下にあるフックスイッチを約0.5秒押してから離す操作です。フックボタンのある機種はフックボタンを約0.5秒押してから離しても構いません。フッキングの時間は取付け時に変更することができます。

 **取付け時設定**

2 単独電話機で、着信しても呼出音が鳴らない、誰もその外線を使用していないのに話中音が鳴るなど、受話器を戻したあとも通話が終了していない状況が頻繁に生じる場合、保留方法および別の内線への転送方法を「ホリユウモード2」または「ホリユウモード3」に設定します。 **取付け時設定**
 「ホリユウモード2」および「ホリユウモード3」では、フッキングした後、「#20」をダイヤルしない限りどの通話も終了されます。

- ホリユウモード1 : 通話を保留、転送するには、フッキングします。(お買い上げ時の設定)
- ホリユウモード2 : 通話を保留するにはフッキングののち「#20」をダイヤルします。転送するにはフッキングします。
- ホリユウモード3 : 通話を保留、転送するには、フッキングののち「#20」をダイヤルします。

































3 内線転送や一斉呼出転送で相手が応答しないときは、フッキングで元の通話に戻ることができます。



単独電話機の操作

機能	操作
不在設定	→ 714 → □ または 0 →
不在設定解除	→ 710 → □ または 0 →
不在設定割り込み	→ 2
不在転送	→ 711 → 内線番号 → □ または 0 →
不応答転送	→ 712 → 内線番号 → □ または 0 →
外線転送 取付け時設定	→ 713 → 0 または 81 ~ 86 → 電話番号 → □ →
フォローミー	転送先の → 715 → 転送元の内線番号 → □ または 0 →
転送解除	→ 710 → □ または 0 →
フォローミー解除	→ 718 → 転送元の内線番号 → □ または 0 →
ステーションロック設定	→ 77 → ロックコード (4ケタ) → 同じロックコード → □ または 0 →
ステーションロック解除	→ 77 → ロックコード (4ケタ) → □ または 0 →
メッセージウェイト設定	→ 701 → 内線番号 → □ または 0 →
メッセージウェイト解除	→ 702 → 内線番号 → □ または 0 →
内線コールバック / 外線コールバック	(話し中のとき) 6 →
内線コールバックを受ける	(着信音が鳴ったら) (自動的にダイヤルされる)
外線コールバックを受ける	(着信音が鳴ったら) → 電話番号
内線コールバック / 外線コールバックを解除する	→
アラーム設定	→ 76 → 時刻 (4ケタ) → 0 (AM) または 1 (PM) → 1 (1回) または 2 (毎日) → □ または 0 →
アラーム解除	→ 762 → □ または 0 →
アラームを止める	
内線通話割り込み 取付け時設定	(内線が話し中のとき) 3 → 話す
内線通話割り込みをやめる	

単独電話機の操作

機能	操作
内線通話割り込み拒否設定	 → 7330 →  または 0 → 
内線通話割り込み拒否解除	 → 7331 →  または 0 → 
話中時着信音を鳴らす	(内線が話し中のとき) 2
外線話中時着信を受ける設定	 → 7311 →  または 0 → 
外線話中時着信を解除する	 → 7310 →  または 0 → 
内線話中時着信を受ける設定	 → 7321 →  または 0 → 
内線話中時着信を解除する	 → 7320 →  または 0 → 
会議通話 (3者)	(2人で通話中に) フッキング ^{*1} (「ホリユウモード2」や「ホリユウモード3」のとき ^{*2} :  2 0) → 電話番号 (フッキングで元の相手との通話に戻る) → 話す → フッキング ^{*1} →  3 → 会議通話で話す
会議通話 (3者) をやめる	
3人目を保留して2人目と話す	フッキング ^{*1} → 話す
内線ルーム音声モニター  取付け時設定	 → 音声を送らない操作 → 内線番号
玄関子機モニター  取付け時設定	 → 音声を送らない操作 →  3 1 → 玄関子機番号
ブッシュ信号を送る (取付け時設定で外線送出ダイヤル種別がパルスモードのとき)	電話番号 →  * → 入力したい番号
フッキング信号送出	(外線通話中) フッキング ^{*1} →  6
電話機機能設定クリア	 → 79 →  または 0 → 
玄関子機呼出を受ける	
玄関子機を呼び出す	 →  3 1 → 玄関子機番号 → 話す
電気錠を解除する	 →  5 5 → 電気錠番号 → 
玄関子機と通話中に電気錠を解除する	フッキング ^{*1} →  5 → 
クイックダイヤル	 → 50 ~ 59
システム応答履歴設定	 → 7382 →  または 0 → 
応答履歴解除	 → 7380 →  または 0 → 

単独電話機の操作

受話器を取るだけでダイヤルする（ホットライン／発信プリファレンス）

受話器を取るだけで、登録した電話番号や外線発信番号に自動的にダイヤルすることができます。（単独電話機のみ）
 ホットラインや発信プリファレンス機能を使用するには、電話番号や外線発信番号を登録したあとにホットライン／
 発信プリファレンスを設定してください。

電話番号や外線発信番号を登録する

- 1 受話器を取る

- 2 **7****4****2** を押す

- 3 登録したい電話番号や外線発信番号（**0**、**81**～**86** など）を押す
 - 32ケタまで登録できます。
 - 外線の電話番号を登録する場合、最初に外線発信番号（**0**、**81**～**86** など）を登録してください。
 - 発信プリファレンスとしてお使いの場合は、外線発信番号のみを登録してください。

- 4 **□** を押す
 - 確認音のあと「ツ」音が鳴ります。

- 5 受話器を戻す

ホットライン／発信プリファレンスで電話をかける

- 1 受話器を取る
 - 自動的にダイヤルされます。
 - 発信プリファレンスとしてお使いの場合は、外線が捕捉されたあと、外線の電話番号をダイヤルしてください。

ホットライン／発信プリファレンスを設定する

- 1 受話器を取る

- 2 **7****4****1** を押す

- 3 **□** または **0** を押す
 - 確認音のあと「ツツツ」音が鳴ります。

- 4 受話器を戻す

ホットライン／発信プリファレンスを解除する

- 1 受話器を取る

- 2 自動ダイヤルが始まる前に **7****4****0** を押す

- 3 **□** または **0** を押す
 - 確認音のあと「ツ」音が鳴ります。

- 4 受話器を戻す

操作のヒント

- ホットライン／発信プリファレンスを設定していても、電話を受けたり、自分で保留した通話に応答する場合は、受話器を取ってもダイヤルされません。
- 受話器を取ってから一定時間内（**☎** 取付け時設定）に、別の番号にかけることができます。（お買い上げ時の設定は3秒間）発信プリファレンスを設定して、自動発信をお使いになる場合（ファクスを送るときなど）は、取付け時にホットライン（ピックアップダイヤル）／発信プリファレンス開始時間を0秒に登録してください。
- 「電話番号や外線発信番号を登録する」の手順3では、**0**～**9**と*****が入力できます。*****を押すと、電話番号には空白時間（ポーズ）として登録されます。
- 「ホットライン／発信プリファレンスを解除する」の手順2で、すでに自動ダイヤルが始まった場合は、次のように操作してください。
 - ・電話番号をダイヤル中：フッキング（➡77ページ）➡**740**➡**□** または **0** ➡フッキング ➡受話器を戻す
 - ・外線が捕捉された場合：**1** を押して、フッキング ➡**740**➡**□** または **0** ➡フッキング ➡受話器を戻す
- ダイヤル式電話では操作できません。

データ通信秘話を設定する

パソコンを使ったりファクスを受信する場合、話中時着信（➡61ページ）、保留再呼出や通話割り込み（➡59ページ）ができないように設定し、データ通信をスムーズにすることができます。

機能	操作
データ通信秘話を設定する	☎ ➡ 7301 ➡ □ または 0 ➡ ☎
データ通信秘話を解除する	☎ ➡ 7300 ➡ □ または 0 ➡ ☎

構内放送をする

すべての電話機から構内放送をすることができます。市販のアンプ、構内放送用スピーカーが必要です。

1 受話器を取る

2 呼出番号を押す

□ 3 4 : 構内放送 (構内放送用スピーカー)

□ 3 3 9 または **□ 3 3 ***

: 一斉呼出と構内放送 (すべての内線と構内放送用スピーカー)

予告音が鳴ります。

3 受話口に向かって話す

構内放送されます。

構内放送に応答するには

1 受話器を取る

2 **□ 4 3** を押す

確認音が鳴ります。

ご注意

構内放送はシステムで同時に 1 人しかできません。一斉呼出またはグループ呼出との同時使用もできません。

操作のヒント

音声呼出の前に予告音が鳴ります。予告音のあとに呼び出してください。

構内放送用スピーカーから鳴る予告音は、鳴らないように設定することができます。☰ 取付け時設定

ファクスを内線に収容している場合

ファクスを内線に収容すると、ファクス専用の特定の電話番号を用意しなくてもファクスを利用できます。ファクスからの着信を内線のファクスに転送してファクスを受けることができます。

転送には、自動転送と手動転送の2種類があります。

自動転送をするには、オプションの「外部送出メッセージユニット」が必要です。また、DIDの設定で転送先を指定する必要があります。

ファクスを受ける（自動転送）

ファクスからの着信を自動で内線ファクスへ転送します。

1 あらかじめ指定された電話回線（システムで1回線のみ）に着信する

2 本システムが応答する

- DID応答メッセージ送信中およびメッセージ終了後5秒間（お買い上げ時の設定 ☎ 取付け時設定）、ファクス信号（CNG信号）を検知します。ファクス信号（CNG信号）を検知した場合は、ファクスへ自動転送します。
- ファクス信号（CNG信号）を検知できなかった場合は、全内線呼び出します。（お買い上げ時の設定 ☎ 取付け時設定）他の内線呼び出さずに通話を切断することもできます。☎ 取付け時設定
- ファクスに転送後、40秒以内にファクスが応答しないと、自動的に回線を切ります。

ファクスを受ける（手動転送）

1 電話で応答したら、ファクスへの着信だった場合

転送
○ を押す

2 ファクスを接続している内線番号を押す

3 ファクスが応答したら受話器を戻す

ファクスを送る

- 外線へ電話をかける操作で発信してください。（⇒22ページ）

操作のヒント

- 不在時のファクスへの着信は、夜間切替（⇒112ページ）、不在転送（⇒53ページ）などでファクスが自動応答するように設定できます。
- ファクスを送るとき、受話器を取るだけで外線をつかむ設定（発信プリファレンス）にするには、ホットライン／発信プリファレンス（⇒80ページ）に外線発信番号（0、81～86など）のみを登録してください。その場合、取付け時にホットライン（ピックアップダイヤル）／発信プリファレンス開始時間を0秒に登録してください。（☎ 取付け時設定）

玄関子機からの呼び出しに应答する

玄関子機からの呼び出しに各電話機で应答することができます。
玄関子機と「ドアホンユニット」が必要です。玄関子機はシステムに4台まで接続することができます。

玄関子機から呼び出す

1 玄関子機の呼び出しボタンを押す

- 呼び出しボタンを押している間、呼出確認音（「ブー」音）が鳴ります。

玄関子機からの呼び出しに应答する

2 着信音が鳴る

- 着信ランプが点滅し、内線ランプが点灯します。

3 受話器を取る

- 玄関子機の方とお話してください。

玄関子機を呼び出す


1 受話器を取る

2 を押す



3 玄関子機番号（～）を押す

- 確認音が鳴り、玄関子機の方とお話できます。

ご注意


- 玄関子機との通話は保留、転送することができません。
- 玄関子機 1 と玄関子機 2、玄関子機 3 と玄関子機 4 とは、それぞれ同時に使うことはできません。
例えば、玄関子機 1 が内線の電話機と通話中に、玄関子機 2 が呼び出しボタンを押すと、玄関子機側では呼出確認音（「ブー」音）が鳴りません。（ただし、玄関子機 2 からは内線に着信します）
また玄関子機 1 の通話中は、玄関子機 2 に应答しても無音状態となり、通話できません。玄関子機 1 との通話を切ってから玄関子機 2 と通話してください。
（玄関子機 3 と 4 についても同様です）
- 玄関子機から呼び出しを受けるには、昼間／夜間／ランチモード時の玄関子機着信の設定（お買い上げ時の設定は「カノウ」)を行ってください。

操作のヒント

- 着信音が鳴ってから約 15 秒後（)に内線ランプが消えます。内線ランプが消えてから应答する場合は、玄関子機を呼び出して应答してください。
- 玄関子機は内線ルーム音声モニター（→67 ページ）として使うこともできます。
- システムに市販のチャイムを取り付けると、玄関子機からの呼び出しがあった場合、着信音の代わりにチャイムでお知らせすることができます。チャイムの音は、玄関子機ごとに設定することができます。




電気錠を解錠する

電話機から電気錠を解錠することができます。
オプションの「ドアホンユニット」が必要です。電気錠はシステムに4台まで接続することができます。

- 1 玄関子機と通話中に **5** を押す
電気錠が5秒間 ( 取付け時設定) 解錠されます。


- 2 受話器を戻す


玄関子機と通話をしないで電気錠を解錠する

- 1 受話器を取る、または  を押す
- 2 **0** **5** **5** を押す
- 3 玄関子機番号 (**1** ~ **4**) を押す
確認音が鳴り、電気錠が5秒間 ( 取付け時設定) 解錠されます。
- 4 受話器を戻す、または  を押す

操作のヒント

玄関子機の呼び出しに応答中に電気錠を解錠した場合、電気錠が解錠されている間に、もう一度 **5** を押すと、解錠がさらに5秒間延長されます。

電気錠の解錠時間(お買い上げ時の設定は5秒)は、変更することができます。  取付け時設定

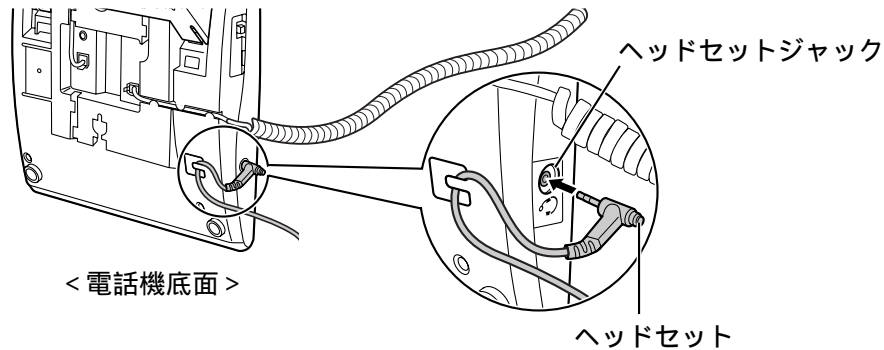
電気錠を解錠するには、昼間/夜間/ランチモード時の電気錠解錠設定(お買い上げ時の設定は「カノウ」  取付け時設定)を行ってください。

玄関子機が接続されていなくても、電気錠を解錠できます。

ヘッドセットを使う


受話器の代わりに市販のヘッドセットを使うと、受話器を置いたままで通話できます。


1 電話機のヘッドセットジャックに、ヘッドセットを接続する



操作のヒント

ヘッドセット接続時にはオートリピートダイヤル機能は使えません。(⇒45 ページ)

ヘッドセット通話中に  を押しても、マイクミュートは設定されません。(⇒74 ページ)

ヘッドセット接続時は、待ち受け中に  を押すと、内線自動応答が設定されます。(⇒33 ページ)

ヘッドセットを使わないときは、電話機にヘッドセットを接続しないでください。

電話がかかってきたときは、 を押して応答してください。

使用可能なヘッドセットにつきましては、販売店にご相談ください。

発信者番号通知(基本サービス)

電話をかけた相手の電話機に、発信者電話番号を通知するサービスです。
相手が携帯電話やPHS電話以外の場合は、ナンバー・ディスプレイを契約している場合のみ電話番号を表示します。

電話をかけたとき

本システムから電話をかけたとき、相手の電話機に電話番号が通知されます。

発信者番号の通知について

NTTに申し込んだ方法により、操作が異なります。

「通常通知」を選択している場合

通常のかけ方で、発信者の電話番号を通知します。相手の電話番号の前に「184」をつけてダイヤルすると、その通話に限り電話番号を通知しないようにします。

「通常非通知」を選択している場合

通常のかけ方では発信者の電話番号を通知しません。相手の電話番号の前に「186」をつけてダイヤルすると、その通話に限り電話番号を通知することができます。

通知方法（「通常通知」・「通常非通知」）の変更は、NTTへの申し込みが必要になります。

外線から電話がかかってきたとき、発信者の電話番号が通知されたときは発信者の電話番号、通知されないときにはその理由を通知するサービスです。この機能を利用するには、NTTとの契約が必要です。また、オプションの「発信者番号識別ユニット」が必要です。

お知らせ

NTT側の都合によりサービス内容が変更される場合がありますので、詳細についてはNTTにお問い合わせください。

電話がかかってきたとき

外線から電話がかかってきたとき、発信者の電話番号が通知された場合には、着信音が鳴っている電話機すべてに、かけてきた相手（発信者）の電話番号が表示されるので相手の電話番号を確認してから電話を受けることができます。

<外線からかかってきたとき> (例) 東京支店 (03-0000-5678) からかかってきたとき

名前登録なし (発信者の電話番号)

名前登録あり (発信者の名前)

通知された電話番号が共通短縮ダイヤルに名前を登録されている場合 (⇒106ページ) は、名前を表示します。

NTTとの契約により、下記のような表示になります。

相手の回線 (かける側) 本システム側の回線 (受ける側)	ISDN		電話 (アナログ)		携帯電話		PHS	
	番号通知	番号非通知*	番号通知	番号非通知*	番号通知	番号非通知	番号通知	番号非通知
ナンバー・ディスプレイ 契約有り								
ナンバー・ディスプレイ 契約無し	×	×	×	×	×	×	×	×

: 相手の電話番号を表示します。 : 非通知理由を表示します。 x: 表示しません。

* : 公衆電話、電話番号通知のできないネットワークからかけた場合も含まれます。

: 相手の電話番号が通知されないときは、以下のような表示になります。

: 公衆電話から電話がかかってきたとき

: 「非通知」で電話がかかってきたとき

: 国際電話などで番号を通知できない電話がかかってきたとき

NTTがサービス内容の変更や追加を行った場合には、表示内容が変わることがあります。

お知らせ

16ケタを超える電話番号が通知された場合、先頭から表示可能なケタ数まで表示します。

本システムに接続される単独電話機には、電話をかけてきた相手の電話番号は表示されません。

発信者の電話番号が通知されない場合には表示されません。

本システムは、ネーム・ディスプレイには対応しておりません。

使いかたにあわせて機能を設定する

お使いの多機能電話機を、使いかたにあわせて個別に機能設定することができます。
機能設定中は、電話機はお話し中とみなされます。一括初期化操作が行われると、設定は解除されます。
(→98ページ)

内線音声呼出 / 信号呼出を設定する

内線がかかってきたとき、音声呼出で受けるか、信号呼出で受けるかを設定します。
音声呼出：内線がかかってきたときに、スピーカーから音声で呼び出します。
信号呼出：内線がかかってきたときに、着信音が鳴ります。（お買い上げ時の設定）

1 プログラム
● を押す

2 音声呼出を設定するには

4 2 を押す

ヨビダシモード：オン

信号呼出を設定する（音声呼出を解除する）には

4 1 を押す

ヨビダシモード：シゴウ

3 短縮登録
● を押す

4 プログラム
● を押す

話中時着信音を設定する

話中時着信音を設定します。（お買い上げ時の設定は、話中時着信音1）

1 プログラム
● を押す

2 話中時着信音1を設定するには

5 1 を押す

ワチュウジ チャクシントーン：1

話中時着信音2を設定するには

5 2 を押す

ワチュウジ チャクシントーン：2

3 短縮登録
● を押す

4 プログラム
● を押す

外線ボタン（⇒99ページ）に設定していないFFボタンは、機能を設定して機能ボタンとして使うことができます。また、メッセージボタンにも、一部の機能を設定することができます。

FFボタンに設定できる機能

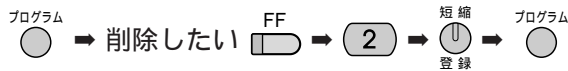
- ・ワンタッチ内線ボタン
- ・ワンタッチダイヤルボタン
- ・ワンタッチ機能ボタン
- ・個別着信履歴ボタン
- ・個別履歴選択ボタン
- ・システム着信履歴ボタン
- ・システム履歴選択ボタン
- ・セーブボタン

は、メッセージボタンにも登録することができます。
ただし、登録した場合は、メッセージボタンとしては使用できません。

FFボタンの設定を変更するには

登録と同じ操作で上書き変更できます。

FFボタンの設定を削除するには



FFボタンの設定を確認するには

プログラム → 確認したい FF を押します。（繰り返し他の FF を押すと、設定内容が続けて確認できます）
確認を終わるには プログラム を再度押します。

ご注意



外線ボタンに設定されている FF ボタンに対して、設定を変更または削除しないようご注意ください。
外線ボタンに設定されている FF ボタンが、変更または削除されると、その外線に対して着信なくなってしまうます。外線ボタンの設定、変更は第9章で説明しています。

お知らせ

FF ボタンについては、「各部のなまえとはたらき」(⇒12 ページ)を参照してください。
メッセージボタンの設定内容は、「メッセージボタンに戻す」(⇒94 ページ)の操作で元に戻すことができます。


ワンタッチ内線ボタンを設定する (→28ページ)

1  を押す

2  (または ) を押す

3  を押す (例)



4 内線番号を押す (例)

5  を押す
短縮登録

6  を押す






ワンタッチダイヤルボタンを設定する (→28ページ)


1  を押す


2  (または ) を押す

3  を押す (例)

4 電話番号を押す

24ケタまで登録できます。
外線の電話番号を登録する場合、最初に外線発信番号 (,   ~   など) を登録してください。

5  を押す
短縮登録


6  を押す

お知らせ

外線発信番号のあとには、自動的に空白時間 (ポーズ) が挿入されます。



 ~ , , ,  (空白時間),  (短縮ダイヤル表示制御) が入力できます。

 : ポーズ (空白時間) を入れます。

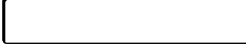
 : 電話番号の全部または一部をこのボタンではさみ、はさんだ番号を液晶表示部に表示しないようにします。
(→102ページ)

ワンタッチ機能ボタンを設定する

1  を押す

2  (または ) を押す

3  を押す

(例) 

4 機能番号を押す

機能番号は、登録したい各操作の手順および単独電話機の操作 (⇒76ページ) を参考にしてください。

- (例)
- ・一斉呼出と構内放送 : #33*
 - ・一斉音声呼出に答える : #43
 - ・グループ代理応答 : #40
 - ・外線転送 : 7130 [転送先電話番号] #
 - ・外線転送解除 : 710 #



5  を押す

登録

6  を押す



ボタンを使うには

1 受話器を取る

2  (または ) を押す

確認音が鳴ります。

お知らせ

確認音は、機能によっては鳴らない場合もあります。(例：アラーム設定の機能番号 ( ) を設定した場合、など)

個別着信履歴ボタンを設定する (→47ページ)

個別着信履歴ボタンには、以下の機能があります。

- 1) 個別着信履歴ボタンのランプが点灯して着信があったことをお知らせします。
- 2) 電話がかかってきたとき、通話中に相手の電話番号などを記憶します。
- 3) 待ち受け中に着信履歴を確認します。
- 4) 着信履歴に保存されている相手に電話をかけます。

1 プログラム
 を押す

2 FF
 を押す

3  を押す

コパッ チャクシソリキ

4 短縮
登録
 を押す

5 プログラム
 を押す

個別履歴選択ボタンを設定する (→47ページ)

個別履歴選択ボタンには、以下の機能があります。

- 1) 電話がかかってきたとき、通話中に相手の電話番号などの情報を表示します。
- 2) 着信のあった件数を表示します。
- 3) 「New」の着信履歴が20件を超えると、個別履歴選択ボタンのランプが点灯します。

1 プログラム
 を押す

2 FF
 を押す

3  を押す

コパッ リキ センタク

4 短縮
登録
 を押す

5 プログラム
 を押す



システム着信履歴ボタンを設定する (→47ページ)

システム着信履歴ボタンには、以下の機能があります。

- 1) システム着信履歴ボタンのランプが点灯して着信があったことをお知らせします。
- 2) 電話がかかってきたとき、通話中に相手の電話番号などを記憶します。
- 3) 待ち受け中に着信履歴を確認します。
- 4) 着信履歴に保存されている相手に電話をかけます。

1 プログラム
 を押す

2 FF
 を押す

3   を押す

システム チャクシソリキ

4 短縮登録
 を押す

5 プログラム
 を押す

システム履歴選択ボタンを設定する (→47ページ)

システム履歴選択ボタンには、以下の機能があります。


- 1) 電話がかかってきたとき、通話中に相手の電話番号などの情報を表示します。
- 2) 着信のあった件数を表示します。
- 3) 「New」の着信履歴が300件を超えると、システム履歴選択ボタンのランプが点灯します。

1 プログラム
 を押す

2 FF
 を押す

3   を押す

システム リキ センタ

4 短縮登録
 を押す

5 プログラム
 を押す


セーブボタンを設定する (→46ページ)

1 プログラム
 を押す

2 FF
 を押す

3 5 を押す

セーブ ボタン


4 短縮
登録
 を押す

5 プログラム
 を押す

メッセージボタンに戻す


メッセージボタンに機能を設定 (→90、91ページ) した場合、設定を解除して元に戻します。

1 プログラム
 を押す

2 メッセージ
 を押す

3 3 を押す

メッセージ

4 短縮
登録
 を押す

5 プログラム
 を押す

以下の機能は、取付け時に工事担当者によってすでに設定されていますが、各電話機から設定を変更することができます。ただし、間違えて設定すると、着信しないなどの誤動作につながる恐れがあります。設定を変更される場合は、十分にご注意ください。

- ・発信プリファレンス（⇒下記）
- ・外線着信応答（⇒96ページ）
- ・鳴動着信設定（⇒97ページ）
- ・機能設定解除（一括初期化）（⇒98ページ）
- ・外線ボタンの設定（⇒99ページ）

機能設定中は、電話機はお話し中とみなされます。

発信プリファレンスを変更する

発信プリファレンス（アイドル）：受話器を取ると、空き外線に接続します。

発信プリファレンス（指定）：受話器を取ると、指定した外線に接続します。

発信プリファレンス（なし）：受話器を取っても、外線には接続しません。（お買い上げ時の設定）
外線を指定して電話をかけてください。

1 プログラム
● を押す

2 発信プリファレンス（アイドル）を設定するには

① ② を押す

ハッソ ライン : アイドル

発信プリファレンス（指定）を設定するには

① ③ を押し、外線番号（① ~ ⑥）を指定する

外線が3回線の場合は、外線番号は ① ~ ③ となります。

(例) ハッソ ライン : C0-1

発信プリファレンス（なし）を設定するには

① ① を押す

ハッソ ライン : ナ

3 短縮登録
● を押す


4 プログラム
● を押す

お知らせ

設定を変更すると、前の設定に上書きされます。

発信プリファレンスを設定している場合、内線にかけるときは 内線 ● を、外線を選んで電話をかけるときは、使い 外線 たい 外線 ● を押してから、受話器を取ってください。

外線着信応答を変更する

外線着信応答（なし）：受話器を取り、かかってきた  を押して電話を受けます。

外線着信応答（指定）：受話器を取るだけで、指定した外線にかかってきた電話を受けます。

外線着信応答（ベル）：受話器を取るだけで、外線からかかってきた電話を受けます。（お買い上げ時の設定）





1  を押す



2 外線着信応答（なし）を設定するには

  を押す

チャクシン ライン:ナシ



外線着信応答（指定）を設定するには

  を押し、外線番号（ ~ ）を指定する


外線が3回線の場合は、外線番号は  ~  となります。

（例）チャクシン ライン:C0-1

外線着信応答（ベル）を設定するには

  を押す

チャクシン ライン:ベル

3  を押す

4  を押す

お知らせ

設定を変更すると、前の設定に上書きされます。

外線着信応答（指定）を設定している場合、指定した外線以外にかかってきた電話は、点滅している  を押して応答します。

鳴動着信設定を変更する

指定した外線番号に電話がかかってきたときだけ、着信音を鳴らすように設定します。

1 プログラム
 を押す

2  を押す

リソク* 1, 2, 3, 4, 5, 6

3 着信音を鳴らしたい外線番号 ( ~ ) を指定する

外線が3回線の場合は、外線番号は  ~  となります。

4 短縮登録
 を押す

5 プログラム
 を押す

ご注意

着信可能内線の登録を「カノウ」に設定しておいてください。(お買い上げ時の設定は「カノウ」)  **取付け時設定**

お知らせ

指定した外線以外にかかってきた電話は着信音が鳴りません。点滅している 外線  を押して応答します。

機能設定を解除する（一括初期化）

設定した電話機の機能を、お買い上げ時の設定に戻します。

- 発信プリファレンス : 発信プリファレンス（なし）（⇒95ページ）
- 外線着信応答 : 外線着信応答（ベル）（⇒96ページ）
- 鳴動着信設定 : すべての外線が鳴動（⇒97ページ）
- 内線音声呼出 / 信号呼出 : 信号呼出（⇒88ページ）
- 話中時着信音 : 話中時着信音1（⇒88ページ）

1 プログラム
● を押す

2 □ * を押す

イッツ ショカ

3 短縮
● を押す
登録

4 プログラム
● を押す

ご注意

内線自動応答機能（⇒33ページ）と、内線ルーム音声モニター（⇒67ページ）での



自動応答
も同時に解除され
ミュート/文字

FFボタンを外線ボタンに設定する

FFボタンを以下の3種類の外線ボタンに設定することができます。外線ボタンに設定していない外線番号には着信できません。

- COボタン： 外線番号ごとにそれぞれボタンを割り当てます。設定された外線から電話がかかってきた場合、該当するCOボタンに着信します。
- グループボタン： 外線ごとにグループが割り当てられます。外線のグループボタンを設定すると、電話がかかってきた場合、該当するグループボタンに着信します。
- Other COボタン： COボタンとグループボタンに設定した以外の外線をまとめて、Other COボタンに登録できます。外線から電話がかかってきた場合は、このボタンに着信します。

着信の優先順位は、(1)COボタン、(2)グループボタン、(3)Other COボタンの順になります。

お知らせ

FFボタンについては、「各部のなまえとはたらき」(⇒12ページ)を参照してください。

設定を変更すると、前の設定に上書きされます。

設定を確認するには、 ⇒ 確認したい  を押します。確認を終わるには  を再度押します。

FFボタンの設定を削除するには、 ⇒ 削除したい  ⇒  ⇒  ⇒  を押します。

CO ボタンを設定する

1  を押す

2  を押す


3  を押す

(例)

4 外線番号 ( ~ ) を押す

(例)

外線が3回線の場合は、外線番号は  ~  となります。

5  を押す

登録

6  を押す

お知らせ

グループボタンの設定(⇒100ページ)にCOボタンで設定した外線を含めて設定することができます。ただし、着信のときは、COボタンが優先されます。

グループボタンを設定する

1 プログラム
● を押す

2 FF
□ を押す

3 □ を押す

4 外線グループ番号 (1) ~ (6) を押す


(例)

5 短縮
● を押す
登録

(例)

6 プログラム
● を押す

お知らせ

- はじめに外線グループを設定しておいてください。 **取付け時設定**
- CO ボタンで設定 (→99 ページ) した外線を含めて設定することができます。
- グループボタンからの発信では、指定されたグループのうちで空いている回線を外線番号の大きいものから降順に捕捉します。

Other CO ボタンを設定する

1 プログラム
● を押す

2 FF
□ を押す

3 ✳ を押す

4 短縮
● を押す
登録

5 プログラム
● を押す

お知らせ

- Other CO ボタンからの発信では、指定された外線のうちで空いている回線を外線番号の大きいものから降順に捕捉します。

システム管理編 指定

これ以降の10章「指定電話機からの操作」(102～115ページ)では、指定電話機による操作を説明しています。

共通短縮ダイヤルの登録

共通短縮ダイヤルに電話番号や名前を登録する










システムで共通に使う電話番号を共通短縮ダイヤルに登録しておく、簡単な操作で電話をかけたり(⇒30ページ)、発信者番号が通知されてかかってきたときに発信者の名前を表示(⇒87ページ)したりすることができます。

種類	登録操作を行う電話機の 種類と登録内容	登録件数	登録できるケタ数
共通短縮ダイヤル (⇒102～107ページ)	指定 電話番号と名前	100件: 短縮番号00～99	電話番号: 32ケタ以内 名前:16文字以内

指定 マークのついているものは、指定電話機(⇒9ページ)から操作してください。

電話番号に登録できる内容

短縮ダイヤルには「番号」以外にも、「ポーズ」なども電話番号として登録することができます。

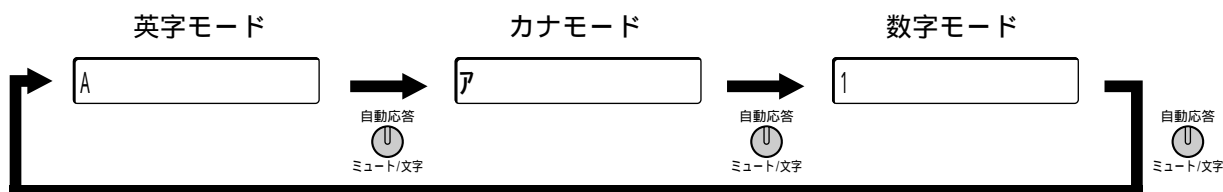
項目	登録操作	内容
ポーズ	ポーズ 	NTT以外の通信事業者回線、国際電話番号など、ポーズが必要な電話番号を登録するときに使います。 電話番号を入力中に ^{ポーズ}  を押し、電話をかけるときに ^{ポーズ}  のところで約3.2秒間のポーズが入ります。
プッシュ信号転換		プッシュ信号を送りたい場合には、電話番号の中に  を登録すると  以降の電話番号をプッシュ信号に変換して送ります。
短縮ダイヤル表示制御	内線 	暗証番号などを登録しておいて、発信時に表示したくない場合に使います。電話番号を入力中に、 ^{内線}  を押し(“[”と表示されます)、表示したくない番号を入力し、再度 ^{内線}  を押し(“] ”と表示されます)、“[”と“] ”には含まれた番号を発信時に表示しません。

共通短縮ダイヤルの登録

名前入力のみ

共通短縮ダイヤルの名前を入力して登録することができます。

入力モードの選択のみ



名前への入力、ダイヤルボタンを使用して入力します。押す回数によって、入力できる文字が変わります。名前を入力するときは、文字入力画面を表示してから入力します。

モード ボタン	英字モード	カナモード	数字
①	! ?	ア イ ウ エ オ ↳ ア イ ウ エ オ	1
②	A B C a b c	カ キ ク ケ コ	2
③	D E F d e f	サ シ ス セ ソ	3
④	G H I g h i	タ チ ツ テ ト ッ	4
⑤	J K L j k l	ナ ニ ヌ ネ ノ	5
⑥	M N O m n o	ハ ヒ フ ヘ ホ	6
⑦	P Q R S p q r s	マ ミ ム メ モ	7
⑧	T U V t u v	ヤ ユ ヨ ヤ ユ ヨ	8
⑨	W X Y Z w x y z	ラ リ ル レ ロ	9
⑩	スペース . , ' : ;	ワ ヲ ン	0
*	* " + - = < >	、 ¥	*
☐	# \$ % & @ ()	、 ° / 「 」	#

会議
⏪ または ⏩ : 入力した文字を1文字分消去します。

不在/不在転送
⏹ または ⏸ : 入力文字を確定します。


転送
⏹ : 入力した文字をすべて消去します。

操作のヒント

同じ行の文字を続けて入れたいときは、文字を入力したあと、⏸ を押して文字を入力します。

(例)「アイ」と入力する場合:(カナモードで) ① を1回押す → ⏸ → ① を2回押す

名前を新規に登録するときは、⏹ または ⏪ で文字を削除してから入力してください。

共通短縮ダイヤルは100件（短縮番号 00 ~ 99）登録できます。1件につき電話番号は32ケタまで、名前は16文字まで入力できます。指定電話機（→9ページ）でのみ登録できますが、あらかじめ内線パスワードを設定しておく必要があります。 **取付け時設定**
あらかじめ電話番号を登録したあと、対応する名前を登録されることをおすすめします。

電話番号を登録する

- 1 プログラム
 を押す

- 2   を押す パスワード :

- 3 内線パスワード（ **取付け時設定**）を押す コメロ バンゴウ →
パスワードは変更することができます。
パスワードを間違えて入力すると、「ピピピ」と警告音が鳴ります。もう一度正しいパスワードを入力してください。

- 4    を押す タシユク ダイヤル

- 5 スピーカーホン
 を押す タシユク バンゴウ →

- 6 短縮番号（  ~  ）を押す （例：短縮番号80）
番号を押さずに スピーカーホン  を押すと、短縮番号00が表示されます。 80: トウロケシ

- 7 電話番号を入力する（32ケタまで） （例：00312345678）
外線の相手を登録するときは、電話番号の前には、必ず外線発信番号（、  ~   など）を登録してください。 80: 00312345678

- 8 短縮登録
 を押す
「ピー」と鳴る：登録されました。
「ピッピッ」と鳴る：すでに同じ電話番号が登録されています。


- 9 次の短縮番号を選ぶときは スピーカーホン  を押して手順7へ
前の短縮番号を選ぶときは 再ダイヤル  を押して手順7へ
短縮番号を入力して選ぶときは 自動応答  を押して手順6へ
登録を終了するときは ミュート/文字保留  を押す

- 10 プログラム
 を押す

電話番号を修正するには

登録と同じ操作で上書き修正できます。


電話番号を削除するには








登録と同じ操作の手順7で  を押して番号を消去し、登録します。




電話番号を確認するには





登録と同じ操作の手順6までを行います。

操作のヒント

電話番号を間違えて入力した場合は、 を押して消去してから、もう一度入力してください。

電話番号は32ケタまで登録できます。 ~ 、、、 (ポーズ)、 (-)、 (短縮ダイヤル表示制御) が登録できます。


電話番号の全部または一部を液晶表示部に表示させたくない場合は、電話番号を入力中に、 を押して(“[”と表示されます)表示したくない番号を入力し、再度  を押すと(“] ”と表示されます) “[”と“] ”には含まれた番号を表示しません。“[”や“] ”も1ケタに含まれます。また、外線発信番号は、 (“[”と“] ”)ではさまないでください。


液晶表示部には16ケタまで表示されます。登録した電話番号を確認する場合に表示されていないケタを見たいときは、 (左)や  (右)または  や  を押してください。(登録中には、この操作はできません)

お知らせ

あらかじめ共通短縮ダイヤルに電話番号と相手の名前を登録しておく、共通短縮ダイヤルで電話をかけたときや、ナンバー・ディスプレイをご契約されていて登録した番号の方から電話がかかってきたときに、名前が表示されます。

電話番号の前に「184」、「186」やNCCアクセスダイヤル(0088など)を登録している場合、登録された番号から電話がかかってきても名前は表示されません。

市内の電話番号の場合も、市外局番から登録しなければ、名前は表示されません。ただし、取付け時の設定により、名前を表示させることができます。

電話番号に  などを登録していても、番号一致とみなします。

名前を修正するには

登録と同じ操作で上書き修正できます。

名前を削除するには


登録と同じ操作の手順7で  を押して名前を消去し、登録します。


名前を確認するには





登録と同じ操作の手順6までを行います。

操作のヒント

名前は16文字まで登録できます。入力のしかたは、103ページを参照してください。

間違えたとき、入力中の文字を全部消去したい場合は、 を押してください。

最後の1文字だけを消去したい場合は、 を押してください。

液晶表示部には16ケタまで表示されます。登録した名前を確認する場合に表示されていないケタを見たいときは、 (左)や  (右) または  や  を押してください。(登録中には、この操作はできません)

お知らせ

あらかじめ共通短縮ダイヤルに電話番号と相手の名前を登録しておく、共通短縮ダイヤルで電話をかけたときや、ナンバー・ディスプレイをご契約されていて登録した番号の方から電話がかかってきたときに、名前が表示されます。

電話機の液晶表示部に表示される年月日、時刻を変更することができます。
指定電話機とオペレータ内線（→9ページ）でのみ操作できます。

1 プログラム
○ を押す

2 0 を押す

（例：2003年5月15日木曜日午後3時38分）

030515 4 03:38 1

3 年を入力する

（例）

03 :

西暦の下2ケタを入力します。
（例：2003年の場合 0 3 ）

4 月日を入力する

（例）

030521 :

4ケタの数字で入力します。
（例：5月21日の場合 0 5 2 1 ）

5 曜日を入力する

（例：水曜日の場合）

030521 3 :

1ケタの数字で入力します。

0 : Sun （日）

1 : Mon （月）

2 : Tue （火）

3 : Wed （水）

4 : Thu （木）

5 : Fri （金）

6 : Sat （土）

6 現在の時刻（4ケタ）を入力する

（例）

030521 3 07:30

12時間制で4ケタの数字を入力します。
（例：午後7時30分の場合 0 7 3 0 ）

7 午前・午後を入力する

（例：午後の場合）

030521 3 07:30 1

1ケタの数字を入力します。

0 : AM （午前）

1 : PM （午後）

8 短縮
○ を押す
登録

9 プログラム
○ を押す

操作のヒント

入力をまちがえた場合は、手順1からやり直してください。

すべての内線のステーションロック（⇒55ページ）を解除することができます。
指定電話機とオペレータ内線（⇒9ページ）でのみ操作できます。

1 プログラム
● を押す

2 8 を押す

オール ロック カイジ ョ

3 短縮
● を押す
登録

4 プログラム
● を押す

特定の内線に、指定した時刻にアラームを鳴らすよう設定することができます。
指定電話機とオペレータ内線（→9ページ）でのみ操作できます。

リモートアラームを設定する

- 1 受話器を取る、または スピーカーホン を押す

- 2 **7** **6** **4** を押す

- 3 設定したい内線番号を押す
(例：内線11番)
リモートアラーム セッテイ 11

- 4 **口** を押す
確認音のあと「ツー」音が鳴ります。

- 5 **7** **6** を押す

- 6 時刻（4ケタ）を入力する
12時間制で4ケタの数字を入力します。

- 7 午前・午後を入力する
1ケタの数字を入力します。
0 : AM (午前)
1 : PM (午後)

- 8 アラームの回数を入力する
1ケタの数字を入力します。
1 : 1回のみ鳴ります
2 : 設定を解除するまで、毎日鳴ります
(例：午後1時30分に1回のみ鳴らす)
76013011

- 9 **口** を押す
アラーム 1:30PM
確認音が鳴ります。

- 10 受話器を戻す、または スピーカーホン を押す

設定を解除する

- 1 受話器を取る、または スピーカーホン を押す

- 2 **7** **6** **4** を押す

- 3 解除したい内線番号を押す

- 4 **口** を押す
確認音のあと「ツー」音が鳴ります。

- 5 **7** **6** **2** **口** を押す
確認音が鳴ります。

- 6 受話器を戻す、または スピーカーホン を押す

設定時刻を確認する

- 1 受話器を取る、または スピーカーホン を押す

- 2 **7** **6** **4** を押す

- 3 確認したい内線番号を押す

- 4 **口** を押す
確認音のあと「ツー」音が鳴ります。

- 5 **7** **6** **3** **口** を押す
設定した時刻が表示されます。

- 6 受話器を戻す、または スピーカーホン を押す

お知らせ

リモートアラームを設定していないときは、「アラーム セッテイ アリマセン」と表示されます。

毎日鳴らす設定をしているときは、時刻の後ろに「*」が表示されます。

DID（ダイレクトインダイヤル）（⇒70ページ）やACD（均等着信分配）（⇒117ページ）の機能を使って電話を受けるときに流す応答メッセージを録音します。2種類のメッセージを録音することができます。応答メッセージを録音するには、オプションの「外部送出メッセージユニット」が必要です。指定電話機とオペレータ内線（⇒9ページ）でのみ操作できます。

メッセージを録音する

1 プログラム
● を押す

2 ● 9 を押す

メッセージ ロクオン/サイセイ

3 受話器を取る

メッセージ ロクオン/サイセイ

4 応答メッセージの保存先を選ぶ

（例：0を押したとき）

● 0 : 応答メッセージ1と応答メッセージ2

● 1 : 応答メッセージ1

● 2 : 応答メッセージ2

ロクオン 1&2:01

録音経過時間

確認音のあと、録音できます。

0、1、2のどの応答メッセージをDID、ACDで流すかは、取付け時に設定されます。 取付け時設定

5 メッセージを録音する

（例）

30秒まで録音できます。

ロクオン 1&2:20

6 録音したら、短縮
登録
● を押す

（例）

登録ランプが点灯し、確認音が鳴ります。
録音されたメッセージが再生されます。

サイセイ 1:01

再生経過時間

7 プログラム
● を押す

録音したメッセージを聞くには

上記の手順2のあと

3 応答メッセージ1を聞くには、● 3 を押す

（例：3を押したとき）

応答メッセージ2を聞くには、● 4 を押す

サイセイ 1:01

再生経過時間

登録ランプが消灯し、録音した応答メッセージが流れます。


ご注意


手順5で30秒を超えると、自動的に録音が切れます。

操作のヒント

新しい応答メッセージを録音すると、前に登録した応答メッセージに上書きされます。

手動で夜間切替する

手動夜間切替に設定されている場合や、自動夜間切替中（ 取付け時設定）でも一時的に設定を切り替えたい場合などは、手動で夜間切替を行います。指定電話機とオペレータ内線（⇒9ページ）でのみ操作できます。

1 受話器を取る、または  を押す

2 夜間切替番号を押す

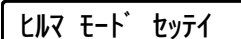
昼間モード :    

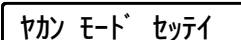
夜間モード :    

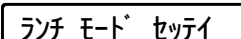
ランチモード :    

確認音が鳴ります。

モードを切り替えたときは、以下のように表示されます。





昼間 

夜間 









ランチ 

3 受話器を戻す、または  を押す

自動夜間切替に戻すには（自動夜間切替設定中で一時的に手動切替をしていた場合）

上記の手順2で     を押す

お知らせ

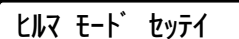
自動夜間切替を設定中に、上記の方法で手動で夜間切替の設定を行うと、手動で切り替えた設定に切り替わりませんが、自動夜間切替を設定していた時刻になると、自動設定されているモードに切り替わります。ただし、    を押して手動でランチモードに切り替えた場合には、    で自動夜間切替に戻すまで、モードは切り替わりません。

夜間切替設定を確認する

指定電話機以外からも、現在の夜間切替設定を確認することができます。


1 待ち受け中に  を押す






現在の設定が3秒間表示されます。

（例） 

システム着信履歴をすべて消去する


システム着信履歴をすべて消去することができます。
指定電話機とオペレータ内線 (→9ページ) でのみ操作できます。

1 受話器を取る、または  を押す

2      を押す

チャクシツレキ クリア


システム着信履歴がすべて消去されます。

3 受話器を戻す、または  を押す

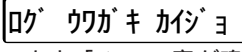
301件目以降は記憶しない (最初の300件を記憶する)


システム着信履歴が300件を超える場合、最初の300件までを記憶したら301件目以降の履歴を記憶しないよう設定することができます。この場合、システム着信履歴が300件を超えるとシステム履歴選択ボタンのランプが点灯します。

301件目以降を記憶しない


1 受話器を取る、または  を押す

2      を押す

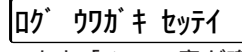
 と表示され、確認音のあと「ツー」音が鳴ります。

3 受話器を戻す、または  を押す


最新の300件を記憶するに戻す

1 受話器を取る、または  を押す


2      を押す

 と表示され、確認音のあと「ツー」音が鳴ります。

3 受話器を戻す、または  を押す

DID（ダイレクトインダイヤル）機能（⇒70ページ）では、外線から本システムを経由して外線に電話をかけることができますが、この機能を使うと本システムからの通話とみなされ、本システム側に通話料金がかかります。セキュリティ：なし モードを除いて、セキュリティ：外線、セキュリティ：オール モード（)では、DID機能を使って外線に電話をかける場合にはセキュリティコードが必要ですが、第三者にセキュリティコードを知られたり、不正に使用されたりすることのないよう、以下の点についておすすめします。

- (1) 第三者に知られることのないよう、セキュリティコードの管理を徹底してください。
- (2) セキュリティコードには、できるだけ長い任意の、わかりにくいコードを採用してください。
- (3) セキュリティコードを頻繁に変更してください。

セキュリティコードや、セキュリティコードのケタ数を変更することができます。指定電話機（⇒9ページ）でのみ操作できますが、あらかじめ内線パスワードを設定しておく必要があります。


DIDセキュリティコードのケタ数を変更する

DIDセキュリティコードのケタ数を、4～10ケタの間で変更できます。（お買い上げ時の設定は4ケタ）

1 プログラム
 を押す



2   を押す

パスワード :


3 内線パスワード（) を押す

内線パスワード →


パスワードは変更することができます。
パスワードを間違えて入力すると、「ピピピ」と警告音が鳴ります。もう一度正しいパスワードを入力してください。

4    を押す

セキュリティコード ケタ数

5 スピーカーホン
 を押す

4 ケタ

6 自動応答
 を押してケタ数を選ぶ
ミュート/文字

(例)
5 ケタ

4～10ケタの間で選ぶことができます。

7 短縮
 を押す
登録

「ピー」と鳴る：登録されました。
「ピッピッ」と鳴る：すでに同じケタ数が登録されています。

8 プログラム
 を押す

ご注意

ケタ数を変更すると、すでに登録されているセキュリティコードは解除されます。新しいケタ数で、登録し直してください。

DIDセキュリティコードを登録・変更する

- 1** プログラム
 を押す
- 2**   を押す パスワード :
- 3** 内線パスワード ( 取付け時設定) を押す コウモク パンゴウ →

パスワードは変更することができます。
パスワードを間違えて入力すると、「ピピピ」と警告音が鳴ります。もう一度正しいパスワードを入力してください。
- 4**    を押す セキュリティ コード
- 5** スピーカーホン
 を押す コード パンゴウ
- 6** コード番号 ( ~ ) を押す (例: コード1のとき)

番号を押さずに スピーカーホン  を押すと、コード番号01が表示されます。
セキュリティコードは4つまで設定することができます。

01:*....
- 7** セキュリティコードを入力する (4 ~ 10ケタ) (例: 1234)

ケタ数は変更することができます。(➡114ページ)

01:* 1234
- 8** 短縮
 を押す 登録

「ピー」と鳴る: 登録されました。
「ピッピッ」と鳴る: すでに同じセキュリティコードが登録されています。
- 9** 次のコード番号を選ぶときは スピーカーホン  を押して手順7へ

前のコード番号を選ぶときは 再ダイヤル  を押して手順7へ

コード番号を入力して選ぶときは 自動応答  を押して手順6へ

登録を終了するときは ミュート/文字 保留  を押す
- 10** プログラム
 を押す

操作のヒント

セキュリティコードを間違えて入力した場合は、転送  を押して消去してから、もう一度入力してください。

取付け時に設定する事項

詳細については、お買い上げの販売店にご相談ください。

保留再呼出

30秒または1、1.5、2、3、4、5、6分、登録なし（保留再呼出しなし）の中から設定できます。（お買い上げ時の設定は30秒）

設定すると、通話を保留したあとに一定時間が過ぎると保留再呼出音が鳴り、着信ランプが点滅します。受話器を取っていたり、通話中のときには保留再呼出音は鳴りません。

保留音源の選択

保留時に流す保留音を本システムの保留音（ラブミーテンダー）、外部音源の保留音、内部トーンのいずれかに設定することができます。

液晶表示部の言語設定

液晶表示部の言語を、日本語と英語の2種類から選択できます。

発信規制

各電話機を1～5にクラス分けして、市内や市外などへの発信を制限するように設定できます。クラス1から順に数字が大きくなるほど、規制が厳しくなります。

夜間着信切替

夜間または休日などに、外線からの電話を特定の場所で受信したいときなど、外線を指定した電話機に集中することができます。

外線別着信音切替

外線別に着信音を設定することができます。

- 着信音（シングル）
- 着信音（ダブル）
- 着信音（トリプル）

外線個別着信

外線から電話がかかってきた場合、1つの電話機に着信するように設定されている着信です。

取付け時に設定する事項

ACD（均等着信分配）

外線から着信した場合に、指定グループ内の内線に順番に着信することができます。グループ内の電話機がすべて使用中で着信できない場合は、メッセージを流して内線電話機が空くまで待っていただくことができます。

内線代表（サーキュラーハンティング/ターミナルハンティング）

お話し中の内線に電話をかけた場合に、内線グループ内の空いている電話機に着信することができます。内線代表のタイプには、以下の2種類があります。

サーキュラーハンティング：呼び出した内線端子から昇順に、すべての内線端子のうちで空いている電話機を探します。

ターミナルハンティング：呼び出した内線端子から昇順に、いちばん大きい数の内線端子まで空いている電話機を探します。

構内交換機接続時自動ポーズ

ビル電話、構内交換機の端末に接続した場合、ビル電話・構内交換機の外線発信番号、または特番のあとにポーズを入れることができます。

音とランプ表示

音について

トーンについて

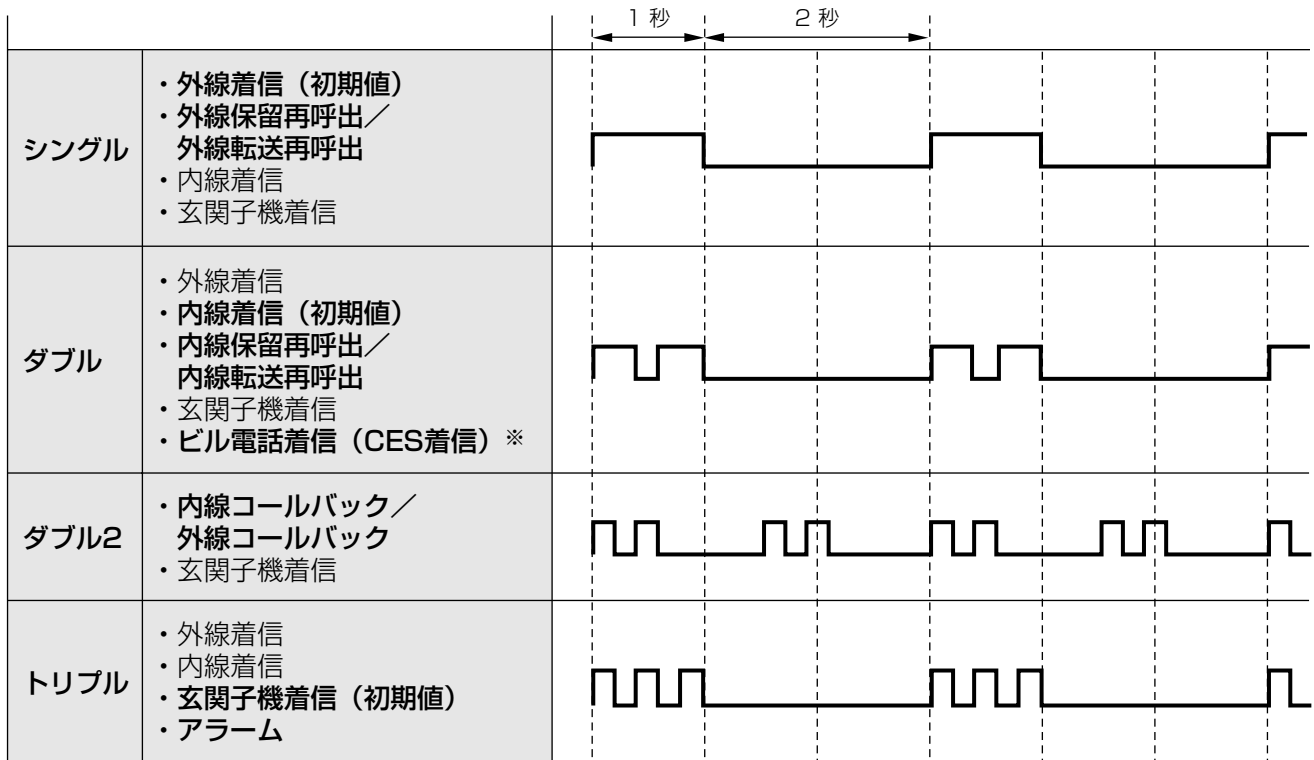
<多機能電話機・単独電話機>		(周波数) Hz	1 秒
確認音 1 機能を設定 / 解除したとき		620	
確認音 2 機能を設定 / 解除したときに、すでに同じ設定であったとき		620	
確認音 3 (予告音) 機能番号をダイヤルして、呼出音が鳴らずに通話が成立するとき (例: 一斉音声呼出、代理応答、保留解除など)		620	
発信音 1 (ツー) 内線発信音		440	
発信音 2 (ツツツ) 機能設定後の内線発信音 (例: 不在設定、不在転送、アラーム設定など)		440	
発信音 3 (ツツツツ...) アラーム確認音		440	
話中音 内線話中音		440	
警告音 1 機能設定の誤ダイヤルや、相手の切断で通話が切れた場合など		440	
警告音 2 外線 - 外線長時間通話警報など		440	
警告音 3 通話中保留再呼出 / 通話中転送再呼出	単独電話機のみ	440	

音とランプ表示

<多機能電話機・単独電話機>		(周波数) Hz	1 秒
呼出音 内線呼出音		440	
不在設定音		440	
話中時着信音 1	多機能電話機	697 / 852	
	単独電話機	440	
話中時着信音 2 (シングル)	多機能電話機 のみ	697 / 852	
話中時着信音 2 (ダブル)		697 / 852	
話中時着信音 2 (トリプル)		697 / 852	

音とランプ表示

■ 鳴動パターンについて



・太字は初期値または固定値を表します。

※ NTTのビル電話サービスを利用している場合、一般外線着信か、ビル電話着信 (CES着信) かを判断し、鳴動パターンを分けることができます。
 外線着信信号がビル電話着信 (CES着信) と同じ着信信号の機器に本システムが接続されている場合は、鳴動パターンが「ダブル」となります。

ランプ表示について

点滅パターン

ランプ表示は、点滅のしかたで回線の状況を示します。

種類	点滅パターン
遅い点滅 (60回/分)	
点滅 (120回/分)	
速い点滅 (240回/分)	

内線ボタンのランプ表示

以下に内線の状態による点滅パターンを表示します。

内線ボタン	内線の状態
消灯	空き状態
緑色点灯	お使いの内線です。
遅い緑色点滅	お使いの内線を保留中です。
緑色点滅	お使いの内線を自己保留中です。
速い緑色点滅	内線電話 / 玄関子機からの着信です。

外線ボタンのランプ表示

以下に外線の状態による点滅パターンを表示します。

外線ボタン	外線の状態
消灯	空き状態
緑色点灯	お使いの外線です。
遅い緑色点滅	お使いの外線が保留中、または保留再呼出中です。
緑色点滅	お使いの外線が次のいずれかの状態です。 (1) 自己保留中 (2) 外線 - 外線通話中 (3) 外線 - 外線通話確認モードでの会議通話 (3者) 中
速い赤色点滅	外線着信です。
赤色点灯	他の電話機でお話中です。
遅い赤色点滅	他の電話機で保留中です。

COボタンだけの点滅パターンです。グループボタンや Other COボタンには、この点滅パターンはありません。

ワンタッチ内線ボタンのランプ表示

以下にワンタッチ内線ボタンに対応する内線の状態による点滅パターンを表示します。

ワンタッチ内線ボタン	相手内線の状態
消灯	空き状態
赤色点灯	お話し中です。
遅い赤色点滅	不在転送が設定されています。
赤色点滅	不在設定が設定されています。

停電のときは

停電時は

オプションの外付けバッテリーをお使いいただくことにより、約5時間の動作（バッテリーバックアップ）が可能です。

製品名（品番）	備 考
外付けバッテリー（蓄電池） （VB-2450A-2）	・バッテリーバックアップにより、約5時間使用できます。 （条件：すべての電話機ですべての機能を使用している場合）
外付けバッテリーケース （VB-E297）	
外付けバッテリー用変換 ケーブル（XF-A196）	

お知らせ

蓄電池（外付けバッテリー）は約3年に1度の交換が必要です。（有償）
交換につきましては、お買い上げの販売店にご相談ください。次回交換時期については、取り付ける方が本書の表紙に記載するようになっていきます。

外付けバッテリーを設置後、バックアップ時間を保証するためには40時間以上の充電が必要です。

停電時の動作

停 電 時	停電用の電話機以外	停電用の電話機（単独電話機）
バッテリーバックアップ中 （約5時間）	<ul style="list-style-type: none"> すべての電話機で通常通りの使用が可能です。 通話中などの操作は継続します。 	
バッテリーバックアップ動作 が終了後	<ul style="list-style-type: none"> 使用できません。 バッテリーバックアップ中での通話は切れます。 	<ul style="list-style-type: none"> 外線をかける、受けるのみができます。 バッテリーバックアップ中での通話は切れます。 停電時に対応した外線で、発信／着信応答ができます。 通話中に停電が復旧しても、その通話は切れません。

お知らせ

停電時には、以下の外線とそれに対応する内線のみが機能します。

外線 1：内線端子 01

外線 4：内線端子 09

内線端子 01 と 09 につないだ単独電話機でのみ、外線をかける／受けるができます。

停電用に用意した単独電話機は、通常時は着信鳴動しません。

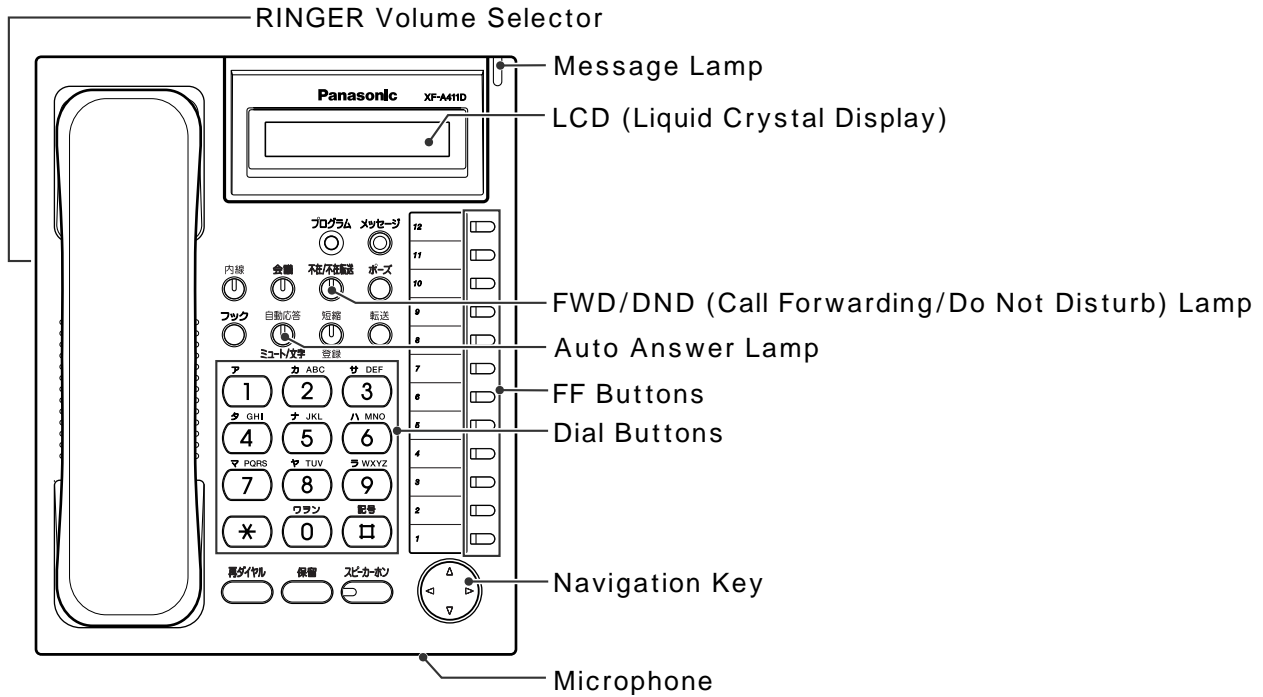
電話を受けるときは、受話器を取るとお話しできます。

外線のダイヤル種別（プッシュ回線／ダイヤルパルス回線）と、停電用で使用する単独電話機のダイヤル種別を合わせておく必要があります。

バッテリーバックアップ動作が終了後に停電が復旧すると、本システムは自動的に起動し、以下の状態になります。

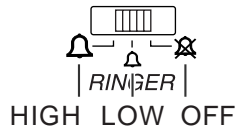
- ・内線コールバック／外線コールバックの設定が解除されます。
- ・メッセージウェイトの通知が解除されます。
- ・ラストナンバーリダイヤルで記憶している電話番号が消去されます。
- ・セーブナンバーリダイヤルで記憶している電話番号が消去されます。

Quick Reference Guide



To adjust the ringer volume

Adjust the RINGER Volume Selector to the desired setting.



To adjust the display contrast

Press . (3 levels)

: Decreases the contrast.

: Increases the contrast.

To adjust the handset volume

Press . (3 levels)

: Raises the volume.

: Lowers the volume.

Indicator lamps

FWD/DND Lamp	Lights when the extension is set to the Do Not Disturb mode. Flashes when the extension is set to Call Forwarding - All Calls, Busy or No Answer, Follow Me, or To Outside Line.
Message Lamp	Lights when there is a message.
Auto Answer Lamp	Lights when Auto Answer is activated.

Manager extension For details, see page 9. (Japanese only)

The manager extension is the one extension telephone which can be used to program the system. It can be used to program a variety of features, such as setting the time and date displayed on all proprietary telephones connected to the system.

BGM (Background Music) On / Off

(While idle and on-hook) Press . (BGM can be played through the built-in speaker.)

Quick Reference Guide

Outside (CO) calls

Making calls (CO)	
Using the handset	→ CO (or 0, 8 1 ~ 8 6) → Phone no.
Without using the handset	スピーカーホン → CO (or 0, 8 1 ~ 8 6) → Phone no. (→)
Last Number Redial	スピーカーホン → 再ダイヤル →
Saved Number Redial	スピーカーホン → SAVE →
	To program (During a conversation or while hearing a ringback tone after you have dialed a telephone number) → SAVE 登録
Using the Call Log in the Personal Area	(Until the desired party is displayed) CID-P Indication → → CID-P Indication
Using the Call Log in the Common Area	(Until the desired party is displayed) CID-C Indication → → CID-C Indication
Personal Speed Dialling	→ □ □ → Personal Speed Dial no. (0 ~ 9)
	To program
	スピーカーホン → 2 * → Personal Speed Dial no. (0 ~ 9) → Outside line no. (0, 8 1 ~ 8 6) → Phone no. → □ →
System Speed Dialling	→ → System Speed Dial no. (00 ~ 99)
One-Touch Dialling	→ One-touch
	To program プログラム → FF → 2 → Outside line no. (0, 8 1 ~ 8 6) → Phone no. → 登録 → プログラム
Receiving calls (CO)	
Receiving calls	(or)
When calls are received on two or more outside lines	Flashing →
Holding a call (CO)	
Holding a call	(During a conversation) → To retrieve: → (Flashing green)

Quick Reference Guide

Transferring a call (CO)	
Announcing the transfer	Sender: (During a conversation) → → Announce Receiver: → (Flashing red)
To an extension	(During a conversation) → Extension no. → Announce →
Transferring after paging	(During a conversation) → Paging no.* → Announce → (Wait for an answer → Confirmation tone) → * Paging no. All extensions: 3 3 0 Group 1 ~ 8: 3 3 1 ~ 3 3 8 All extensions & external: 3 3 9 (or 3 3 *) External: 3 4
To an outside (CO) line	(During a conversation) → Available outside line () → Phone no. → Announce →

Outside (CO) calls/Intercom calls

When you are unavailable to answer calls (Only one forwarding method can be set.) (CO/Intercom)	
Call forwarding (FWD)	All calls → → → Extension no. → →
	Follow Me On the transfer destination's extension → → → Your extension no. → →
	To an outside (CO) line → → → Outside line no. (, ~) → Phone no. → →
Do Not Disturb (DND)	→ → →

Answering a call ringing at another extension or a group call (CO/Intercom)

Picking up a call - Directed	→ 4 1 → Extension no.
Picking up a call - Group	→ 4 0

Quick Reference Guide

Intercom calls

Making calls (Intercom)	
Using the handset	→ Extension no.
Without using the handset	スピーカーホン (or 内線) → Extension no. (→)
Voice calling	→ Extension no. → * → Talk
Paging	→ Paging no.* → Announce * Paging no. All extensions: □ 3 3 0 Group 1~8: □ 3 3 1 ~ □ 3 3 8 All extensions & external: □ 3 3 9 (or □ 3 3 *) External: □ 3 4
Using a DSS (Direct Station Selection) button	→ DSS ----- To program プログラム → FF → 1 → Extension no. → 短縮登録 → プログラム
Receiving calls (Intercom)	
Receiving calls	(or スピーカーホン)
Answering an announced page	→ □ 4 3
Handsfree answerback	When you hear the other party through your telephone, speak into the mic. ----- Handsfree answerback – set/cancel (While idle or off-hook) 自動応答 (or ミュート/文字)
Holding a call (Intercom)	
Holding a call	(During a conversation) 保留 → To retrieve: → 内線
Transferring a call (Intercom)	
Announcing the transfer	Sender: (During a conversation) 保留 → → Announce ----- Receiver: → □ 5 → Holding extension no.
To an extension	(During a conversation) 転送 → Extension no. → Announce →
Transferring after paging	(During a conversation) 転送 → Paging no.* → Announce → (Wait for an answer → Confirmation tone) → * Paging no. All extensions: □ 3 3 0 Group 1~8: □ 3 3 1 ~ □ 3 3 8 All extensions & external: □ 3 3 9 (or □ 3 3 *) External: □ 3 4

仕様 / 付属品 / 添付品

仕様

電 源	AC 100 V \pm 10 V 50 / 60 Hz	
外線収容数	最大3回線 (最大6回線 : 308増設ユニット実装時)	
電話機数	多機能電話機 16台 単独電話機 16台) 合計16台まで	
主装置	外形寸法 (幅 × 奥行 × 高さ)	約 368 mm × 約 284 mm × 約 102 mm
	質 量	約 3.6 kg (初実装時)、約 4.8 kg (フル実装時)
308J用12キー カナ表示電話機 (多機能電話機) XF-A411D	外形寸法 (幅 × 奥行 × 高さ)	本体のみ 約 183 mm × 約 228 mm × 約 41 mm
		電話機スタンド取付け : LOW (低) のとき 約 183 mm × 約 218 mm × 約 107 mm 電話機スタンド取付け : HIGH (高) のとき 約 183 mm × 約 207 mm × 約 130 mm
	質 量	約 770 g
消費電力	最大 約 70 W (電源スイッチで電源「切」のとき : 約 2.8 W)	
環境条件	周囲温度 : 約 0 ~ 約 40 相対湿度 : 約 90 %以下 (ただし結露しないこと)	
直流抵抗値	約 290	

付属品 / 添付品

取扱説明書	1部
取付工事説明書およびプログラム表の作成と登録 (取付工事時に使用)	CD-ROM 1枚
取付工事にあたってのお願い (取付工事時に使用)	1部
保証書	1部
操作早見表	2部
プログラミング用テンプレート	3部

スモールオフィステレホンシステム 308J

保守契約について

販売店とご相談のうえ、保守契約をお結びください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は...

お買い上げの販売店、または販売会社へお申し付けください。

移転の際のご相談は...

お買い上げの販売店、または販売会社へお申し付けください。

保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

修理を依頼されるとき

「困ったときの確認事項」(⇒130～131ページ)に従ってご確認の後、直らない時は、お買い上げの販売店へご連絡ください。

保証期間中は、保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

保証期間を過ぎているときは、修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。補修用性能部品を、製造打ち切り後9年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理料金の仕組み

修理料金 は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

正常な使用状態で本装置に故障が生じた場合、当社は本装置の保証書に定められた条件に従って修理をいたします。ただし、停電などの外部要因で、本装置が使えなかったことによる付随的損害（料金管理など）の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

説明書に記載されている内容は、製品のバージョンアップなどに伴い、将来予告なしに変更することがあります。

修理をご依頼される前に、もう一度次の点を確認してください。
それでも直らないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときは	ここを確認してください	操 作	参照 ページ
電話をかけられない 電話を受けられない	不在設定や、不在転送、外線着信の自動転送を設定していませんか？	設定を解除すれば、電話を受けられます。	43、 52、53
表示が見えにくい	表示のコントラストの調節が適当ですか？	通話していない状態で ◀、▶ で調節してください。	16
着信音が鳴らない	外線番号は設定されていますか？	取付け時の設定です。確認してください。	
着信音、アラーム、保留再呼出が鳴らない	電話機の着信音量が「切」になっていませんか？	音量調節をしてください。	18
スピーカーホン通話ができない	同時にお話ししていませんか？	交互にお話ししてください。	73
	周囲の騒音が大きいところ、音声反響しやすいところで通話していませんか？	静かな場所で通話してください。	
	テレビやラジオの近くで通話していませんか？	テレビやラジオから離れて通話してください。	
再ダイヤルボタンを押しても再ダイヤルできない	外線がお話し中になっていませんか？	外線が空きしだい、再度操作し直してください。	45
一斉・グループ呼出ができない	グループ呼出番号を設定していますか？	取付け時の設定です。確認してください。	
自動応答ランプが表示されている	自動応答が設定をされている状態です。	設定が不要であれば解除してください。	33
不在ランプが表示されている	不在設定、不在転送や自動転送が設定をされている状態です。	設定が不要であれば解除してください。	43、 52、53
電話機に表示されている日付、時刻がずれている	お使いいただいている間に少しずつ誤差が大きくなります。	指定電話機で訂正してください。	108
電話機のスピーカーからいきなり保留音（または音楽）が鳴り始めた	待ち受け中に (1) を押すとBGMが鳴るようになっています。	BGMを止めるには再度 (1) を押してください。	68

こんなときは	ここを確認してください	操 作	参照ページ
液晶表示部に ジコクセツイ と表示され、点滅している	本システムの内部時計が正しく動作していません。	お買い上げの販売店にお問い合わせください。	
共通短縮ダイヤルを登録できない	共通短縮ダイヤルは、指定電話機で操作していますか？	指定電話機以外では登録することができません。	102
名前が登録できない	登録可能な文字数を超過していますか？	それぞれの登録可能な文字数を超過すると入力できません。 新規に名前を登録するときや、名前を変更するときは、 ^{転送} ● または ^{会議} ⓪ を押して、文字を消去してから入力してください。	106
電話番号が登録できない	登録可能なケタ数を超過していますか？	それぞれの登録可能なケタ数以内で登録してください。 ^{転送} ● を押して番号を消去してから入力してください。	29、 80、 90、 104
共通短縮ダイヤルに名前を登録しているのに電話がかかってきても名前表示されない	外線発信番号(0など)のあとに電話番号が市外局番なしで登録されていませんか？	外線発信番号のあとに市外局番から電話番号を登録してください。	104

あ

アフターサービス	129
アラーム	
アラームの設定	58
リモートアラームの設定	110
安全上のご注意	6
一括初期化（機能設定解除）	98
一斉（グループ別）音声呼出	26
一斉音声呼出拒否	26
一斉呼出	26、40
一斉呼出と構内放送	26、40、81
グループ呼出	26、40
構内放送	26、40、81
液晶表示部	12、16
液晶表示部の言語設定	16、116
液晶表示部のコントラストを調節する	16
オートリピートダイヤル	45、46
応答前転送	36、38
応答メッセージを録音する	111
応答履歴	47、51
個別応答履歴	51
システム応答履歴	51
応答履歴設定	51
お手入れについて	8
音とランプ表示	118
音について	118
ランプ表示について	121
音	
音とランプ表示	118
音量を調節する	18
外線別着信音切替	116
受話音量を調節する	18
スピーカー音量を調節する	18
着信音量を調節する	18
トーンについて	118
保留音源の選択	116
鳴動パターンについて	120
話中時着信音の設定	88
BGM	
（バックグラウンド・ミュージック）	68
オペレータ内線	9
オペレータ内線呼出	27
オペレータ内線呼出番号	22、27
音量を調節する	18

か

会議通話（3者）	63
外線 - 外線通話確認モード	64
会議通話（5者）	65
会議ボタン	12、63、65
会議ランプ	13、63、65
外線 - 外線通話確認モード	64
外線コールバック	57
外線個別着信	116
外線着信応答	96
外線通話に割り込む	60
外線別着信音切替	116
外線へ転送する	
自動転送	42、43、53
手動転送	42、44
外線ボタン	12、99
CO ボタン	99
Other CO ボタン	99、100
グループボタン	99、100
外線ランプ	13、121
確認音	118
各部のなまえとはたらき	12
記入シートの使いかた	20
機能設定解除（一括初期化）	98
機能設定クリア	75
キャッチホンサービス	68
共通短縮ダイヤル	30
共通短縮ダイヤルの登録	102
電話番号に登録できる内容	102
電話番号を登録する	104
電話番号を確認する	105
電話番号を修正する	105
電話番号を削除する	105
名前入力のしかた	103
名前を登録する	106
名前を確認する	107
名前を削除する	107
名前を修正する	107
入力モード	103
クイックダイヤル	69
組み合わせダイヤル	30
グループ代理応答	34
グループボタン	99、100
グループ呼出	26、40
警告音	118

玄関子機 83
 玄関子機をモニターする 67
 交互通話 41
 構内交換機接続時自動ポーズ 117
 構内放送 26、40、81
 ご使用にあたってのお願い 8
 個人短縮ダイヤル 29
 個人短縮ダイヤルの登録 29
 個人短縮ダイヤルの確認 29
 個人短縮ダイヤルの削除 29
 個人短縮ダイヤルの修正 29
 個別着信 10
 個別着信履歴 47、48
 個別着信履歴を消去する 49
 個別着信履歴をすべて消去する 49
 21 件目以降を記憶しない
 (最初の 20 件を記憶する) 49
 個別着信履歴ボタン 47、48、89、92
 個別履歴選択ボタン ... 31、47、48、89、92
 困ったときは 130

さ

再ダイヤル 45、46
 オートリピートリダイヤル 45、46
 セーブナンバーリダイヤル 46
 ラストナンバーリダイヤル 45
 再ダイヤルボタン 12、45
 自己保留 35、37
 システム着信履歴 47、50
 システム着信履歴を消去する 50
 システム着信履歴をすべて消去する ... 113
 301 件目以降は記憶しない
 (最初の 300 件を記憶する) 113
 システム着信履歴ボタン ... 47、50、89、93
 システム履歴選択ボタン
 31、47、50、89、93
 指定電話機 9、102
 指定電話機からの操作 102
 自動応答 / ミュート / 文字ボタン
 12、33、74、103
 自動応答 / ミュートランプ 13、33、74
 自動選局発信 22
 自動選局発信番号 22、27
 自動転送 42、43、53
 自動転送設定中の表示 42

自分の電話機の内線番号 19
 主装置 14
 手動転送 42、44
 手動夜間切替 112
 受話音量を調節する 18
 仕様 / 付属品 / 添付品 128
 使用上のお願い 8
 ステーションロック 55
 スピーカー音量を調節する 18
 スピーカーホン通話 45、46、73
 スピーカーホンボタン 12、73
 スピーカーホンランプ 13
 セーブナンバーリダイヤル 46
 セーブボタン 46、89、94
 セキュリティコード 70、114、115
 DID セキュリティコードの
 ケタ数変更 114
 DID セキュリティコードの
 登録・変更 115
 セキュリティモード 70
 接続できる機器 9
 全ステーションロック解除 109
 外付けバッテリー 123

た

第 1 ~ 第 8 グループ 26、40
 ダイヤル表示 17
 ダイヤルボタン 12
 代理応答する 34
 グループ代理応答 34
 代理応答 34
 代理応答操作規制 34
 留守番電話応答 34
 多機能電話機
 (308J 用 12 キーカナ表示電話機) 12
 短縮 / 登録ボタン 12、30
 短縮 / 登録ランプ 13、30
 短縮ダイヤル表示制御
 45、46、90、102、105
 短縮番号 24、29、30、104、106
 単独電話機の操作 76
 着信音量を調節する 18
 着信件数 47
 着信ランプ 13

着信履歴 47
 応答履歴 47、51
 個別応答履歴 51
 システム応答履歴 51
 応答履歴設定 51
 個別着信履歴 47、48
 個別着信履歴を消去する 49
 個別着信履歴をすべて消去する 49
 21 件目以降を記憶しない
 (最初の20件を記憶する) 49
 個別着信履歴ボタン ... 47、48、89、92
 個別履歴選択ボタン
 31、47、48、89、92
 システム着信履歴 47、50
 システム着信履歴を消去する 50
 システム着信履歴をすべて
 消去する 113
 301 件目以降は記憶しない
 (最初の300件を記憶する) 113
 システム着信履歴ボタン
 47、50、89、93
 システム履歴選択ボタン
 31、47、50、89、93
 着信件数 47
 着信履歴 : New 47
 着信履歴 : Old 47
 着信履歴を確認して電話を
 かける 48、50
 不応答履歴 47
 着信履歴を確認して電話をかける 48、50
 通話に割り込む 59
 外線通話に割り込む 60
 内線通話に割り込む 59
 通話割り込み拒否 60
 使いかたにあわせて機能を設定する 88
 停電のときは 123
 データ通信秘話 80
 電気錠を解錠する 84
 転送
 外線を転送する 36
 内線を転送する 38
 自動転送 42、43、53
 手動転送 42、44
 特定のグループへ転送する 40
 転送再呼出 36、38
 転送ボタン 12、36、38、40、44
 電話機スタンド 15
 電話機の角度を変える 15

電話を受ける
 外線からの電話を受ける 31
 内線からの電話を受ける 32
 電話をかける
 外線へ電話をかける 22
 内線へ電話をかける 25
 登録した電話番号にかける 28
 共通短縮ダイヤルでかける 30
 個人短縮ダイヤルでかける 29
 ワンタッチダイヤルでかける 28
 ワンタッチ内線ボタンでかける 28
 トーンについて 118
 確認音 118
 警告音 118
 発信音 118
 不在設定音 119
 呼出音 119
 話中音 118
 話中時着信音 61、88、119
 特定ダイヤル発信 68
 特定のグループへ転送する 40
 取扱説明書について 10
 取付け時に設定する事項 116

な

内線音声呼出 25、88
 内線音声呼出 / 信号呼出の設定 88
 内線コールバック 57
 内線自動応答 33
 内線信号呼出 88
 内線代表 117
 サーキュラーハンティング 117
 ターミナルハンティング 117
 内線通話に割り込む 59
 内線パスワード 104、106、114、115
 内線番号を確認する 19
 内線ボタン 12、25
 内線ランプ 13、121
 内線ルーム音声モニター 67
 ナビゲーションキー 10、12、16、18
 ナンバー・ディスプレイ 87

は

- パーク番号 39
- パーク保留 39
- バックグラウンド・ミュージック (BGM) 68
- 発信音 118
- 発信規制 116
- 発信者の電話番号表示 17
- 発信者番号通知 86
- 発信プリファレンス 24、80、95
- 発信方法や着信方法の設定を変える 95
- バッテリーバックアップ 123
- 日付・時刻の変更 108
- 日付・時刻表示 16
- ファクス接続 82
- 不応答転送 53
- 不応答履歴 47
- フォローミー 53
- 不在／不在転送ボタン 12、52、53
- 不在設定 52
- 不在設定音 119
- 不在設定割り込み 52
- 不在転送 53
 - 外線転送 (自動転送) 42、43、53
 - 不応答転送 53
 - 不応答転送解除 54
 - フォローミー 53
 - フォローミー解除 54
 - 不在転送 53
 - 不在転送解除 54
- 不在ランプ 13、52、53
- 付属品／添付品 128
- フッキング 69、77
- フッキング信号 69
- フックスイッチ 77
- フックボタン 12、69
- プッシュ信号 68
- プログラムボタン 12
- ヘッドセット 85
- ポーズボタン 12
- 保証とアフターサービス 129
- ボタン
 - 会議ボタン 12、63、65
 - 外線ボタン 12、99
 - CO ボタン 99
 - Other CO ボタン 99、100
 - グループボタン 99、100
 - 個別着信履歴ボタン ... 47、48、89、92
 - 個別履歴選択ボタン
 - 31、47、48、89、92
 - 再ダイヤルボタン 12、45

- システム着信履歴ボタン
 - 47、50、89、93
- システム履歴選択ボタン
 - 31、47、50、89、93
- 自動応答／ミュート／文字ボタン
 - 12、33、74、103
- スピーカーホンボタン 12、73
- セーブボタン 46、89、94
- ダイヤルボタン 12
- 短縮／登録ボタン 12、30
- 転送ボタン 12、36、38、40、44
- 内線ボタン 12、25
- ナビゲーションキー ... 10、12、16、18
- 不在／不在転送ボタン 12、52、53
- フックボタン 12、69
- プログラムボタン 12
- ポーズボタン 12
- 保留ボタン 12、35、37、39
- メッセージボタン 12、56、89、94
- ワンタッチ機能ボタン 89、91
- ワンタッチダイヤルボタン ... 28、89、90
- ワンタッチ内線ボタン 28、89、90
- FF ボタン 12、89～94、99～100
- ホットライン／発信プリファレンス 80
- 保留
 - 外線を保留する 35
 - 内線を保留する 37
 - パーク保留 39
 - 保留中に交互通話をする 41
- 保留音源の選択 116
- 保留再呼出 35、37、39、116
- 保留ボタン 12、35、37、39
- ホリユウモード 77

ま

- マイクミュートキー 74
- 鳴動着信設定 97
- 鳴動パターンについて 120
- メッセージウエイト 56
 - 相手に通知する 56
 - すべての通知を消去する 56
 - 通知を解除する 56
 - 通知を確認してかけなおす 56
- メッセージボタン 12、56、89、94
- メッセージランプ 13、56
- もくじ 2
- モジュラージャック 13

や

夜間切替	112
手動夜間切替	112
夜間切替設定	112
夜間切替設定確認	112
夜間着信切替	116
呼出音	119
呼出音量（着信音量）を調節する	18
呼出番号	26、40

ら

ラストナンバーリダイヤル	45
ランプ	
音とランプ表示	118
会議ランプ	13、63、65
外線ランプ	13、121
自動応答/ミュートランプ... ..	13、33、74
スピーカーホンランプ	13
短縮/登録ランプ	13、30
着信ランプ	13
内線ランプ	13、121
不在ランプ	13、52、53
メッセージランプ	13、56
ランプのなまえとはたらき	13
ランプ表示について	121
外線ボタンのランプ表示	121
点滅パターン	121
内線ボタンのランプ表示	121
ワンタッチ内線ボタンのランプ表示 ...	122
リモートアラームの設定	110
留守番電話応答	34

わ

話中音	118
話中時着信	61
相手に話中時着信を鳴らす	62
外線の話中時着信の設定	61
内線や玄関子機の話中時着信の設定	61
話中時着信音	61、88、119
話中時着信を受ける	62
話中時着信音の設定	88
ワンタッチ機能ボタン	89、91
ワンタッチダイヤル	28
ワンタッチダイヤルボタン	28、89、90
ワンタッチ内線ボタン	28、89、90

英数字

21 件目以降を記憶しない （最初の20件を記憶する）.....	49
301 件目以降は記憶しない （最初の300件を記憶する）.....	113
308J用12キーカナ表示電話機	12
AA番号	70
ACD（均等着信分配）.....	117
ACR機能	72
BGM（バックグラウンド・ミュージック）.....	68
COボタン	99
DID（ダイレクトインダイヤル）.....	70
外線から特定の内線に電話をかける	70
外線から本システムを経由して 外線に電話をかける	71
DIDセキュリティコード	114
DIDセキュリティコードの ケタ数変更	114
DIDセキュリティコードの 登録・変更	115
FFボタン	12、89～94、99～100
外線ボタン	12、99
COボタン	99
Other COボタン	99、100
グループボタン	99、100
個別着信履歴ボタン	47、48、89、92
個別履歴選択ボタン	31、47、48、89、92
システム着信履歴ボタン	47、50、89、93
システム履歴選択ボタン	31、47、50、89、93
セーブボタン	46、89、94
ワンタッチ機能ボタン	89、91
ワンタッチダイヤルボタン... ..	28、89、90
ワンタッチ内線ボタン	28、89、90
FFボタンやメッセージボタンに 機能を設定する	89
FFボタンを外線ボタンに設定する	99
New	47
Old	47
Other COボタン	99、100
Quick Reference Guide	124

Memo

Memo

Memo

ご使用にあたってのお願い

本品をご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって「機器使用料」は不要となります。
詳しくは、局番なしの116番(無料)へお問い合わせください。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です)

お買い上げ日	年 月 日	品番	XF-A150他
販売店名		電話 ()	—
お近くの販売会社		電話 ()	—

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、まずお買い上げの販売店へお申し付けください。

パナソニック コミュニケーションズ株式会社 ネットワークカンパニー

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号 電話 (045) 532 - 0496

© 2003 Panasonic Communications Co., Ltd. All Rights Reserved.

この取扱説明書は再生紙を使用しています。



PSQX2924YA KF0503MY1034